

本條ニ記載スル事務ヲ執行スル爲要スル費用ハ町村ノ負擔トス

第二十二條 町村長若クハ監督官廳ニ於テ町村會ノ議決其ノ權限ヲ越エ又ハ法律命令ニ背クト認ムルトキハ町村長ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指令ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ若クハ取消スヘシ(三十三年勅令第五十一號ヲ以テ第十四條ヲ第  
二十二條ニ改メ第二十四條マテ順次繰下ク)

前項再議ニ付スルモ仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ町村長ヨリ北海道廳支廳長ニ申立テ其ノ決定ヲ請フヘシ又前項取消ニ不服アル町村會ハ北海道廳支廳長ニ訴願スルコトヲ得

前項北海道廳支廳長ノ決定若クハ裁決ニ不服アル町村會ハ北海道廳長官ニ訴願シ其ノ北海道廳長官ノ裁決ニ不服アル町村會ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

町村長若クハ監督官廳ニ於キ町村會ノ議決公益ニ害アリト認ムルトキハ町村長ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指令ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付スヘシ

前項再議ニ付スルモ仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ町村長ヨリ北海道廳支廳長ニ申立テ其ノ決定ヲ請フヘシ其ノ北海道廳支廳長ノ決定ニ不服アル町村會ハ北海道廳長官ニ訴願シ其ノ北海道廳長官ノ裁決ニ不服アル町村會ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

本條ノ決定若クハ裁決ハ其ノ確定ニ至ルマテ執行ヲ停止ス但シ當該官廳ニ於テ停止ノ爲ニ公益ニ害アリト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十三條 町村會ニ於テ必要ノ收支ニ關シ否決シタルトキ又ハ町村長若クハ監督官廳ニ於テ町村會ノ議決必要ノ收支ニ關シ不當ノ削減ヲ爲スト認ムルトキハ町村長ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ監督

官廳ノ指令ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ北海道廳支廳長ニ申立テ指揮ヲ請フヘシ但シ場合ニ依リ再議ニ付セヌシテ直ニ北海道廳支廳長ノ指揮ヲ請フニトヲ得

前項北海道廳支廳長ノ處分ニ不服アル町村會ハ北海道廳長官ニ訴願シ其ノ北海道廳長官ノ裁決ニ不服アル町村會ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

本條ノ處分ハ其ノ確定ニ至ルマテ執行ヲ停止ス但シ當該官廳ニ於テ停止ノ爲ニ公益ニ害アリト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十四條 町村會招集ニ應セス若クハ成立セザルトキハ町村長ハ北海道廳支廳長ニ申立テ指揮ヲ請フヘシ其ノ議決スヘキ事件ヲ處分スルコトヲ得

町村會ニ於テ其ノ議決スヘキ事件ヲ議決セス若クハ議了セザルトキハ前項ノ例ニ依ル

第一項ノ處分ハ次回ノ會議ニ於テ之ヲ町村會ニ報告スヘシ

第二十五條 第六十六條但書若クハ第六十八條第二項ノ場合ニ於テ全ク會議ヲ開クコト能ハサルトキハ前條ノ例ニ依ル(三十二年勅令第五十一號ヲ以テ第十七  
條ヲ第二十五條ニ改メ條中ヲ改正ス)

第二十六條 町村長ハ町村吏員ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコトヲ得(三十三年勅令第五十  
八號ヲ以テ元第十八  
條第十九條ヲ削リ本條乃  
至第二十九條マテ追加ス)

第二十七條 助役ハ町村長ノ事務ヲ補助ス

町村長ハ町村會ノ同意ヲ得北海道廳支廳長ノ許可ヲ經テ助役ヲシテ町村行政事務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

シムルコトヲ得



助役ハ町村長候補アルトキ之ヲ代理ス助役數名アルトキハ上席者之ヲ代理ス

第三十八條 收入役法律命令中別段ノ規定アルモノノ外町村ノ出納其ノ他會計事務並第二十一條ニ依ル國ノ出納其ノ他會計事務ヲ掌ル

收入役代理者ハ收入役ノ事務ヲ補助ス

町村長ハ收入役及町村會ノ同意ヲ得テ收入役代理者ヲシテ收入役ノ事務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

收入役代理者ハ收入役故障アルトキ之ヲ代理ス

第二十九條 書記其ノ他ノ附屬員ハ町村長ノ命ヲ承ケ庶務ニ従事ス

第三十條 部長及其ノ代理者ハ町村長ノ命令ヲ承ケ部内ニ關スル國ノ行政及町村ノ行政ニ付町村長ノ事務ヲ補助執行ス(三十二年勅令第五十一條ヲ以テ第二十條ヲ第  
三十條ニ改メ以下第三十三條マテ順次繰下ク)

第三十一條 委員ハ町村長ノ監督ニ屬シ町村有財産若クハ町村ノ營造物ヲ管理シ其ノ他町村行政事務ノ一部ヲ分掌シ又ハ一時ノ委託ニ依ル事務ヲ處辨ス

委員ノ職務權限ニ關スル細則ハ町村規則ヲ以テ之ヲ規定スヘシ

第三十二條 町村役場及町村吏員ノ處務規程ハ北海道廳長官ノ許可ヲ得テ北海道廳支廳長之ヲ定ム  
町村吏員ノ服務紀律ハ北海道廳長官之ヲ定ム

第三款 給料及給與

第三十三條 名譽職吏員ハ職務取扱ノ爲メニ要スル實費ノ辨償ヲ受クルコトヲ得

部長及其ノ代理者並委員ニハ實費辨償ノ外町村會ノ議決ヲ經テ勤務ニ相當スル報酬ヲ給スルコトヲ得

實費辨償額報酬額及其ノ支給方法ハ町村會ノ議決ヲ經テ北海道廳支廳長ノ許可ヲ受クヘシ

第三十四條 町村長助役其ノ他有給吏員ノ給料額旅費額及其ノ支給方法ハ町村會ノ議決ヲ經テ北海道廳支廳長ノ許可ヲ得テ之ヲ定ム若クハ之ヲ許可スヘキト認ムルトキハ北海道廳支廳長之ヲ定ム(三十二年勅令第五十一條ヲ以テ第二十四條ヲ改正ス)

本條ノ給料額旅費額及其ノ支給方法ハ町村規則ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ前項ノ許可ヲ受クルコトヲ要セス

町村條例ヲ以テ有給吏員ノ退職料退職給與金及遺族扶助料ニ關スル規定ヲ設クルコトヲ得

第三十五條 有給吏員ノ給料旅費退職料退職給與金遺族扶助料其ノ他第三十三條ノ給與ニ關シ異議アル者ハ北海道廳支廳長ニ訴願シ其ノ北海道廳支廳長ノ裁決ニ不服アル者ハ北海道廳長官ニ訴願シ其ノ北海道廳長官ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得(三十二年勅令第五十一條ヲ以テ第二十五條ヲ第三十五條ニ改メ  
中ヲ改正ス)

本條ノ訴願若クハ訴訟ノ爲ニ處分ノ執行ヲ停止セス

第三十六條 給料旅費退職料退職給與金遺族扶助料報酬辨償等ハ町村ノ負擔トス(三十二年勅令第五十一條ヲ以テ第二十六條ヲ第三十六條ニ改メ  
中ヲ改正ス)

第三章 町村會

第一款 組織及選舉



第三十七條 町村會議員ハ町村ノ選舉人其ノ被選舉權アル者ヨリ之ヲ選舉ス其ノ定員左ノ如シ(三十三

勅令第五十一號ヲ以テ第二十七條ヲ第三十七條ニ改ム

一人口千五百未滿ノ町村ニ於テハ

議員八人

一人口千五百以上五千未滿ノ町村ニ於テハ

議員十二人

一人口五千以上一萬未滿ノ町村ニ於テハ

議員十六人

一人口一萬以上二萬未滿ノ町村ニ於テハ

議員二十人

一人口二萬以上ノ町村ニ於テハ

議員二十四人

前項ノ定員ハ町村規則ヲ以テ之ヲ減スルコトヲ得

第三十八條 町村公民ハ總テ選舉權ヲ有ス但シ公民權停止中ノ者及第六條第三項ノ場合ニ當ル者ハ

此ノ限ニ在ラス(三十三勅令第五十一號ヲ以テ第二十八條ヲ第三十八條ニ改ム)

直接町村稅ヲ納ムル者其ノ額町村公民ノ最多ク直接町村稅ヲ納ムル三名中ノ一名ヨリモ多キトキ

ハ町村住民ニ非サル者又ハ三年以來ノ町村住民ニ非サル者ト雖第五條ニ掲載スル其ノ他ノ要件ヲ

具備スルトキハ選舉權ヲ有ス但シ第六條第二項ノ公民權停止ノ條件又ハ同條第三項ノ場合ニ當ル

者ハ此ノ限ニ在ラス

第三十九條 選舉人ハ分テ二級トス(三十三勅令第五十一號ヲ以テ第二十九條ヲ第三十九條ニ改ム末項ヲ追加ス)

選舉人中直接町村稅ノ納額多キ者ヲ合セテ選舉人總員ノ納ムル總額ノ半ニ當ルヘキ者ヲ一級トシ

爾餘ノ選舉人ヲ二級トス

各級ノ間納稅額兩級ニ跨ル者アルトキハ上級ニ入ルヘシ又兩級ノ間ニ同額ノ納稅者二名以上アル

トキハ町村内ニ住居スル年數ノ多キ者ヲ以テ上級ニ入ル若シ住居ノ年數ニ依リ難キトキハ年長者ヲ

以テシ年數ニモ依リ難キトキハ町村長自ラ抽籤シテ之ヲ定ムヘシ

選舉人每級各別ニ議員ノ半數ヲ選舉ス其被選舉人ハ同級内ノ者ニ限ラサルモノトス

直接町村稅ヲ賦課セサル町村ニ於テハ本條ノ選舉等級ヲ設ケス

第四十條 區域廣濶又ハ人口稠密ナル町村ニ於テハ町村會ノ議決ヲ經テ區畫ヲ定メ選舉分會ヲ設ク

ルコトヲ得但シ特ニ二級選舉ノ爲之ヲ設クルモ妨ナシ(三十三勅令第五十一號ヲ以テ第三十條ヲ第四十條ニ改ム)

分會ニ於テ爲シタル投票ハ投票函ノ儘本會ニ集メテ之ヲ合算シ總數ヲ以テ當選ヲ定ム

分會ハ本會ト同日時ニ之ヲ開クヘシ其ノ他選舉ノ手續會場ノ取締等總テ本會ノ例ニ依ル

第四十一條 特別ノ事情アル町村ニ於テハ町村條例ヲ以テ選舉區ヲ設クルコトヲ得(三十三勅令第五十一號ヲ以テ第三十一條ニ改ム)

選舉區ノ數及其ノ區域並各選舉區ヨリ選舉スヘキ議員ノ員數ハ選舉人ノ員數ニ準シ前項ノ條例ニ

之ヲ規定スヘシ

選舉人ハ住居ヲ占ムル地ニ依テ所屬ノ選舉區ヲ定ム其町村内ニ住居ヲ占メサル者ハ直接町村稅ノ

賦課ヲ受ケタル物件ノ所在ニ依テ之ヲ定ム若シ數選舉區ニ亙リ賦課ヲ受ケタル物件アルトキハ稅額

ノ最多キ物件ノ所在ニ依テ之ヲ定ム又直接町村稅ノ賦課ヲ受タル物件ナキトキハ住居ヲ構ヘ若ク

ハ滞在スル地ニ依テ之ヲ定ムヘシ但シ本文ノ場合ニ於テ稅額ノ相同キトキ又ニ數選舉區ニ亙リ住



居ヲ轉ヘ若クハ滞在スルトキハ本人ノ申出ニ依リテ之ヲ定ムヘシ  
選舉區ヲ設ケルトキハ各選舉區ニ於テ選舉人ノ等級ヲ分ツヘシ  
各選舉區ヨリ選舉スヘキ議員ノ員數各級ニ等分シ難キトキハ各選舉區各級ヨリ選舉スヘキ議員ノ  
員數ヲ第一項ノ條例ニ規定スヘシ  
被選舉人ハ其ノ選舉區内ノ者ニ限ラサルモノトス

第四十二條 選舉權ヲ有スル町村公民ハ總テ被選舉權ヲ有ス(三十二年勅令第五十二號ヲ以テ第三十二條ヲ  
第四十二條ニ改メ第二項第五項中ヲ改正ス)  
左ニ掲ケル者ハ被選舉權ヲ有セス

- 一 北海道廳ノ官吏
  - 二 其ノ町村ノ有給吏員
  - 三 檢事警察官吏及收稅官吏
  - 四 神官僧侶其ノ他諸宗教師
  - 五 小學校教員
- 其ノ他官吏ニシテ常選シ之ニ應セントスルトキハ所屬長官ノ許可ヲ受クヘシ  
父子兄弟タル緣故アル者ハ同時ニ町村會議員タルコトヲ得ス若同時ニ選舉セラレタルトキハ投票  
ノ數ニ依テ其ノ多キ者一人ヲ常選トシ同數ナレバ年長者ヲ常選トシ同年ナレハ抽籤ヲ以テ之ヲ定  
ム其ノ時ヲ異ニシテ選舉セラレタル者ハ後者議員タルコトヲ得ス  
町村長又ハ助役トノ間父子兄弟タル緣故ナル者ハ之ト同時ニ町村會議員タルコトヲ得ス若議員ト

ノ間ニ其ノ緣故アル者町村長又ハ助役ノ任ヲ受ケタルトキハ其ノ緣故アル議員ハ其ノ職ヲ失フモ  
ノトス

第四十三條 町村會議員ハ名譽職トス其ノ任期ハ六年トシ毎三年各級ニ於テ其ノ半數ヲ改選ス若各  
級ノ議員二分シ難キトキハ初回ニ於テ多數ノ一半ヲ退職セシム初回ニ於テ退職セシムヘキ者ハ抽  
籤ヲ以テ之ヲ定ム(三十二年勅令第五十一號ヲ以テ第三十三  
條ヲ第四十三條ニ改メ第四項中ヲ改正ス)  
前項議員ノ任期ハ總選舉ヲ行ヒタル日(選舉ノ數日ニ互ニ  
均合ハ其ノ初日)又ハ定期改選期日(選舉ノ數日ニ互ニ  
均合ハ其ノ初日)ヨリ起算シ曆  
ニ從フ但シ總選舉ノ場合ニ於テ一部ノ議員後トテ選舉セラレ又ハ定期改選ノ場合ニ於テ一部若ク  
ハ全部ノ議員其ノ期日後ニ選舉セラレルトアル先ニ總選舉行ヒタル日又ハ定期改選期日ヨ  
リ起算ス

退職ノ議員ハ再選セラルルコトヲ得

議員ニ關シテハ第三十三條第一項第三項第二十五條第三十六條ノ例ヲ適用ス  
第四十四條 町村會議員中議員アルトキハ毎三年定期改選ノ時ニ至リ同時ニ補闕選舉ヲ行フヘシ若  
定員三分ノ一以上議員アルトキ又ハ町村長若クハ北海道廳支廳長ニ於テ臨時補闕ヲ必要ト認  
ムルトキハ定期前ト雖補闕選舉ヲ行フヘシ(三十二年勅令第五十一號ヲ以テ第三十  
四條ヲ第四十四條ニ改メ條中ヲ改正ス)  
補闕議員ハ前任者ノ殘任期間在職スルモノトス  
定期改選及補闕選舉ハ前任者ノ選舉セラレタル選舉等級及選舉區ニ從テ之ヲ選舉ヲ行フヘシ  
第四十五條 區町村長ハ選舉ヲ行フ毎ニ其ノ選舉前六十日ヲ期トシ其ノ日ノ現在ニ依リ選舉人ノ資



格ヲ記載セル選舉原簿ヲ調製シ此ノ原簿ニ依リ選舉人名簿ヲ調製スヘシ但シ選舉區ヲ設ケルトキハ每選舉區各別ニ原簿及名簿ヲ調製スヘシ(三十三年勅令第五十一號ヲ以テ第三十五條ヲ改メ第四十五條ニ改メ第四十八條マテ順次繰下ケ)

選舉人名簿ハ其ノ選舉前五十日ヲ期トシ其ノ日ヨリ七日間町村役場ニ於テ關係者ノ縦覽ニ供スヘシ若關係者ニ於テ異議アルトキハ縦覽期限内ニ之ヲ町村長ニ申立ツルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ町村長ハ其ノ申立ヲ受ケタル日ヨリ七日以内ニ之ヲ決定スヘシ

前項町村長ノ決定ニ不服アル者ハ北海道廳支廳長ニ訴願シ其ノ北海道廳支廳長ノ裁決ニ不服アル者ハ北海道廳長官ニ訴願シ其ノ北海道廳長官ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

本條ノ異議、訴願若クハ訴訟ノ爲ニ處分、決定若クハ裁決ノ執行ヲ停止セス

町村長ハ第二項異議ノ決定又ハ第三項訴願ノ裁決若クハ訴訟ノ判決ニ依リ名簿ヲ修正ヲ要スルトキハ選舉ノ日ヨリ五日午前ニ修正ヲ加ヘテ確定名簿ト爲シ之ニ登錄セラレサル者ハ何人タリトモ選舉ヲ行フコトヲ得ス

本條ニ依リ確定シタル名簿ハ其ノ確定シタル日ヨリ一年以内ニ於テ選舉ヲ行フトキモ亦之ヲ適用ス但シ名簿確定後訴願ノ裁決若クハ訴訟ノ判決ニ依リ修正ヲ要スルトキハ選舉ノ日ヨリ五日午前ニ修正スヘキモノトス

選舉人名簿ヲ修正シタルトキハ直ニ其ノ要領ヲ公告スヘシ

第四十六條 選舉ヲ行フトキハ町村長ハ選舉ノ日ヨリ少クトモ七日前ニ選舉ノ場所日時毎選舉區及每級ヨリ選舉スヘキ議員ノ員數ヲ公告スヘシ

各級ニ於テ選舉ヲ行フ順序ハ先ツ二級ノ選舉ヲ行ヒ次ニ一級ノ選舉ヲ行フヘシ

第四十七條 選舉掛ハ名譽職トシ町村長ニ於テ臨時ニ選舉人中ヨリ二名若クハ四名ヲ選任シ町村長若クハ其ノ代理者ハ掛長ト爲リ選舉會ヲ開閉シ會場ノ取締ニ任ズ但シ選舉分會若クハ選舉區ヲ設ケルトキハ各別ニ選舉掛ヲ設ケヘシ

第四十八條 選舉開會中ハ選舉人ヲ除ク外選舉會場ニ入ルコトヲ得且選舉人ハ選舉會場ニ於テ協議若クハ勸誘ヲ爲スコトヲ得ス

第四十九條 選舉ハ投票ヲ以テ之ヲ行フ投票ニハ被選舉人ノ氏名又ハ其ノ住所氏名ヲ記シ封緘ノ上選舉人自ラ之ヲ掛長ニ差出スヘシ但シ選舉人ノ氏名ハ投票ニ記入スルコトヲ得ス(三十三年勅令第五十九條ヲ以テ第三十九條ニ改ム)

町村住民ニ非スシテ第三十八條第二項ニ依リ選舉權ヲ有スル者ハ代人ヲ以テ選舉ヲ行フコトヲ得(三十三年勅令第五十一號ヲ以テ第二十八條ヲ第三十八條ニ改ム)

代人ハ帝國臣民ニシテ公權ヲ有シ且公權停止中ニ非サル獨立ノ男子ニ限ル但シ一人ニシテ數人ノ代理ヲ爲スコトヲ得ス又代人ハ委任狀ヲ選舉掛ニ示スヘシ

選舉人投票ヲ差出ストキハ自己ノ氏名及住所ヲ掛長ニ申立テ掛長ハ選舉人名簿ニ照シテ之ヲ受ケ封緘ノ儘投票函ニ投入スヘシ但シ投票函ハ投票ヲ終ルマテ之ヲ開クコトヲ得ス

第五十條 單名投票ニシテ左ノ各號ニ該當スルモノハ之ヲ無効トス連名投票ニシテ第一號第五號第六號ニ該當スルモノモ亦同シ又連名投票ニシテ第二號乃至第四號ニ該當スルモノハ其ノ部分ノミ



ヲ無効トス(三十三年勅令第五十一號ヲ以テ第四十條ヲ第  
五十條ニ改メ以下第五十八條ヲ順次繰下ク)

- 一 氏名ヲ記載セサルモノ
- 二 記載シタル氏名ノ讀ミ難キモノ
- 三 被選舉人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ
- 四 被選舉權ナキ者ノ氏名ヲ記載シタルモノ
- 五 被選舉人ノ住所氏名ノ外他事ヲ記入シタルモノ但シ位階敬稱ノ類ヲ記入スルハ此ノ限ニ在ラ  
ス

六 投票用紙ヲ一定シタル場合ニ於テ其用紙ヲ用非ササルモノハ其用紙ニ記載シタルモノヲ順次ニ棄却スルシ  
投票ニ記載ノ人員共ノ選舉スヘキ定數ヲ過クルトキハ末尾ニ記載シタルモノヲ順次ニ棄却スルシ  
投票ノ受理効力ニ關スル事項ハ選舉掛之ヲ議決ス可否同數ナルトキハ掛長之ヲ決ス

第五十一條 町村會議員ノ選舉ハ有効投票ノ多數ヲ得タル者ヲ以テ當選トシ投票ノ數相同キ者ハ  
年長者ヲ取り同年ナルトキハ掛長自ラ抽籤シテ其ノ當選ヲ定ム

同時ニ補闕議員數名ヲ選舉スルトキハ投票數ノ多キ者ヲ以テ殘任期ノ長キ前任者ノ補闕ト爲シ投  
票ノ數相同キトキハ掛長自ラ抽籤シテ其ノ順序ヲ定ム

第五十二條 選舉掛ハ選舉掛ヲ製シテ選舉ノ願ヲ記録シ選舉ヲ終リタル後之ヲ朗讀シ選舉人名簿  
其ノ他關係書類ヲ合綴シテ選舉掛一名若クハ數名共ニ之ニ署名捺印シ少クトモ六年間之ヲ保  
存スヘシ

投票ハ選舉ヲ終リタル後之ヲ取廻メ封緘ノ上選舉掛長選舉掛ノ一名若クハ數名ト共ニ之ニ捺印セ

少クトモ六年間之ヲ保存スヘシ

第五十三條 選舉ヲ終リタルトキハ選舉掛長ハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ告知スヘシ其ノ當選ヲ辭セ

ズル者ハ當選ノ告知ヲ發シタル日ヨリ五日以内ニ之ヲ町村長ニ申立テ其ノ當選ヲ辭セ其ノ  
二人ニシテ數級若クハ數選舉區ノ選舉ニ當リタルトキハ當選ノ告知ヲ最終ニ發シタル日ヨリ五日  
以内ニ何レノ選舉ニ應ズヘキコトヲ町村長ニ申立テ其ノ期限內ニ之ヲ申立サル者ハ總テ其ノ  
當選ヲ辭シタル者ト看做スルコトヲ定ム

定期改選ト補闕選舉トヲ同時ニ行ヒタル場合ニ於テ一人ニシテ其ノ兩選舉ニ當リタルトキモ亦前  
項ノ例ヲ適用ス

本條ニ依リ當選ヲ辭シタル者ハ附トキハ更ニ選舉ヲ行フヘシ

選舉ヲ終リ當選者定マリタルトキハ町村長ハ直ニ其ノ住所氏名ヲ公告シ同時ニ選舉錄ノ寫ヲ添ヘ  
之ヲ北海道廳支廳長ニ報告スヘシ

第五十四條 選舉人選舉ノ効力ニ關シ異議アルトキハ選舉ノ日ヨリ七日以内ニ北海道廳支廳長ニ訴  
願シ其ノ北海道廳支廳長ノ裁決ニ不服アル者ハ北海道廳長官ニ訴願シ其ノ北海道廳長官ノ裁決ニ  
不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

北海道廳支廳長ニ於テ選舉ノ効力ニ關シ異議アルトキハ訴願ノ有無ニ拘ラス前條ノ報告ヲ受ケタ  
ル日ヨリ二十一日以内ニ選舉ヲ取消スヘシ



前項北海道廳支廳長ノ處分ニ不服アル者ハ北海道廳長官ニ訴願シ其ノ北海道廳長官ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得  
本條ノ訴願若クハ訴訟ノ爲ニ處分ハ執行ヲ停止セス

第五十五條 選舉ノ規程ニ違背スルコトアルトキハ其ノ選舉ヲ無効トシ又當選者中其ノ資格ノ要件ヲ有セサル者アルトキハ其ノ當選ヲ無効トスヘキモトス但シ選舉ノ規程ニ違背スル所アルモ其ノ事ノ輕微ニシテ選舉ノ結果ニ異動ヲ生セサルモノハ此ノ限ニ在ラス

第五十六條 選舉若クハ當選無効ト確定シタルトキハ更ニ選舉ヲ行フヘシ  
第五十七條 町村會議員中其ノ資格ノ要件ヲ有セサル者アルトキハ其ノ職ヲ失フモノトス  
町村長若クハ町村會ニ於テ前項ニ該當スル者アルコトヲ發見シタルトキハ北海道廳支廳長ニ申出

ツヘシ  
第一項資格要件ノ有無ハ北海道廳支廳長ニ於テ前項ノ申立ニ依リ又ハ其ノ職權ヲ以テ之ヲ決定ス

前項北海道廳支廳長ノ決定ニ不服アル者ハ北海道廳長官ニ訴願シ其ノ北海道廳長官ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

本條ノ場合ニ於テ資格要件ヲ有セスル決定ハ其ノ決定確定シ又ハ訴訟ノ判決アルマテ其ノ執行ヲ停止ス

第五十八條 特別ノ事情アル場合ニ於テハ町村條例ヲ以テ選舉ニ關シ特例ヲ設クルコトヲ得

第二款 職務權限及處務規程

第五十九條 町村會ノ議決ヲ經ヘキ事件左ノ如シ(三十三年勅令第五十一號ヲ以テ第四十九條ヲ第五十九條ニ改メ第五十條ヲ改正ス)

- 一 町村條例及町村規則ヲ設定スル事
  - 二 町村費ヲ以テ支辨スヘキ事業但シ國ノ行政事務ニ屬スルモノハ此ノ限ニ在ラス
  - 三 歳入出豫算ヲ定ムル事
  - 四 法律命令ニ定ムルモノヲ除ク外使用料加入金手数料町村税及夫役現品ノ賦課徵收ノ法ヲ定ムル事
  - 五 町村有不動産ニ關スル權利ノ得喪ヲ目的トスル行爲ヲ爲ス事
  - 六 基本財産及積立金穀等ノ處分ヲ爲ス事
  - 七 歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除ク外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ及權利ノ棄却ヲ爲ス事
  - 八 町村有財産及町村ノ營造物ノ管理方法ヲ定ムル事
  - 九 町村吏員ノ身元保證ヲ徵シ其ノ額ヲ定ムル事
  - 十 町村ニ係ル訴訟及和解ニ關スル事
- 其ノ他町村會ノ職權ハ法律命令ノ定ムル所ニ依ル
- 第六十條 町村會ハ町村ノ事務ニ關スル書類及計算書ヲ檢閲シ町村長ノ報告書ヲ請求シテ事務ノ管理議決ノ施行並收入支出ノ正否ヲ檢査スルコトヲ得(三十三年勅令第五十一號ヲ以テ第五十條ヲ第六十條ニ改メ以下第七十八條マテ順次繰下ク)
- 町村會ハ前項ノ目的ノ爲ニ五名以下ノ委員ヲ議員中ヨリ選舉シ町村長若クハ其ノ指命シタル吏員立會ノ上關係書類並金庫ヲ檢閲セシムルコトヲ得



町村會ハ町村ノ公益ニ關スル事件ニ付意見書ヲ町村長若クハ監督官廳ニ差出スコトヲ得

町村會ハ町村長若クハ官廳ノ諮問アルトキハ意見ヲ答申スヘシ

第六十一條 議員タル者ハ選舉人ノ指示若クハ委囑ヲ受クヘカラサルモノトス

第六十二條 町村會ハ町村長ヲ以テ議長トス

町村會ハ町村會議員中ヨリ議長代理者一名ヲ選舉スヘシ

議長代理者ハ町村會議員ノ定期改選期日ノ前日マテ在職スルモノトス但シ議員ノ職ヲ退クトキハ其ノ職ヲ失フモノトス

第二項ノ選舉ハ總選舉ヲ行ヒタル場合ハ初會ニ於テ其ノ他ハ前任者退職當時ノ會議又ハ退職後ノ初會ニ於テ之ヲ行フ

第六十三條 議長故障アルトキハ其ノ代理者之ニ代リ議長及其ノ代理者共ニ故障アルトキハ町村會ハ年長ノ議員ヲ以テ假議長トスヘシ但シ臨時ニ假議長ヲ選舉スルモ妨ナシ

第六十四條 町村長及其ノ委任ヲ受ケタル吏員ハ何時ニテモ會議ニ出席シ及發言スルコトヲ得但シ議員ノ演說ヲ中止スルコトヲ得ス

前項ノ出席者ハ議員ノ職ニ在ル者ヲ除ク外議決ニ加ハルコトヲ得ス

第六十五條 町村會ハ會議ノ必要アル毎町村長會期ヲ定メテ之ヲ招集ス議員四分ノ一以上ヨリ請求アル場合ニ於テ相當ノ理由アリト認ムルトキモ亦同シ

招集並會議ノ事件ヲ告知スルハ急務ヲ要スル場合ヲ除ク外少クトモ會議ノ二日前タルヘシ

町村會ハ町村長之ヲ開閉ス

第六十六條 町村會ハ議員定員ノ半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス但シ同一ノ事件ニ付集會再回ニ至ルモ議員仍半數ニ滿タサルトキハ此ノ限ニ在ラス

第六十七條 町村會ノ議事ハ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナリトキハ議長ノ可否スル所ニ依ル

第六十八條 議長及議員ハ自己若クハ其ノ父母妻子兄弟姉妹ノ一身上ニ關スル事件ニ就テハ町村會ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ議事ニ參與スルコトヲ得ス

前項除席ヲ爲シ議員ノ數減少シテ會議ヲ開ク定數ニ滿タサルトキモ仍會議ヲ開クコトヲ得

第六十九條 町村會ノ會議ハ公開ス但シ議長ノ意見ヲ以テ傍聽ヲ禁スルコトヲ得又町村長ヨリ要求アリタルトキハ傍聽ヲ禁スヘシ

第七十條 議長ハ會議ノ事ヲ總理シ會議ノ順序ヲ定メ其ノ日ノ會議ヲ開閉シ議場ノ秩序ヲ保持ス

第七十一條 會議及傍聽ノ紀律並取締ニ關スル規則ハ内務大臣之ヲ定ム其ノ規則ニハ之ニ違背シタル議員ニ對シ町村會ノ議決ニ依リ五日以内出

席ヲ停止シ又ハ二回以下ノ過怠金ヲ科スル規程ヲ設クルコトヲ得

町村會ニ於テ行フ選舉ノ方法ハ會議規則ニ之ヲ規定スヘキモノトス



第七十三條 町村會ノ書記ハ町村吏員ノ中ニ就キ町村長之ヲ命ス

書記ハ議長ニ隷屬シテ庶務ニ従事ス

議長ハ書記ヲシテ會議録ヲ製シテ會議ノ顛末並出席議員ノ氏名ヲ記録セシムヘシ

會議録ハ議長及議員二名以上之ニ署名捺印スヘキモノトス

議長ハ會議録ヲ添ヘ會議ノ結果ヲ町村長ニ報告スヘシ

第四章 町村ノ財務

第一款 町村有財產及町村稅

第七十四條 町村ハ不動產積立金穀等ヲ以テ基本財產ト爲シ之ヲ維持スル義務アリ

北海道廳長官ハ町村ノ經濟ノ狀況ニ依リ必要ト認ムルトキハ額ヲ定メテ基本財產ヲ蓄積セシムルコトヲ得

臨時ニ收入シタル金穀等ハ基本財產ニ加入スヘシ但シ寄附金穀等寄附者別ニ其ノ使用ノ目的ヲ定ムルモノハ此ノ限ニ在ラス

町村ハ町村規則ノ規程ニ依リ或ル事業ノ爲ニ特別ノ基本財產若クハ積立金穀等ヲ設クルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ町村會ノ議決ヲ經テ前項收入ノ一部若クハ全部ヲ特別ノ基本財產若クハ積立金穀等ニ加入スルコトヲ得但シ寄附金穀等寄附者別ニ其ノ使用ノ目的ヲ定ムルモノハ此ノ限ニ在ラス

第七十五條 町村有財產ハ其ノ收益ヲ以テ町村ノ收入ト爲スカ爲ニ管理スルモノトス但シ町村ノ直

接ノ公用若クハ町村住民ノ直接ノ共用ニ供シタル町村有財產ニシテ其ノ公用若クハ共用ニ妨アルトキ及特ニ民法上ノ權利ヲ有スル者アル場合ニ於テ其ノ權利ニ抵觸スルトキハ此ノ限ニ在ラス

第七十六條 町村有財產ヲ町村住民ノ全部若クハ一部ノ直接ノ共用ニ供スルニハ町村規則ノ規程ニ依ルヘシ

前項ノ規則ニハ使用料ノ外場合ニ依リ加入金徵收ノ規程ヲ設クルコトヲ得

第七十七條 町村有財產ノ賣却貸與又ハ町村ノ工事及物件調達ノ請負ハ公ノ入札ニ付スヘシ但シ臨時急施ヲ要スルトキ又ハ入札ノ價額其ノ費用ニ比シテ得失相償ハサルトキ又ハ町村會ノ承諾ヲ得ルトキハ此ノ限ニ在ラス

第七十八條 町村ハ北海道廳長官ノ許可ヲ得テ國區町村其ノ他公共團體若クハ一個人ノ事業ニ對シ

寄附若クハ補助ヲ爲スコトヲ得

第七十九條 町村ハ其ノ必要ナル支出及法律命令ニ依リ賦課セラルル支出ヲ負擔スル義務アリ(三十二年勅令第五十一號ヲ以テ第六十九條ヲ第七十九條ニ改メ條中ヲ別除ス)

町村ハ町村有財產ヨリ生スル收入使用料手数料過怠金其ノ他法律命令ニ依リ町村ニ屬スル收入ヲ以テ前項ノ支出ニ充テ仍不足アルトキハ町村稅及夫役現品ヲ賦課徵收スルコトヲ得

第八十條 町村ハ町村有財產若クハ町村ノ營造物ノ使用ニ付又ハ特ニ一個人ノ爲ニスル事務ニ付使用料又ハ手数料ヲ徵收スルコトヲ得(三十三年勅令第五十一號ヲ以テ第七十條ヲ第八十條ニ改メ以下第八十三條マテ順次繰下ク)

第八十一條 町村稅トシテ賦課スルコトヲ得ヘキ目左ノ如シ



第五十國稅ノ附加稅

三 直接若クハ間接ノ特別稅

附加稅ハ直接ノ國稅ニ附加シ均一ノ稅率ヲ以テ町村ハ全部ニ賦課スルヲ常例トス

特別稅ハ別ニ町村限リ稅目ヲ設ケ課稅スルコトヲ要スルトキ賦課スルモノトス

第八十二條 此ノ勅令中別ニ規程アルモノヲ除ク外特別稅ニ關スル細則ハ町村條例又使用料手数料

ニ關スル細則ハ町村規則ヲ以テ之ヲ規定スヘシ

第八十三條 町村住民ニ非スト雖三箇月以上町村内ニ住居ヲ移シ若クハ滞在スル者ハ其ノ住居ヲ移

スル初若クハ滞在シ初ニ遡リ町村稅ヲ納ムル義務アルモノトス

町村住民ニ非ス又三箇月以上町村内ニ住居ヲ移シ若クハ滞在スル者ハ其ノ住居ヲ移

スル初若クハ滞在シ初ニ遡リ町村稅ヲ納ムル義務アルモノトス

地家屋ヲ所有シ若クハ使用シ又ハ町村内ニ於テ營業所ヲ定メテ營業ヲ爲シ又ハ町村内ニ於テ或ル

村爲メ爲ス者ハ土地家屋營業者トシ其ノ所得ニ對シ又ハ行爲ニ對シテ賦課スル町村稅ヲ納ムル義

務アルモノトス其ノ法人タルトキモ亦同シ但シ官業ハ此ノ限ニ在ラス

第八十四條 所得稅ノ附加稅ヲ賦課シ及町村ニ於テ特別ニ所得稅ヲ賦課スルトキハ納稅義務者ノ町

村外ニ於テ所有シ若クハ使用スル土地家屋又ハ町村外ニ於テ營業所ヲ定メタル營業ヨリ收入スル

所得ハ之ヲ控除スルキモ以テ之(三十二年勅令第五十一號ヲ以テ第七十四條ニ關シテ)町村稅ノ附加稅

數市區町村ニ住居ヲ移シ若クハ滞在スル者ハ前項ノ町村稅ヲ賦課スルトキハ其ノ所得ヲ各市區町

村ニ平分シ其ノ一部分ニノミ課稅スヘシ但シ土地家屋又ハ營業所ヲ定メタル營業ヨリ收入スル所

得ハ此ノ限ニ在ラス

數市區町村ニ涉リ營業所ヲ定メテ營業ヲ爲シ且其ノ本稅ヲ分別シテ納メタル者ニ對シ營業稅ノ附

加稅ヲ賦課スルトキハ北海道廳長官ノ定ムル所ニ從ヒ本稅額ヲ各市區町村ニ分割シテ其ノ一部ニ

ノミ賦課スヘシ

第八十五條 所得稅法第五條ニ掲グル所得ニ對シテハ町村稅ヲ賦課スルコトヲ得ス(三十二年勅令第五十

條ヲ第八十五條ニ改メ本

項及第四項中ヲ改正ス)

國區町村其ノ他公共團體ノ直接ノ公用ニ供スル土地家屋營造物ニ對シテハ國區町村其ノ他公共團

體ニ町村稅ヲ賦課スルコトヲ得ス

社寺ノ用ニ供シ又ハ官立公立ノ學校病院ノ用ニ供シ又ハ官其ノ他公共ノ施設ニ係リ學藝美術慈善

ノ用ニ供スル土地家屋營造物ニ對シテハ社寺又ハ國區町村其ノ他公共團體ニ町村稅ヲ賦課スルコ

トヲ得ス

國有ノ山林若クハ荒蕪地ニ對シテハ國區町村稅ヲ賦課スルコトヲ得ス

軍田兵土地給與規則及軍田兵移住給與規則ニ依リ給與シタル公有ノ財産ニ對シテハ第二百二十二條

ニ掲グル期間中ハ町村稅ヲ賦課スルコトヲ得ス

本條ノ外町村稅ヲ賦課スルコトヲ得ザルモノハ別段ノ法律勅令ニ定ムル所ニ從フ

皇族ニ係ル町村稅ノ賦課ハ追テ法律勅令ヲ以テ定ムルマテ現今ノ例ニ依ル

第八十六條 町村有財產ヲ町村住民ノ共部ノ直接ノ共用ニ供シタル場合ニ於テハ其ノ使用權ヲ有ス



ル者ヲシテ使用ノ多寡ニ準シテ其ノ財産ニ係ル必要ナル費用ヲ負擔セシムルコトヲ得（三十二年勅令第七十六條ヲ第八十六條ニ改メ以下第八十八條ヲ下ク）

第八十七條 町村住民ノ一部ノミヲ利スル營造物ノ建設維持ノ費用ハ其ノ關係者ニ負擔セシムルコトヲ得

町村ノ一部ノミヲ利スル營造物ノ建設維持ノ費用ハ其ノ部内ニ住居ヲ構ヘ若クハ滞在シ又ハ其ノ部内ニ於テ土地家屋ヲ所有シ若クハ使用シ又ハ其ノ部内ニ於テ營業所ヲ定メテ營業ヲ爲シ又ハ其ノ部内ニ於テ或ル行爲ヲ爲スニ依リ町村稅ヲ納ムル義務アル者ニ負擔セシムルコトヲ得但シ其ノ一部ノ收入アルトキハ先ツ其ノ收入ヲ以テ其ノ費用ニ充ツヘシ

第八十八條 地租ノ附加稅ハ其ノ納期ヲ定メ納期場合ハ其ノ末日ニ於ケル土地臺帳ノ記名者ヨリ徵收スルモノトス但シ賃入ノ土地ニ對シテハ賃取主ヨリ徵收スルモノトス

地租ノ附加稅ハ免租地若クハ無租地ノ有租地ト爲リタルトキハ其ノ翌月ヨリ、有租地ノ免租地若クハ無租地ト爲リタルトキハ其ノ前月マテ又地租目ノ變換等ニ依リ地租ニ異動ヲ生シタルトキハ其ノ月ヨリ月割ヲ以テ徵收スルモノトス

所得稅ノ附加稅ハ本稅ノ納期ニ於テ本稅ヲ納ムル義務アル者ヨリ徵收スルモノトス

本條ニ規定スルモノヲ除ク外附加稅徵收ノ方法ハ町村規則ヲ以テ之ヲ規定スヘシ

本條ノ例ニ依リ難キ場合ニ於テハ町村條例ヲ以テ別段ノ規程ヲ設クルコトヲ得

第八十九條 町村ハ其ノ必要ニ依リ夫役現品ヲ以テ納稅義務者ニ賦課スルコトヲ得但シ學藝美術手

工ニ關スル勞役ヲ賦課スルコトヲ得ス（三十二年勅令第五十一條ヲ以テ第七十九條ヲ第八十九條ニ改メ第二項中ヲ改正ス）

夫役現品ハ急迫ノ場合ヲ除ク外直接町村稅ヲ準率ト爲シ直接町村稅ヲ賦課セサル町村ニ於テハ直接國稅ヲ準率ト爲シ且之ヲ金額ニ算出シテ賦課スヘシ

夫役ヲ賦課セラレタル者ハ其ノ便宜ニ從ヒ本人自ラ之ニ當リ又ハ適當ノ代人ヲ出スコトヲ得又夫役現品ハ急迫ノ場合ヲ除ク外金圓ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第九十條 町村ニ於テ徵收スル使用料加入金手数料町村稅夫役現品ニ代フル金圓其ノ他町村ノ公法上ノ收入ヲ定期内ニ納メサル者アルトキハ町村長ハ國稅ノ滯納處分ニ關スル規程ニ依リ之ヲ處分スヘシ其ノ督促及手数料ニ關シテハ町村規則ヲ以テ別段ノ規程ヲ設クルコトヲ得（三十二年勅令第五十一條ヲ以テ第八十條ヲ第九十條ニ改メ以下第九十條マテ順次下ク）

納稅義務者中無資力ナル者アルトキハ町村長ノ意見ヲ以テ會計年度内ニ限リ納稅延期ヲ許スルコトヲ得其ノ年度ヲ超ユル場合ニ於テハ町村會ノ議決ニ依ル

本條ニ記載スル徵收金ノ追徵還付期滿免除及先取特權ニ就テハ國稅ニ關スル一般ノ例ヲ適用ス

第九十一條 町村稅ノ賦課ヲ受ケタル者ニシテ其ノ課目課額ニ錯誤アルトキハ納稅ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ三箇月以内ニ町村長ニ異議ヲ申立ツルコトヲ得

町村有財產若クハ町村ノ營造物ヲ使用スル權利ニ關シ異議アル者ハ之ヲ町村長ニ申立ツルコトヲ得

本條ノ異議ハ町村長之ヲ決定ス其ノ町村長ノ決定ニ不服アル者ハ北海道廳支廳長ニ訴願シ其ノ北







算中豫定ナキカ又ハ其ノ命令前條第一項ノ規程ニ依ラサルトキハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス  
前項ノ規程ニ背キタル支拂ハ總テ收入役ノ責任ニ歸ス

第九十七條 町村ノ出納ハ毎月例日ヲ定メテ検査ヲ行ヒ又毎年少クトモ一回臨時検査ヲ行フヘシ  
検査ハ町村長若クハ其代理者之ヲ行ヒ臨時検査ハ町村會ノ選舉シタル議員一名以上ノ立會ヲ要ス

第九十八條 町村ノ出納閉鎖ハ翌年度六月三十日ヲ以テ期限トス

決算ハ出納閉鎖期限後一箇月以内ニ證書類ヲ併セテ收入役ヨリ之ヲ町村長ニ提出スヘシ町村長ハ  
之ヲ審査シ意見ヲ附シ次ノ通常豫算會議ニ於テ之ヲ町村會ニ報告スヘシ

町村長ハ決算報告書及之ニ關スル町村會ノ議決ヲ北海道廳支廳長ニ報告シ並テ地方所定ノ公告式ニ  
依リ決算ノ要領ヲ公告スヘシ

第五章 町村内一部ノ行政

第九十九條 町村内ノ一部ニシテ所有財産若クハ營造物ニ就キ其ノ部限リ特ニ其ノ費用ヲ負擔スル  
トキハ北海道廳長官ハ町村會ノ意見ヲ聞キ内務大臣ノ許可ヲ得テ財産營造物ニ關スル事務ノ爲部  
會ヲ設クルコトヲ得

前項部會ノ組織選舉職務權限處務規程等ハ内務大臣ノ許可ヲ得テ北海道廳長官之ヲ定ム

第一百條 前條ニ記載スル事務ニ就キ此ノ勅令ノ規程ニ依リ難キ事項其ノ他部ニ關シ特ニ必要ナル  
事項ハ内務大臣ノ許可ヲ得テ北海道廳長官之ヲ定ム

第六章 町村組合

第一百一條 北海道廳支廳長ハ公益上必要ト認ムル場合ニ於テハ數町村ノ事務ヲ共同處理セシムル爲

北海道廳長官ノ許可ヲ得テ町村組合ヲ設クルコトヲ得(三十三年勅令第五十一號ヲ以テ第九十一條ヲ第九十二條ニ改メ第二項中ヲ改正ス)

北海道廳支廳長ハ前項ノ許可ヲ受クルニハ組合會議ノ組織事務ノ管理方法及費用ノ支辨方法ニ關  
シ組合規程ヲ設ケ併セテ北海道廳長官長ノ許可ヲ受クヘシ其ノ變更ヲ要スルトキモ亦同シ

第一百二條 町村組合ハ法人トス(三十三年勅令第五十一號ヲ以テ第九十條ヲ第九十一條ニ改メ第二項トナシ全部ヲ改正ス)

町村組合ニ就テハ町村ニ關スル規程ヲ準用ス其ノ準用シ難キ事項其ノ他町村組合ニ關シ特ニ必要  
ナル事項ハ前條ノ組合規程ニ之ヲ規定スヘシ

第一百三條 町村組合ハ北海道廳支廳長ニ於テ北海道廳長官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ之ヲ解除スルコ  
トヲ得ス(三十三年勅令第五十一號ヲ以テ第九十條ヲ第九十一條ニ改メ第二項ヲ追加ス)

公益上必要ト認ムル場合ニ於テハ北海道廳支廳長ハ北海道廳長官ノ許可ヲ得テ組合町村ノ數ヲ増  
減シ又ハ共同事務ノ變更ヲ爲スコトヲ得

第一百四條 一級町村ト二級町村トノ組合ニ關シテモ亦本章ノ例ヲ適用ス但シ内務大臣ニ於テ別段ノ  
規定ヲ設クルモノハ此ノ限ニ在ラス(三十三年勅令第五十一號ヲ以テ第九十條ヲ第九十一條ニ改メ但書ヲ追加ス)

第七章 町村行政ノ監督

第一百五條 町村行政ハ第一次ニ於テ北海道廳支廳長之ヲ監督シ第二次ニ於テ北海道廳長官之ヲ監督  
シ第三次ニ於テ内務大臣之ヲ監督ス(三十三年勅令第五十一號ヲ以テ第九十五條ヲ第九十六條ニ改メ以下第十條マテ順次繰下ク)

第一百六條 此ノ勅令ニ規定スル異議訴願若クハ訴訟ハ處分ヲ爲シ又ハ決定書若クハ裁決書ヲ交付シ



タル日ヨリ二十一日以内ニ提起スヘシ但シ此ノ勅令中別ニ期限ヲ定メタルモノハ此ノ限ニ在ラス  
第七條 監督官廳ハ町村行政ノ法律命令ニ背反セサルヤ其ノ事務錯亂滯滞セサルヤ否ヲ監視スヘシ  
監督官廳ハ之カ爲ニ行政事務ニ關シテ報告ヲ爲サシメ豫算決算等ノ書類帳簿ヲ徴シ立實地ニ就テ事務ヲ視察シ出納ヲ檢閲スル權ヲ有ス

監督官廳ハ町村行政ヲ監督スル爲ニ必要ナル命令ヲ發シ處分ヲ爲ス權ヲ有ス  
上級監督官廳ハ下級監督官廳ノ町村行政ニ關シテ爲シタル命令若クハ處分ヲ停止シ若クハ取消ス  
コトヲ得

第八條 北海道廳支廳長ハ町村ノ豫算中不適當ノ支出ト認ムルモノアルトキハ之ヲ削減スルコトヲ得  
其ノ支出ヲ削減シタル場合ニ於テハ之ニ相當スル收入ヲ削減スヘシ  
前項北海道廳支廳長ノ處分ニ不服アル町村會ハ北海道廳長官ニ訴願シ其ノ北海道廳長官ノ裁決ニ不服アル町村會ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

本條ノ訴願ノ爲ニ處分ノ執行ヲ停止セス  
第九條 町村會ノ解散ハ内務大臣之ヲ命ス此ノ場合ニ於テハ三箇月以内ニ議員ヲ選舉スヘシ北海道廳支廳長ハ十日以内ニ於テ町村會ノ停會ヲ命スルコトヲ得

第十條 町村條例ノ設定ハ内務大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス  
第十一條 左ニ掲グル事件ハ内務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス  
(三十二年勅令第五十一條ヲ以テ第一條改正ス)

一 町村債ヲ起シ或借入ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定メ若クハ變更スル事但シ第九十二條未項ノ借入金ハ此ノ限ニ在ラス

二 特別稅ヲ新設シ若クハ變更スル事  
三 直接國稅二分ノ一ヲ超過スル附加稅ヲ賦課スル事  
四 間接國稅ノ附加稅ヲ賦課スル事

五 國庫ヨリ直接ニ交付スル補助金ニ對シテ支出金額ヲ定メ若クハ變更スル事  
第六條 左ニ掲グル事件ハ北海道廳長官ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス  
(三十二年勅令第五十一條ヲ以テ第一條改正ス)

一 町村規則制定スル事  
二 使用料手数料新設シ若クハ變更スル事  
三 借入金ノ交付スル補助金ニ對シテ支出金額ヲ定メ若クハ變更スル事

四 學藝美術又ハ歴史上貴重ナル物件ヲ處分シ若クハ大ナル變更ヲ爲ス事  
五 各種ノ保證ヲ與フル事  
六 繼續費ヲ定メ若クハ變更スル事

七 物ノ稅率ニ依ラズシテ酒稅ノ附加稅ヲ賦課スル事  
八 物ノ稅率ニ依ラズシテ酒稅ノ附加稅ヲ賦課スル事  
(三十二年勅令第五十一條ヲ以テ第一條改正ス)











町村住民タル者ハ此ノ勅令ニ從ヒ村町有財產並町村ノ營造物ヲ共用スル權利ヲ有シ及町村ノ負擔ヲ分任スル義務ヲ有スルモノトス但シ特ニ民法上ノ權利義務ヲ有スル者アルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第五條 帝國臣民ニシテ公權ヲ有スル獨立ノ男子三年以來(一)町村ノ住民ト爲リ(二)町村ノ負擔ヲ分任シ及(三)町村内ニ於テ地租年額三十錢以上ヲ納メ若クハ直接國稅年額一圓五十錢以上ヲ納メ若クハ耕地宅地三町歩以上ヲ所有シ若クハ各納稅人ノ直接町村稅平均納額以上ノ直接町村稅ヲ納ムル者ハ町村公民トス但シ公費ヲ以テ貧民救助ヲ受ケタル後三年ヲ經サル者ハ此ノ限ニ在ラス前項三年ノ制限ハ場合ニ依リ町村會ノ議決ヲ經テ郡長ノ許可ヲ受ケ之ヲ特免スルコトヲ得此ノ勅令ニ於テ獨立ト稱スルハ滿二十五歲以上ニシテ一戸ヲ構ヘ且治産ノ禁ヲ受ケサルモノヲ云フ

町村ノ負擔ヲ分任セシムルコトナキ町村ニ於テハ第一項(二)ノ要件ヲ缺クト雖其ノ他ノ要件ヲ具備スル者ハ町村公民トス

町村公民ニシテ相當ノ理由ナクシテ名譽職ヲ拒辭シ又ハ任期中退職シ又ハ無任期ノ職務ヲ少クトモ三年間擔當セズ又ハ其ノ職務ヲ實際ニ執行セサル者ニ對スル處分ノ規則ハ「拓殖務大臣」之ヲ定ム其ノ規則ニハ町村會ノ議決ニ依リ六年以内公民タル權ヲ停止シ場合ニ依リ同年期間他ノ住民ノ負擔スヘキ町村稅ノ率ニ比シ四分ノ一以下ヲ增加スル規程ヲ設クルコトヲ得

第六條 町村公民タル者前條ニ掲載スル要件ノ一ヲ失フトキハ公民タル權ヲ失フモノトス

町村公民タル者公權停止中若クハ租稅滯納處分中ハ公民タル權ヲ停止ス家資分散若クハ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキハ復權ノ決定アルマテ又公權剝奪若クハ停止ヲ附加スヘキ重罪輕罪ノ爲公判ニ付セラレタルトキ其ノ裁判ノ確定ニ至ルマテ亦同シ

陸海軍ノ現役ニ服スル者ハ町村ノ公務ニ參與セザルモノトス現役以外ノ兵役ニ在ル者ニシテ戰時若クハ事變ニ際シ召集セラレタルトキモ亦同シ

第三款 町村條例及町村規則

第七條 町村ハ町村住所ノ權利義務及町村ノ事務ニ關シ此ノ勅令中明文ナク又ハ條例ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ許シ若クハ規定スルコトヲ要スル事項ニ就テハ條例ヲ設クルコトヲ得

町村ハ町村有財產及町村ノ營造物ニ關スル事項其ノ他此ノ勅令中規則ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ許シ若クハ規定スルコトヲ要スル事項ニ就テハ規則ヲ設クルコトヲ得

町村條例及町村規則ハ法律命令ニ抵觸スルコトヲ得ス

町村條例及町村規則ヲ發行スルニハ地方所定ノ公告式ニ依ル其ノ公告式ハ町村規則ヲ以テ之ヲ定ム

第二章 町村行政

第一款 町村吏員ノ組織及任用

第八條 町村ニ町村長書記其ノ他必要ノ附屬員ヲ置キ有給吏員トス



町村長ハ北海道長官之ヲ任免シ書記ハ郡長之ヲ任免シ其ノ他ハ附屬員ハ町村長之ヲ任免ス

第九條 町村ハ職務便宜ヲ爲スル町村規則ヲ以テ町村ハ區域ヲ數部ニ分テ每部部長及其ノ代理者各一名ヲ置ク

部長及其代理者ハ名譽職トス

部長及其ノ代理者ハ選舉權ヲ有スル町村民ノ中ニ就キ町村長之ヲ任免ス

第十條 町村ハ町村規則ヲ以テ臨時若シハ常設ノ委員ヲ置ク

委員ハ名譽職トス

委員ハ町村會議員若クハ町村民選舉權ヲ有スル者ヲ以テ之ニ充テ又ハ町村會議員及町村民中

選舉權ヲ有スル者ヲ以テ之ニ充ツ其ノ合議體ニ組織シタル場合ニ於テハ町村長若クハ其ノ委任ヲ

受ケタル書記ヲ以テ委員長トス

委員ハ郡長之ヲ任免ス

委員ハ組織等ニ關スル事項ハ第三項ノ規則ニ之ヲ規定スヘシ

第十一條 町村吏員ノ職務權限

町村長ハ町村ヲ統轄シ其ノ行政事務ヲ擔任ス

町村長ノ擔任スル事務ハ概目左キ如シ

一 町村會ノ議事ヲ準備シ並ニ其ノ議決ヲ承諾シ及執行スル事

二 町村有財產及町村ノ營造物ヲ管理スル事但シ特ニ之ヲ管理者アルトキハ其ノ事務ヲ監督スル

事

三 町村ノ權利ヲ保護スル事

四 町村ノ歳入ヲ管理シ町村ノ收入ヲ受領シ其ノ費用ノ支拂ヲ爲シ其ノ他會計事務ヲ處理スル事

五 町村吏員ヲ監督シ書記委員ヲ除ク外其ノ他ニ對シ懲戒處分ヲ行フ事其ノ懲戒處分ハ罷責及五

圓以下ノ過怠金トス

六 町村ノ諸證書及公文書類ヲ保管スル事

七 外部ニ對シテ町村ヲ代表シ及町村ノ名義ヲ以テ他應若クハ一個人ト交渉スル事

八 法律命令若クハ町村會ノ議決ニ依リ使用料加入金手数料町村稅及夫役現品ヲ賦課徵收スル事

九 町村條例及町村規則ヲ設定スル事

十 町村營造物ノ管理方法ヲ定ムル事

十一 其他法律命令若クハ上司ノ指令ニ依テ町村長ニ委任シタル事務ヲ處理スル事

第十二條 町村長ハ法律命令ニ從ヒ左ノ事務ヲ管掌ス

一 司法警察官ノ職務

二 浦役場ノ事務

三 國ノ行政ニシテ町村ニ屬スル事務但シ別ニ吏員ノ設アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十三條 町村長若クハ監督官廳ニ於テ町村會ノ議決其ノ權限ヲ超テ又ハ法律命令ニ背キ又ハ公益



ニ害アリト認ムルトキ又ハ町村會ニ於テ必要ノ收支ニ關シ否決シタルトキ又ハ町村長若クハ監督官廳ニ於テ町村會ノ議決必要ノ收支ニ關シ不當ノ削減ヲ爲スト認ムルトキハ町村長ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指令ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ郡長ニ申立テ指揮ヲ請フヘシ但シ場合ニ依リ再議ニ付セスシテ直ニ郡長ノ指揮ヲ請フコトヲ得

第十四條 町村會招集ニ應セス若クハ成立セサルトキハ町村長ハ郡長ニ申立テ指揮ヲ請ヒ其ノ議決スヘキ事件ヲ處分スルコトヲ得

町村會ニ於テ其ノ議決スヘキ事件ヲ議決セス若クハ議了セサルトキハ前項ノ例ニ依ル

第十五條 第五十二條但書若クハ第五十四條第二項ノ場合ニ於テ全ク會議ヲ開クコト能ハサルトキハ前條ノ例ニ依ル

第十六條 書記ハ町村長ノ命令ヲ承ケ國ノ行政及町村ノ行政ニ係ル庶務ニ從事ス

町村長故障アルトキハ上席書記國ノ行政及町村ノ行政ニ付其ノ職務ヲ代理ス

第十七條 部長及其ノ代理者ハ町村長ノ命令ヲ承ケ部内ニ關スル國ノ行政及町村ノ行政ニ付町村長ノ事務ヲ補助執行ス

第十八條 委員ハ町村長ノ監督ニ屬シ町村有財產若クハ町村ノ營造物ヲ管理シ其ノ他町村行政事務

ノ一部ヲ分掌シ又ハ一時ノ委託ニ依リ事務ヲ處辨ス

委員ノ職務權限ニ關スル細則ハ町村規則ヲ以テ之ヲ規定スヘシ

第十九條 町村役場及町村吏員ノ處務規程ハ北海道廳長官ノ許可ヲ得テ郡長之ヲ定ム

第三款 給料及給與

第二十條 名譽職員ハ職務取扱ノ爲ニ要スル實費ノ辨償ヲ受クルコトヲ得

部長及其ノ代理者並委員ニハ實費辨償ノ外町村會ノ決議ヲ經テ勤務ニ相當スル報酬ヲ給スルコトヲ得

實費辨償額報酬額及其ノ支給方法ハ町村會ノ議決ヲ經テ郡長ノ許可ヲ受クヘシ

第二十一條 町村長及書記ノ給料額旅費額及其ノ支給方法ハ北海道廳長官之ヲ定メ其ノ他有給吏員ノ給料額旅費額及其ノ支給方法ハ町村規則ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第二十二條 給料旅費報酬辨償等ハ町村ノ負擔トス但シ町村長ノ給料及旅費ハ國庫ヨリ支給ス

第三章 町村會

第一款 組織及選舉

第二十三條 町村會議員ハ町村ノ選舉人其ノ被選舉權アル者ヨリ之ヲ選舉ス其ノ定員左ノ如シ

一 人口千五百未滿ノ町村ニ於テハ 議員八人

一 人口千五百以上五千未滿ノ町村ニ於テハ 議員十二人



一人口五千以上一萬未滿ノ町村ニ於テハ

議員十六人

一人口一萬以上二萬未滿ノ町村ニ於テハ

議員二十人

一人口二萬以上ノ町村ニ於テハ

議員二十四人

前項ノ定員ハ町村規則ヲ以テ之ヲ減スルコトヲ得

第二十四條 町村公民ハ總テ選舉權ヲ有ス但シ公民權停止中ノ者及第六條第三項ノ場合ニ當ル者ハ此ノ限ニ在ラス

直接町村稅ヲ納ムル者其ノ額町村公民ノ最多ク直接町村稅ヲ納ムル三名中ノ一名ヨリモ多キトキハ町村住民ニ非サル者又ハ三年以來ノ町村住民ニ非サル者ト雖第五條ニ掲載スル其ノ他ノ要件ヲ具備スルトキハ選舉權ヲ有ス但シ第六條第二項ノ公民權停止ノ條件又ハ同條第三項ノ場合ニ當ル者ハ此ノ限ニ在ラス

第二十五條 選舉人ハ分テ二級トス

選舉人中直接町村稅ノ多キ者ヲ合セテ選舉人總員ノ納ムル總額ノ半ニ當ルヘキ者ヲ一級トシ爾餘ノ選舉人ヲ二級トス  
各級ノ間納稅額兩級ニ跨ル者アルトキハ上級ニ入ルヘシ又兩級ノ間ニ同額ノ納稅者二名以上アルトキハ町村内ニ住居スル年數ノ多キ者ヲ以テ上級ニ入ル若シ住居ノ年數ニ依リ難キトキハ年長者ヲ以テ之ニ依リ難キトキハ町村長自ラ抽籤シテ之ヲ定ムヘシ  
選舉人毎級各別ニ議員ノ半數ヲ選舉ス其ノ被選舉人ハ同級内ノ者ニ限ラサルモノトス

第二十六條 區域廣濶又ハ人口稠密ナル町村ニ於テハ町村會ノ議決ヲ經テ區畫ヲ定メ選舉分會ヲ設クルコトヲ得但シ特ニ二級選舉ノ爲之ヲ設クルモ妨ナシ

分會ニ於テ爲シタル投票ハ投票函ノ儘本會ニ集メテ之ヲ合算シ總數ヲ以テ當選ヲ定ム  
分會ハ本會ト同日時ニ之ヲ開クヘシ其ノ他選舉ノ手續會場ノ取締等總テ本會ノ例ニ依ル

第二十七條 特別ノ事情アル町村ニ於テハ町村條例ヲ以テ選舉區ヲ設クルコトヲ得

選舉區ノ數及其ノ區域並各選舉區ヨリ選舉スヘキ議員ノ員數ハ選舉人ノ員數ニ準シ前項ノ條例ニ之ヲ規定スヘシ

選舉人ハ住居ヲ占ムル地ニ依テ所屬ノ選舉區ヲ定ム其ノ町村内ニ住居ヲ占メサル者ハ直接町村稅ノ賦課ヲ受ケタル物件ノ所在ニ依テ之ヲ定ム若シ數選舉區ニ亙リ賦課ヲ受ケタル物件アルトキハ稅額ノ最多キ物件ノ所在ニ依テ之ヲ定ム又直接町村稅ノ賦課ヲ受ケタル物件ナキトキハ住居ヲ構ヘ若クハ滞在スル地ニ依テ之ヲ定ムヘシ但シ本文ノ場合ニ於テ稅額ノ相同キトキ又ハ數選舉區ニ亙リ住居ヲ構ヘ若クハ滞在スルトキハ本人ノ申出ニ依リ之ヲ定ムヘシ

選舉區ヲ設クルトキハ各選舉區ニ於テ選舉人ノ等級ヲ分ツヘシ  
各選舉區ヨリ選舉スヘキ議員ノ員數各級ニ等分シ難キトキハ各選舉區各級ヨリ選舉スヘキ議員ノ員數ヲ第一項ノ條例ニ規定スヘシ

被選舉人ハ其ノ選舉區内ノ者ニ限ラサルモノトス

第二十八條 選舉權ヲ有スル町村公民ハ總テ被選舉權ヲ有ス



左ニ掲クル者ハ被選舉權ヲ有セス

- 一 北海道廳及所屬郡ノ官吏
- 二 有給ノ町村吏員
- 三 檢事及警察官吏
- 四 神官僧侶其ノ他諸宗教師
- 五 小學校教員

其ノ他官吏ニシテ當選シ之ニ應セントスルトキハ所屬長官ノ許可ヲ受クヘシ  
 父子兄弟タル縁故アル者ハ同時ニ町村會議員タルコトヲ得ス若同時ニ選舉セラレタルトキハ投票  
 ノ數ニ依テ其ノ多キ者一人ヲ當選トシ同數ナレハ年長者ヲ當選トシ同年ナレハ抽籤ヲ以テ之ヲ定  
 ム其ノ時ヲ異ニシテ選舉セラレタル者ハ後者議員タルコトヲ得ス

町村長トノ間父子兄弟タル縁故アル者ハ之ト同時ニ町村會議員タルコトヲ得ス若議員トノ間ニ其  
 ノ縁故アル者町村長ノ任命ヲ受ケタルトキハ其ノ縁故アル議員ハ其ノ職ヲ失フモノトス

第二十九條 町村會議員ハ名譽職トス其ノ任期ハ六年トシ毎三年各級ニ於テ其ノ半數ヲ改選ス若各  
 級ノ議員二分シ難キトキハ初回ニ於テ多數ノ一半ヲ退職セシム初回ニ於テ退職セシムヘキ者ハ抽  
 籤ヲ以テ之ヲ定ム

前項議員ノ任期ハ總選舉ヲ行ヒタル日選舉ノ數日ニ互ル又ハ定期改選期日選舉ノ數日ニ互ルヨリ起算シ曆  
 ニ從フ但シ總選舉ノ場合ニ於テ一部ノ議員後レテ選舉セラレ又ハ定數改選ノ場合ニ於テ一部若ク

ハ全部ノ議員其ノ期日後ニ選舉セララルコトアルモ先ニ總選舉ヲ行ヒタル日又ハ定期改選期日ヨ  
 リ起算ス

退職ノ議員ハ再選セララルコトヲ得

議員ニ關シテハ第二十条第一項第三項第二十二條ノ例ヲ適用ス

第三十條 町村會議員中關員アルトキハ每三年定期改選ノ時ニ至リ同時ニ補闕選舉ヲ行フヘシ若定  
 員三分ノ一以上關員アルトキ又ハ町村長若クハ町村會ニ於テ臨時補闕ヲ必要ト認ムルトキハ定期  
 前ト雖補闕選舉ヲ行フヘシ

補闕議員ハ前任者ノ殘任期間在職スルモノトス

定期改選及補闕選舉ハ前任者ノ選舉セラレタル選舉等級及選舉區ニ從テ之カ選舉ヲ行フヘシ  
 第三十一條 町村長ハ選舉ヲ行フ毎ニ其ノ選舉前四十日ヲ期トシ其ノ日ノ現在ニ依リ選舉人ノ資格  
 ヲ記載セル選舉原簿ヲ調製シ此ノ原簿ニ依リ選舉人名簿ヲ調製スヘシ但シ選舉區ヲ設ケルトキハ  
 毎選舉區各別ニ原簿及名簿ヲ調製スヘシ

選舉人名簿ハ其ノ選舉前三十日ヲ期トシ其ノ日ヨリ十四日間町村役場ニ於テ關係者ノ縦覽ニ供ス  
 ヘシ若關係者ニ於テ異議アルトキハ縦覽期限内ニ之ヲ町村長ニ申立ツルコトヲ得

町村長ハ前項ノ申立ニ依リ名簿ノ修正ヲ要スト認ムルトキハ選舉ノ日ヨリ七日前ニ修正ヲ加ヘテ  
 確定名簿ト爲シ之ニ登錄セラレサル者ハ何人タリトモ選舉ヲ行フコトヲ得ス

本條ニ依リ確定シタル名簿ハ其ノ確定シタル日ヨリ一年以内ニ於テ選舉ヲ行フトキモ亦之ヲ適用



ス

選舉人名簿ヲ修正シタルトキハ直ニ其ノ要領ヲ公告スヘシ

第三十二條 選舉ヲ行フトキハ町村長ハ選舉ノ日ヨリ少クトモ七日前ニ選舉ノ場所日時並毎選舉區及每級ヨリ選舉スヘキ職員ノ員數ヲ公告スヘシ

各級ニ於テ選舉ヲ行フ順序ハ先ツ二級ノ選舉ヲ行ヒ次ニ一級ノ選舉ヲ行フヘシ

第三十三條 選舉掛ハ名譽職トシ町村長ニ於テ臨時ニ選舉人中ヨリ二名若クハ四名ヲ選任シ町村長若クハ其ノ代理者ハ掛長ト爲リ選舉會ヲ開閉シ會場ノ取締ニ任ス但シ選舉分會若クハ選舉區ヲ設クルトキハ各別ニ選舉掛ヲ設クヘシ

第三十四條 選舉開會中ハ選舉人ヲ除ク外選舉會場ニ入ルコトヲ得ス選舉人ハ選舉會場ニ於テ協議若クハ勸誘ヲ爲スコトヲ得ス

第三十五條 選舉ハ投票ヲ以テ之ヲ行フ投票ニハ被選舉人ノ氏名又ハ其ノ住所氏名ヲ記シ封緘ノ上選舉人自ラ之ヲ掛長ニ差出スヘシ但シ選舉人ノ氏名ハ投票ニ記入スルコトヲ得ス

町村住民ニ非スシテ第二十四條第二項ニ依リ選舉權ヲ有スル者ハ代人ヲ以テ選舉ヲ行フコトヲ得代人ハ帝國臣民ニシテ公權ヲ有シ且公權停止中ニ非サル獨立ノ男子ニ限ル但シ一人ニシテ數人ノ代理ヲ爲スコトヲ得ス又代人ハ委任狀ヲ選舉掛ニ示スヘシ

選舉人投票ヲ差出ストキハ自己ノ氏名及住所ヲ掛長ニ申立テ掛長ハ選舉人名簿ニ照シテ之ヲ受ケ封緘ノ儘投票函ニ投入スヘシ但シ投票函ハ投票ヲ終ルマテ之ヲ開クコトヲ得ス

第三十六條 單名投票ニシテ左ノ各號ニ該當スルモノハ之ヲ無効トス連名投票ニシテ第一號第五號

第六號ニ該當スルモノモ亦同シ又連名投票ニシテ第二號乃至第四號ニ該當スルモノハ其ノ部分ノミヲ無効トス

一 氏名ヲ記載セサルモノ

二 記載シタル氏名ノ讀ミ難キモノ

三 被選舉人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ

四 被選舉權ナキ者ノ氏名ヲ記載シタルモノ

五 被選舉人ノ住所氏名ノ外他事ヲ記入シタルモノ但シ位階敬稱ノ類ヲ記入スルハ此ノ限ニ在ラ

ス

六 投票用紙ヲ一定シタル場合ニ於テ其ノ用紙ヲ用井サルモノ

投票ニ記載ノ人員其ノ選舉スヘキ定數ヲ過クルトキハ末尾ニ記載シタルモノヲ順次ニ棄却スヘシ投票ノ受理並效力ニ關スル事項ハ選舉掛之ヲ議決ス可否同數ナルトキハ掛長之ヲ決ス

第三十七條 町村會議員ノ選舉ハ有效投票ノ多數ヲ得タル者ヲ以テ當選トス投票ノ數相同キトキハ年長者ヲ取リ同年ナルトキハ掛長自ラ抽籤シテ其ノ當選ヲ定ム

同時ニ補闕議員數名ヲ選舉スルトキハ投票數ノ多キ者ヲ以テ殘任期ノ長キ前任者ノ補闕ト爲シ投票ノ數相同キトキハ掛長自ラ抽籤シテ其ノ順序ヲ定ム

第三十八條 選舉掛ハ選舉錄ヲ製シテ選舉ノ顛末ヲ記錄シ選舉ヲ終リタル後之ヲ朗讀シ選舉人名簿



其ノ他關係書類ヲ合綴シテ選舉係長選舉掛ノ一名若クハ數名ト共ニ之ニ署名捺印シ少クトモ六年間之ヲ保存スヘシ

投票ハ選舉ヲ終リタル後之ヲ取纏メ封緘ノ上選舉係長選舉掛ノ一名若クハ數名ト共ニ之ニ捺印シ少クトモ六年間之ヲ保存スヘシ

第三十九條 選舉ヲ終リタルトキハ選舉掛長ハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ告知スヘシ其ノ當選ヲ辭セントスル者ハ當選ノ告知ヲ發シタル日ヨリ五日以内ニ之ヲ町村長ニ申立ツヘシ  
一人ニシテ數級若クハ數選舉區ノ選舉ニ當リタルトキハ當選ノ告知ヲ最終ニ發シタル日ヨリ五日以内ニ何レノ選舉ニ應スヘキコトヲ町村長ニ申立ツヘシ其ノ期限内ニ之ヲ申立テサル者ハ總テ其ノ當選ヲ辭シタル者ト看做スヘシ

定期改選ト補開選舉トヲ同時ニ行ヒタル場合ニ於テ一人ニシテ其ノ兩選舉ニ當リタルトキモ亦前項ノ例ヲ適用ス

本條ニ依リ當選ヲ辭シタル者アルトキハ更ニ選舉ヲ行フヘシ  
選舉ヲ終リ當選者定マリタルトキハ町村長ハ直ニ其ノ住所氏名ヲ公告シ同時ニ選舉録ノ寫ヲ添ヘ之ヲ郡長ニ報告スヘシ

第四十條 郡長ニ於テ選舉ノ効力ニ關シ異議アルトキハ前條ノ報告ヲ受ケタル日ヨリ六十日以内ニ選舉ヲ取消スヘシ但シ北海道廳長官ノ認許ヲ受クルコトヲ要ス

第四十一條 選舉ノ規程ニ違背スルコトアルトキハ其ノ選舉ヲ無効トシ又當選者中其ノ資格ノ要件

ヲ有セサル者アルトキハ其ノ當選ヲ無効トスヘキモノトス但シ選舉ノ規程ニ違背スル所アルモ其ノ事ノ輕微ニシテ選舉ノ結果ニ異動ヲ生セサルモノハ此ノ限ニ在ラス

第四十二條 選舉若クハ當選無効ト爲リタルトキハ更ニ選舉ヲ行フヘシ

第四十三條 町村會議員中其ノ資格ノ要件ヲ有セサル者アルトキハ其ノ職ヲ失フモノトス

町村長若クハ町村會ニ於テ前項ニ該當スル者アルコトヲ發見シタルトキハ郡長ニ申立ツヘシ

第一項資格要件ノ有無ハ郡長ニ於テ前項ノ申立ニ依リ又ハ其ノ職權ヲ以テ之ヲ決定ス但シ北海道廳長官ノ認許ヲ受クルコトヲ要ス

第四十四條 特別ノ事情アル場合ニ於テハ町村條例ヲ以テ選舉ニ關シ特例ヲ設クルコトヲ得

第二款 職務權限及處務規程

第四十五條 町村會ノ議決ヲ經ヘキ事件左ノ如シ

- 一 歳入出豫算ヲ定ムル事
- 二 法律命令ニ定ムルモノヲ除ク外使用料加入金手数料町村稅及夫役現品ノ賦課徵收ノ法ヲ定ムル事
- 三 町村有不動產ノ賣買交換讓受讓渡並質入書入ヲ爲ス事
- 四 基本財産及積立金數等ノ處分ヲ爲ス事
- 五 歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除ク外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ及權利ノ棄却ヲ爲ス事
- 六 町村有財産ノ管理方法ヲ定ムル事



七 町村ニ係ル訴訟及和解ニ關スル事

其ノ他町村會ノ職權ハ法律命令ノ定ムル所ニ依リ  
第四十六條 町村會ハ町村長ノ報告書ヲ請求シテ町村有財産ノ管理並收入支出ノ正否ヲ検査スルコトヲ得

町村會ハ前項ノ目的ノ爲ニ五名以下ノ委員ヲ議員中ヨリ選舉シ町村長若クハ其ノ指命シタル吏員立會ノ上關係書類並金庫ヲ檢閲セシムルコトヲ得

町村會ハ町村ノ公益ニ關スル事件ニ付意見書ヲ町村長若クハ監督官廳ニ差出スコトヲ得

町村會ハ町村長若クハ官廳ノ諮問アルトキハ意見ヲ答申スヘシ

第四十七條 議員タル者ハ選舉人ノ指示若クハ委囑ヲ受クヘカラサルモノトス

第四十八條 町村會ハ町村長ヲ以テ議長トス

町村會ハ町村會議員中ヨリ議長代理者一名ヲ選舉スヘシ

議長代理者ハ町村會議員ノ定期改選期日ノ前日マテ在職スルモノトス但シ議員ノ職ヲ退クトキハ其ノ職ヲ失フモノトス

第二項ノ選舉ハ總選舉ヲ行ヒタル場合ハ初會ニ於テ其ノ他ハ前任者退職當時ノ會議又ハ退職後ノ初會ニ於テ之ヲ行フ

第四十九條 議長故障アルトキハ其ノ代理者之二代リ議長及其ノ代理者共ニ故障アルトキハ町村會ハ年長ノ議員ヲ以テ假議長トスヘシ但シ臨時ニ假議長ヲ選舉スルモ妨ナシ

第五十條 町村長及其ノ委任ヲ受ケタル吏員ハ何時ニテモ會議ニ出席シ及發言スルコトヲ得但シ議員ノ演說ヲ中止スルコトヲ得ス

前項ノ出席者ハ議員ノ職ニ在ル者ヲ除ク外議決ニ加ハルコトヲ得ス

第五十一條 町村會ハ會議ノ必要アル毎ニ町村長會期ヲ定メテ之ヲ招集ス議員四分ノ一以上ヨリ請求アル場合ニ於テ相當ノ理由アリト認ムルトキモ亦同シ

招集並會議ノ事件ヲ告知スルハ急施ヲ要スル場合ヲ除ク外少クトモ會議ノ三日前タルヘシ

町村會ハ町村長之ヲ開閉スル事ハ其ノ權ニ在ラズ

第五十二條 町村會ハ議員定員ノ半數以上出席スルニ非ラサレハ會議ヲ開クコトヲ得ス但シ同一ノ事件ニ付集會再回ニ至ルモ議員仍半數ニ滿タサルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第五十三條 町村會ノ議事ハ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ可否スル所ニ依ル

第五十四條 議長及議員ハ自己若クハ其ノ父母妻子兄弟姉妹ノ一身上ニ關スル事件ニ就テハ町村會ノ承諾ヲ得ルニ非ラサレハ其ノ議事ニ參與スルコトヲ得ス

前項除席ノ爲ニ議員ノ數減少シテ會議ヲ開ク定數ニ滿タサルトキモ仍會議ヲ開クコトヲ得

第五十五條 町村會ノ會議ハ公開ス但シ議長ノ意見ヲ以テ傍聴ヲ禁スルコトヲ得又町村長ヨリ要求アリタルトキハ傍聴ヲ禁スヘシ

第五十六條 議長會議ノ事ヲ總理シ會議ノ順序ヲ定メ其ノ日ノ會議ヲ開閉シ議場ノ秩序ヲ保持ス

第五十七條 會議及傍聴ノ紀律並取締ニ關スル規則ハ「拓殖務大臣」之ヲ定ム其ノ規則ニハ之ニ違背



シタル議員ニ對シ町村會ノ議決ニ依リ五日以内出席ヲ停止シ又ハ二回以下ノ過怠金ヲ科スル規程ヲ設クルコトヲ得

第五十八條 前條ニ依リ「拓殖務大臣」ノ定ムル規則ノ外町村會ハ北海道廳長官ノ許可ヲ得テ會議規則及傍聽規則ヲ設クヘシ其ノ會議規則ニハ之ニ違背シタル議員ニ對シ町村會ノ議決ニ依リ五日以内出席ヲ停止シ又ハ二回以下ノ過怠金ヲ科スル規程ヲ設クルコトヲ得

町村會ニ於テ行フ選舉ノ方法ハ會議規則ニ之ヲ規定スヘキモノトス

第五十九條 町村會ノ書記ハ町村吏員ノ中ニ就キ町村長之ヲ命ス

書記ハ議長ニ隷屬シテ庶務ニ従事ス

議長ハ書記ヲシテ會議録ヲ製シテ會議ノ期未立出席議員ノ氏名ヲ記録セシムヘシ

會議録ハ議長及議員二名以上之ニ署名捺印スヘキモノトス

議長ハ會議録ヲ添ヘ會議ノ結果ヲ町村長ニ報告スヘシ

#### 第四章 町村ノ財務

##### 第一款 町村有財産及町村稅

第六十條 町村ハ不動産積立金穀等ヲ以テ基本財産ト爲シ之ヲ維持スル義務アリ

北海道廳長官ハ町村ノ經濟ノ狀況ニ依リ必要ニ認ムルトキハ額ヲ定メテ基本財産ヲ蓄積セシムルコトヲ得

臨時ニ收入シタル金穀等ハ基本財産ニ加入スヘシ但シ寄附金穀等寄附者別ニ其ノ使用ノ目的ヲ定

ムルモノハ此ノ限ニ在ラス

町村ハ町村規則ノ規程ニ依リ或ル事業ノ爲ニ特別ノ基本財産若クハ積立金穀等ヲ設クルコトヲ得

此ノ場合ニ於テハ町村會ノ議決ヲ經テ前項收入ノ一部若クハ全部ヲ特別ノ基本財産若クハ積立金

穀等ニ加入スルコトヲ得但シ寄附金穀等寄附者別ニ其ノ使用ノ目的ヲ定ムルモノハ此ノ限ニ在ラ

ス

第六十一條 町村有財産ハ其ノ收益ヲ以テ町村ノ收入ト爲スカ爲ニ管理スルモノトス但シ町村ノ直

接ノ公用若クハ町村住民ノ直接ノ共用ニ供シタル町村有財産ニシテ其ノ公用若クハ共用ニ妨ガル

トキ及特ニ民法上ノ權利ヲ有スル者アル場合ニ於テ其ノ權利ニ抵觸スルトキハ此ノ限ニ在ラス

第六十二條 町村有財産ヲ町村住民ノ全部若クハ一部ノ直接ノ共用ニ供スルニハ町村規則ノ規程ニ

依ルヘシ

前項ノ規則ニハ使用料ノ外場合ニ依リ加入金徴收ノ規程ヲ設クルコトヲ得

第六十三條 町村有財産ノ賣却貸與又ハ町村ノ工事及物件調達ノ請負ハ公ノ入札ニ付スヘシ但シ臨

時急施ヲ要スルトキ又ハ入札ノ價額其ノ費用ニ比シテ得失相償ハサルトキ又ハ町村會ノ承諾ヲ得

ルトキハ此ノ限ニ在ラス

第六十四條 町村ハ北海道廳長官ノ許可ヲ得テ國區町村其ノ他公共團體若クハ一個人ノ事業ニ對シ

寄附若クハ補助ヲ爲スコトヲ得

第六十五條 町村ハ國庫ヨリ支給スルモノヲ除ク外其ノ必要ナル支出及法律命令ニ依リ賦課セラル



ル支出ヲ負擔スル義務アリ  
町村ハ町村有財産ヨリ生スル收入使用料手数料過息金其ノ他法律命令ニ依リ町村ニ屬スル收入ヲ以テ前項ノ支出ニ充テ仍不足アルトキハ町村税及夫役現品ヲ賦課徴收スルコトヲ得

第六十六條 町村ハ町村有財産若クハ町村ノ營造物ノ使用ニ付又ハ特ニ一個人ノ爲ニスル事務ニ付使用料又ハ手数料ヲ徵收スルコトヲ得

第六十七條 町村税ト以テ賦課スルコトヲ得ヘキ目左ノ如シ  
一 國稅ノ附加稅  
二 直接若クハ間接ノ特別稅

附加稅ハ直接國稅ニ附加シ均一ノ稅率ヲ以テ町村ノ全部ニ賦課スルヲ常例トス  
特別稅ハ別ニ町村限リ稅目ヲ設ケ課稅スルコトヲ要スルトキ賦課スルモノトス

第六十八條 此ノ勅令中別ニ規程アルモノヲ除外特別稅使用料手数料ニ關スル細則ハ町村規則ヲ以テ之ヲ規定スヘシ

第六十九條 町村住民ニ非スト雖三箇月以上町村内ニ住居ヲ構ヘ若クハ滞在スル者ハ其ノ住居ヲ構ヘタル初若クハ滞在ノ初ヨリ町村税ヲ納ムル義務アルモノトス

町村住民ニ非ス又三箇月以上町村内ニ住居ヲ構ヘ若クハ滞在スルコトヲキ者ハ雖町村内ニ於テ土地家屋ヲ所有シ若クハ使用シ又ハ町村内ニ於テ營業所ヲ定メテ營業ヲ爲シ又ハ町村内ニ於テ或ル行爲ヲ爲ス者ハ土地家屋營業若クハ其ノ所得ニ對シ又ハ行爲ニ對シテ賦課スル町村税ヲ納ムル義務アルモノトス

第七十條 所得稅ノ附加稅ヲ賦課シ及町村ニ於テ特別ニ所得稅ヲ賦課スルトキハ納稅義務者ノ町村外ニ於テ所有シ若クハ使用スル土地家屋又ハ町村外ニ於テ營業所ヲ定メタル營業ヨリ收入スル所得ハ之ヲ控除スヘキモノトス

數市區町村ニ住居ヲ構ヘ若クハ滞在スル者ニ前項ノ町村税ヲ賦課スルトキハ其ノ所得ヲ各市區町村ニ平分シ其ノ一部分ニノミ課稅スヘシ但シ土地家屋又ハ營業所ヲ定メタル營業ヨリ收入スル所得ハ此ノ限ニ在ラス

第七十一條 所得稅法「第三條」ニ掲クル所得ニ對シテハ町村税ヲ賦課スルコトヲ得ス

國區町村其ノ他公共團體ノ直接ノ公用ニ供スル土地家屋營造物ニ對シテハ國區町村其ノ他公共團體ニ町村税ヲ賦課スルコトヲ得ス

社寺ノ用ニ供シ又ハ官立公立ノ學校病院ノ用ニ供シ又ハ官其ノ他公共ノ施設ニ係リ學藝美術慈善ノ用ニ供スル土地家屋營造物ニ對シテハ社寺又ハ國區町村其ノ他公共團體ニ町村税ヲ賦課スルコトヲ得ス

國有ノ山林若クハ荒蕪地ニ對シテハ國ニ町村税ヲ賦課スルコトヲ得ス

屯田兵土地給與規則及屯田兵移住給與規則ニ依リ給與シタル公有ノ財産ニ對シテハ第四百四條ニ掲クル期間中ハ町村税ヲ賦課スルコトヲ得ス

本條ノ外町村税ヲ賦課スルコトヲ得サルモノハ別段ノ法律勅令ニ定ムル所ニ從フ

三十二年二月  
法律第十七號  
ヲ以テ所得稅  
法改正參看



皇族ニ係ル町村税ノ賦課ハ追テ法律勅令ヲ以テ定ムルマテ現今ノ例ニ依ル

第七十二條 町村有財産ヲ町村住民ノ一部ノ直接ノ共用ニ供シタル場合ニ於テハ其ノ使用權ヲ有スル者ヲシテ使用ノ多寡ニ準シテ其ノ財産ニ係ル必要ナル費用ヲ負擔セシムルコトヲ得

第七十三條 町村住民ノ一部ノミヲ利スル營造物ノ建設維持ノ費用ハ其ノ關係者ニ負擔セシムルコトヲ得

町村ノ一部ノミヲ利スル營造物ノ建設維持ノ費用ハ其ノ部内ニ住居ヲ構ヘ若クハ滞在シ又ハ其ノ部内ニ於テ土地家屋ヲ所有シ若クハ使用シ又ハ其ノ部内ニ於テ營業所ヲ定メテ營業ヲ爲シ又ハ其ノ部内ニ於テ或ル行爲ヲ爲スニ依リ町村税ヲ納ムル義務アル者ニ負擔セシムルコトヲ得但シ其ノ一部ノ收入アルトキハ先ツ其ノ收入ヲ以テ其ノ費用ニ充ツヘシ

第七十四條 地租ノ附加税ハ其ノ納期ヲ定メ納期<sup>納期ノ數日ニ亘ル</sup>ニ於ケル土地臺帳ノ記名者ヨリ徵收スルモノトス但シ賃入ノ土地ニ對シテハ買取主ヨリ徵收スルモノトス

地租ノ附加税ハ免租地若クハ無租地ノ有租地ト爲リタルトキハ其ノ翌月ヨリ、有租地ノ免租地若クハ無租地ト爲リタルトキハ其ノ前月マテ又地租目ノ變換等ニ依リ地租ニ異動ヲ生シタルトキハ其ノ月ヨリ月割ヲ以テ徵收スルモノトス

所得税ノ附加税ハ本税ノ納期ニ於テ本税ヲ納ムル義務アル者ヨリ徵收スルモノトス  
本條ニ規定スルモノヲ除ク外附加税徵收ノ方法ハ町村規則ヲ以テ之ヲ規定スヘシ  
本條ノ例ニ依リ難キ場合ニ於テハ町村條例ヲ以テ別段ノ規程ヲ設クルコトヲ得

第七十五條 町村ハ其ノ必要ニ依リ夫役現品ヲ以テ納税義務者ニ賦課スルコトヲ得但シ學藝美術手工ニ關スル勞役ヲ賦課スルコトヲ得ス

夫役現品ハ急迫ノ場合ヲ除ク外直接町村税ヲ課率ト爲シ且之ヲ金額ニ算出シテ賦課スヘシ  
夫役ヲ賦課セラルタル者ハ其ノ便宜ニ從ヒ本人自ラ之ニ當リ又ハ適當ノ代人ヲ出スコトヲ得又夫役現品ハ急迫ノ場合ヲ除ク外金額ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第七十六條 町村ニ於テ徵收スル使用料加入金手数料町村税夫役現品ニ代フル金額其ノ他町村ノ公法上ノ收入ヲ定期内ニ納メサル者アルトキハ町村長ハ國税ノ滞納處分ニ關スル規程ニ依リ之ヲ處分スヘシ其ノ督促及手数料ニ關シテハ町村規則ヲ以テ別段ノ規程ヲ設クルコトヲ得  
納税義務者中無資力ナル者アルトキハ町村長ノ意見ヲ以テ會計年度内ニ限り納税延期ヲ許スコトヲ得其ノ年度ヲ越ユル場合ニ於テハ町村會ノ議決ニ依ル

本條ニ記載スル徵收金ノ追徵還付期滿免除及先取特權ニ就テハ國税ニ關スル一般ノ例ヲ適用ス  
第七十七條 町村税ノ賦課ヲ受ケタル者ニシテ其ノ課目課額ニ錯誤アリト認ムルトキハ納税ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ三箇月以内ニ町村長ニ異議ヲ申立ツルコトヲ得

町村有財産若クハ町村ノ營造物ヲ使用スル權利ニ關シ異議アル者ハ之ヲ町村長ニ申立ツルコトヲ得

本條ノ異議ハ町村長之ヲ決定ス其ノ町村長ノ決定ニ不服アル者ハ郡長ニ訴願シ其ノ郡長ノ裁決ニ不服アル者ハ北海道廳長官ニ訴願シ其ノ北海道廳長官ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴ス



ルコトヲ得

本條ノ異議、訴願若クハ訴訟ノ爲ニ處分ノ執行ヲ停止セス

第七十八條 町村ハ此ノ勅令ヲ行フ前ニ起シタル負債ヲ償還スル爲ニ必要ナル場合ニ限り町村債ヲ起スコトヲ得其ノ他一級町村制第八十二條第二項乃至第五項ヲ適用ス

豫算内ノ支出ヲ爲スニ付必要ナル一時ノ借入金ハ前項ノ例ニ依ラス其ノ年度ノ收入ヲ以テ償還スヘキモノトス但シ此ノ場合ニ於テハ町村會ノ議決ヲ經ヘシ

### 第二款 町村ノ歳入出豫算及決算

第七十九條 町村長ハ每會計年度收入支出ノ豫知シ得ヘキ金額ヲ見積リ歳入出豫算ヲ調製シ少クトモ年度二箇月前ニ町村會ノ議決ヲ經ヘシ但シ町村ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ同シ

豫算ヲ町村會ニ提出スルトキハ町村長ハ併セテ町村ノ事務報告書及財産明細表ヲ提出スヘシ

第八十條 町村長ハ必要ノ場合ニ於テハ町村會ノ議決ヲ經テ既定豫算ノ追加若クハ更正ヲ爲スコトヲ得

第八十一條 豫算外ノ支出若クハ豫算超過ノ支出ニ充ツル爲ニ豫備費ヲ設クヘシ但シ町村會ノ否決シタル費目ニ充ツルコトヲ得ス

豫備費ノ支出ハ後日町村會ノ認定ヲ求ムルコトヲ要ス

町村ノ費用ヲ以テ支辨スヘキ事業ニシテ數年ヲ期シ施行スヘキモノ又ハ數年ヲ期シテ其ノ費用ヲ支出スヘキモノハ町村會ノ議決ヲ經テ其ノ年各年度ノ支出額ヲ定メ繼續費ト爲スコトヲ得

町村ハ町村規則ヲ以テ特別會計ヲ設クルコトヲ得

豫算調製ノ式並費目流用ニ關スル規程ハ「拓殖務大臣」ノ許可ヲ得テ北海道廳長官之ヲ定ム

豫算ハ町村會ノ議決ヲ經タル後直ニ之ヲ郡長ニ報告シ並地方所定ノ公告式ニ依リ其ノ要領ヲ公告スヘシ

第八十二條 町村ノ出納閉鎖ハ翌年度六月三十日ヲ以テ期限トス

決算ハ出納閉鎖期限後初回ノ通常豫算會議ニ於テ之ヲ町村會ニ報告スヘシ

町村長ハ決算報告書及之ニ關スル町村會ノ議決ヲ郡長ニ報告シ並地方所定ノ公告式ニ依リ決算ノ要領ヲ公告スヘシ

### 第五章 町村内一部ノ行政

第八十三條 町村内ノ一部ニシテ所有財産若クハ營造物ニ就キ其ノ部限リ特ニ其ノ費用ヲ負擔スルトキハ北海道廳長官ハ町村會ノ意見ヲ聞キ「拓殖務大臣」ノ許可ヲ得テ財産營造物ニ關スル事務ノ爲部會ヲ設クルコトヲ得

前項部會ノ組織選舉職務權限處務規程等ハ「拓殖務大臣」ノ許可ヲ得テ北海道廳長官之ヲ定ム

第八十四條 前條ニ記載スル事務ニ就キ此ノ勅令ノ規程ニ依リ難キ事項其ノ他部ニ關シ特ニ必要ナル事項ハ「拓殖務大臣」ノ許可ヲ得テ北海道廳長官之ヲ定ム

### 第六章 町村組合

第八十五條 郡長ハ公益上必要ト認ムル場合ニ於テハ數町村ノ事務ヲ共同處理セシムル爲北海道廳



長官ノ許可ヲ得テ町村組合ヲ設クルコトヲ得

郡長ハ前項ノ許可ヲ受クルニハ組合會議ノ組織費用ノ支辨方法ニ關シ組合規程ヲ設ケ併セテ北海道廳長官ノ許可ヲ受クヘシ其ノ變更ヲ要スルトキモ亦同シ

第八十六條 町村組合ニ就テハ町村ニ關スル規程ヲ準用ス其ノ準用シ難キ事項其ノ他町村組合ニ關シ特ニ必要ナル事項ハ前條ノ組合規程ニ之ヲ規定スヘシ

第八十七條 町村組合ハ郡長ニ於テ北海道廳長官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ之ヲ解除スルコトヲ得ス

第七章 町村行政ノ監督

第八十八條 町村行政ハ第一次ニ於テ郡長之ヲ監督シ第二次ニ於テ北海道廳長官之ヲ監督シ第三次ニ於テ「拓殖務大臣」之ヲ監督ス

第八十九條 此ノ勅令ニ規定スル異議、訴願若クハ訴訟ハ處分ヲ爲シ又ハ決定書若クハ裁決書ヲ交付シタル日ヨリ二十一日以内ニ提起スヘシ但シ此ノ勅令中別ニ期限ヲ定メタルモノハ此ノ限ニ在ラス

第九十條 監督官廳ハ町村行政ノ法律命令ニ背反セサルヤ其ノ事務錯亂滯滞セサルヤ否ヲ監視スヘシ監督官廳ハ之カ爲ニ行政事務ニ關シテ報告ヲ爲サシメ豫算決算等ノ書類帳簿ヲ徴シ並實地ニ就テ事務ヲ視察シ出納ヲ檢閲スル權ヲ有ス

監督官廳ハ町村行政ヲ監督スル爲ニ必要ナル命令ヲ發シ處分ヲ爲ス權ヲ有ス  
上級監督官廳ハ下級監督官廳ノ町村行政ニ關シテ爲シタル命令若クハ處分ヲ停止シ若クハ取消ス

コトヲ得

第九十一條 郡長ハ町村ノ豫算中不適當ノ支出ト認ムルモノアルトキハ之ヲ削減スルコトヲ得其ノ支出ヲ削減シタル場合ニ於テハ之ニ相當スル收入ヲ削減スヘシ

前項ノ處分ハ北海道廳長官ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

第九十二條 町村會ノ解散ハ「拓殖務大臣」之ヲ命ス此ノ場合ニ於テハ三箇月以内ニ議員ヲ選舉スヘシ

郡長ハ十日以内ニ於テ町村會ノ停會ヲ命スルコトヲ得

第九十三條 町村條例ノ設定ハ「拓殖務大臣」ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

第九十四條 左ニ掲クル事件ハ「拓殖務大臣」及大藏大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

- 一 町村債ヲ起シ並借入ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定メ若クハ變更スル事但シ第七十八條未項ノ借入金ハ此ノ限ニ在ラス
  - 二 特別稅ヲ新設シ若クハ變更スル事
  - 三 直接國稅二分ノ一ヲ超過スル附加稅ヲ賦課スル事
  - 四 間接國稅ノ附加稅ヲ賦課スル事
- 第九十五條 左ニ掲クル事件ハ北海道廳長官ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス
- 一 町村規則ヲ設定スル事
  - 二 使用料手数料ヲ新設シ若クハ變更スル事



- 三 道廳ヨリ交付スル補助金ニ對シ支出金額ヲ定メ若クハ變更スル事
- 四 學藝美術ニ關シ又ハ歷史上貴重ナル物件ノ賣却交換讓渡質入書入若クハ大ナル變更ヲ爲ス事
- 五 各種ノ保證ヲ與フル事
- 六 繼續費ヲ定メ若クハ變更スル事
- 七 均一ノ稅率ニ依ラスシテ國稅ノ附加稅ヲ賦課スル事
- 八 第七十二條第七十三條ニ依リ町村住民ノ一部若クハ町村内ノ一部ニ費用ヲ負擔セシムル事
- 第九十六條 左ニ掲クル事件ハ郡長ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス
  - 一 町村有不動産ノ賣却交換讓渡並質入書入ヲ爲ス事
  - 二 基本財産及積立金穀等ノ處分ヲ爲ス事
  - 三 第七十五條ノ準率ニ依ラスシテ夫役現品ヲ賦課スル事
- 第九十七條 北海道廳長官郡長ハ町村長書記部長委員其ノ他町村吏員ニ對シ懲戒處分ヲ行フ其ノ北海道廳長官ノ懲戒處分ハ罷責、二十五圓以下ノ過怠金及解職トシ郡長ノ懲戒處分ハ罷責及十圓以下ノ過怠金トス

第八章 附則

- 第九十八條 此ノ勅令施行ノ時期ハ「拓殖務大臣」之ヲ定ム
- 第九十九條 此ノ勅令ヲ施行スル場合ニ於テ初メテ二級町村ト爲ス地ハ「拓殖務大臣」之ヲ指定ス
- 第一百條 此ノ勅令ニ依リ初メテ議員ヲ選舉スルニ付町村會ノ職務ハ町村長之ヲ行フヘシ

- 第一百一條 此ノ勅令ヲ施行スル島嶼其ノ他特別ノ事情アル地ニ就テハ其ノ町村吏員監督官廳ノ職務權限等ニ關シ「拓殖務大臣」ニ於テ特別ノ規程ヲ設クルコトヲ得
- 第一百二條 此ノ勅令ニ記載セル人口ハ最終ノ人口調査ニ依ル但シ現役軍人ヲ除ク
- 第一百三條 現役及豫備役ノ屯田兵村ニハ此ノ勅令ヲ施行セス
- 第一百四條 屯田兵土地給與規則及屯田兵移住給與規則ニ依リ給與シタル公有ノ財産ニ關シテハ屯田兵服役期限中及其ノ滿期ノ年ヨリ十箇年間ハ此ノ勅令ヲ適用セス
- 第一百五條 此ノ勅令ニ於テ直接稅若クハ間接稅トスヘキ類別ハ「拓殖務大臣」及大藏大臣之ヲ告示ス
- 第一百六條 此ノ附則ニ規定スルモノヲ除ク外此ノ勅令施行ニ付必要ナル事項ハ「拓殖務大臣」之ヲ定ム

○ 沖繩縣區制 明治二十九年三月 勅令第十九號

朕沖繩縣區制ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

沖繩縣區制目次

- 第一章 總則
  - 第一款 區及其ノ區域
  - 第二款 區住民及其ノ權利義務



第三款 區條例及區規則

第二章 區行政

第一款 區吏員ノ組織及選任

第二款 區長區書記及區吏員ノ職務權限

第三款 給料及給與

第三章 區會

第一款 組織及選舉

第二款 職務權限及處務規程

第四章 區ノ財務

第一款 區有財產及區稅

第二款 區ノ歲入出豫算及決算

第五章 區内一部ノ行政

第六章 區行政ノ監督

第七章 附則

沖繩縣區制

第一章 總則

第一款 區及其ノ區域

第一條 此ノ勅令ハ沖繩縣ニ於テ區ト爲ス地ニ行フモノトス

第二條 區ハ郡ノ區域ニ屬セス別ニ行政區畫トス但シ法律命令ニ依リ特ニ區ノ區域ト符合セザル行政區畫ヲ設クルコトヲ妨ケズ

區ハ法人トシ法律命令ヲ以テ定メタル範圍内ニ於ケル公共事務並從來法律命令若クハ慣例ニ依リ又ハ將來法律命令ニ依リ區ニ屬スル事務ハ官ノ監督ヲ受ケテ之ヲ處理スルモノトス

第三條 區ヲ變シテ郡内ノ間切ト爲シ又ハ郡内ノ間切ヲ變シテ區ト爲スコトヲ要スルトキハ内務大臣之ヲ定ム此ノ場合ニ於テハ郡ノ境界モ亦自ラ變更スルモノトス

區ノ境界ヲ變更シ又ハ郡内ノ間切ヲ區ニ合併シ又ハ區ノ區域ヲ分割スルコトヲ要スルトキハ内務大臣ノ許可ヲ得テ沖繩縣知事之ヲ定ム此ノ場合ニ於テ郡ノ境界ニ涉ルモノアルトキハ郡ノ境界モ亦自ラ變更スルモノトス

本條ノ處分ニ付財產處分ヲ要スルトキハ關係アル會議ノ意見ヲ聞キ沖繩縣知事之ヲ定ム  
區ノ境界明ナラサルコトアルトキハ内務大臣ノ許可ヲ得テ沖繩縣知事之ヲ定ム

第二款 區住民及其ノ權利義務

第四條 區内ニ住居ヲ占ムル者ハ總テ區住民トス

區住民タル者ハ此ノ勅令ニ從ヒ區有財產並區ノ營造物ヲ共用スル權利ヲ有シ及區ノ負擔ヲ分任スル義務ヲ有スルモノトス但シ特ニ民法上ノ權利義務ヲ有スル者アルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第五條 帝國臣民ニシテ公權ヲ有スル獨立ノ男子二年以來(一)區ノ住民トナリ(二)區ノ負擔ヲ分任



シ及(三)區内ニ於テ土地ヲ所有シ若クハ直接國稅年額二圓以上ヲ納ムル者ハ區公民トス但シ公費ヲ以テ貧民救助ヲ受ケタル後二年ヲ經サル者ハ此ノ限ニ在ラス  
前項二年ノ制限ハ場合ニ依リ區會ノ議決ヲ經テ沖繩縣知事ノ許可ヲ受ケ之ヲ特免スルコトヲ得  
此ノ勅令ニ於テ獨立ト稱スルハ滿二十五歲以上ニシテ一戸ヲ縛ヘ且治産ノ禁ヲ受ケサルモノヲ云フ

區公民ニシテ相當ノ理由ナクシテ名譽職ヲ拒辭シ又ハ任期中退職シ又ハ無任期ノ職務ヲ少クトモ三年間擔當セス又ハ其ノ職務ヲ實際ニ執行セサル者ニ對スル處分ノ規則ハ內務大臣之ヲ定ム其ノ規則ニハ區會ノ議決ニ依リ六年以内區公民タル權ヲ停止シ場合ニ依リ同年期間他ノ住民ノ負擔スヘキ區稅ノ率ニ比シ四分ノ一以下ヲ增加スル規程ヲ設クルコトヲ得

第六條 區公民タル者前條ニ掲載スル要件ノ一ヲ失フトキハ公民タル權ヲ失フモノトス

區公民タル者公權停止中若クハ租稅滯納處分中ハ公民タル權ヲ停止ス家資分散若クハ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキハ復權ノ決定アルマテ又公權剝奪若クハ停止ヲ附加スヘキ重罪輕罪ノ爲公判ニ付セラレタルトキハ其ノ裁判ノ確定ニ至ルマテ亦同シ  
陸海軍ノ現役ニ服スル者ハ區ノ公務ニ參與セサルモノトス現役以外ノ兵役ニ在ル者ニシテ戰時若クハ事變ニ際シ召集セラレタルトキモ亦同シ

第三款 區條例及區規則

第七條 區ハ區住民ノ權利義務及區ノ事務ニ關シ此ノ勅令中明文ナク又ハ條例ヲ以テ特例ヲ設クル

コトヲ許シ若クハ規定スルコトヲ要スル事項ニ付テハ條例ヲ設クルコトヲ得

區ハ區有財産及區ノ營造物ニ關スル事項其ノ他此ノ勅令中規則ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ許シ若クハ規定スルコトヲ要スル事項ニ付テハ規則ヲ設クルコトヲ得

區條例及區規則ハ法律命令ニ抵觸スルコトヲ得ス

區條例及區規則ヲ發行スルニハ地方所定ノ公告式ニ依ル其ノ公告式ハ區規則ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第二章 區行政

第一款 區吏員ノ組織及選任

第八條 區ニ區長區書記ノ外必要ノ附屬員ヲ置ク

附屬員ハ有給吏員トシ區長之ヲ任免ス

第九條 區ニ收入役一名ヲ置キ區書記ノ中ニ就キ沖繩縣知事之ヲ命ス

收入役ハ身元保證ノ爲金圓若クハ物件ヲ差出スヘシ

第十條 區ハ處務便宜ノ爲區規則ヲ以テ區ノ區域ヲ數部ニ分テ各部部長及其ノ代理者各一名ヲ置ク

コトヲ得

部長及其ノ代理者ハ名譽職トス

部長及其ノ代理者ハ選舉權ヲ有スル區公民ノ中ニ就キ區長之ヲ任免ス

第十一條 區ハ區規則ヲ以テ臨時若クハ常設ノ委員ヲ置クコトヲ得

委員ハ名譽職トス



委員ハ區會議員若クハ區公民中選舉權ヲ有スル者ヲ以テ之ニ充テ又ハ區會議員及區公民中選舉權ヲ有スル者ヲ以テ之ニ充ツ其ノ合議體ニ組織シタル場合ニ於テハ區長若クハ其ノ委任ヲ受ケタル區書記ヲ以テ委員長トス

委員ハ區會ニ於テ之ヲ選舉ス

委員ノ組織任期等ニ關スル事項ハ第一項ノ規則ニ之ヲ規定スヘシ

委員ニ關シテハ第四十五條ノ例ヲ適用ス

委員ニシテ公權剝奪若クハ停止ヲ附加スヘキ重罪輕罪ノ爲豫審ニ附セラレタルトキハ沖繩縣知事ハ其ノ職ヲ停止スルコトヲ得

第二款 區長區書記及區吏員ノ職務權限

第十三條 區長ハ區ヲ統轄シ其ノ行政事務ヲ擔任ス

區長ノ擔任スル事務ノ概目左ノ如シ

- 一 區會ノ議事ヲ準備シ並其ノ議決ヲ承認シ及執行スル事
- 二 區有財產及區ノ營造物ヲ管理スル事但シ特ニ之カ管理者アルトキハ其ノ事務ヲ監督スル事
- 三 區ノ權利ヲ保護スル事
- 四 區ノ歳入ヲ管理シ歳入出豫算其ノ他區會ノ議決ニ依テ定マリタル收入支出ヲ命令シ會計及出納ヲ監視スル事
- 五 區吏員ヲ監督シ委員ヲ除ク外其ノ他ニ對シ懲戒處分ヲ行フ事其ノ懲戒處分ハ罷責及十圓以下

ノ過怠金トス

- 六 區ノ諸證書及公文書類ヲ保管スル事
  - 七 外部ニ對シテ區ヲ代表シ及區ノ名義ヲ以テ他廳若クハ一個人ト交渉スル事
  - 八 法律命令若クハ區會ノ議決ニ依リ使用料加入金手数料區稅及夫役現品ヲ賦課徵收スル事
  - 九 區條例及區規則ヲ設定スル事
  - 十 區營造物ノ管理方法ヲ定ムル事
  - 十一 收入役及區吏員ノ身元保證ヲ徵シ並其額ヲ定ムル事
  - 十二 其ノ他法律命令若クハ上司ノ指令ニ依テ區長ニ委任シタル事務ヲ處理スル事
- 第十三條 區長若クハ監督官廳ニ於テ區會ノ議決其ノ權限ヲ越エ又ハ法律命令ニ背クト認ムルトキハ區長ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指令ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ若クハ取消スヘシ
- 前項再議ニ付スルモ仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ區長ヨリ沖繩縣知事ニ申立テ其ノ決定ヲ請フヘシ又前項取消ニ不服アル區會ハ沖繩縣知事ニ訴願スルコトヲ得
- 前項沖繩縣知事ノ決定若クハ裁決ニ不服アル區會ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
- 區長若クハ監督官廳ニ於テ區會ノ議決公益ニ害ノリト認ムルトキハ區長ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ監督ノ指令ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付スヘシ
- 前項再議ニ付スルモ仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ區長ヨリ沖繩縣知事ニ申立テ其ノ決定ヲ請フヘシ



シ其ノ沖繩縣知事ノ決定ニ不服アル區會ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得  
本條ノ決定若クハ裁決ハ其ノ確定ニ至ルマテ執行ヲ停止ス但シ該當官廳ニ於テ停止ノ爲ニ公益ニ  
害アリト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十四條 區會ニ於テ必要ノ收支ニ關シ否決シタルトキ又ハ區長若クハ監督官廳ニ於テ區會ノ議決  
必要ノ收支ニ關シ不當ノ削減ヲ爲スト認ムルトキハ區長ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指令  
ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ沖繩縣知事ニ具狀シテ指揮ヲ請  
フヘシ但シ場合ニ依リ再議ニ付セスシテ直ニ沖繩縣知事ノ指揮ヲ請フコトヲ得

前項沖繩縣知事ノ處分ニ不服アル區會ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得  
本條ノ處分ハ其ノ確定ニ至ルマテ執行ヲ停止ス但シ當該官廳ニ於テ停止ノ爲ニ公益ニ害アリト認  
ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十五條 區會招集ニ應セス若クハ成立セザルトキハ區長ハ沖繩縣知事ニ具狀シテ指揮ヲ請ヒ其ノ  
議決スヘキ事件ヲ處分スルコトヲ得

區會ニ於テ其ノ議決スヘキ事件ヲ議決セス若クハ議了セザルトキハ前項ノ例ニ依ル

第一項ノ處分ハ次回ノ會議ニ於テ之ヲ區會ニ報告スヘシ

第十六條 第五十二條但書若クハ第五十四條第二項ノ場合ニ於テ全ク會議ヲ開クコト能ハサルトキ  
ハ前條ノ例ニ依ル

第十七條 區書記ハ區長ノ命令ヲ承ケ區ノ行政ニ係ル庶務ニ従事ス

區長故障アルトキハ上席區書記區ノ行政ニ付其ノ職務ヲ代理ス

區長ハ區書記ヲシテ區ノ行政事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコトヲ得

第十八條 收入從ハ區長ノ收入ヲ受領シ其ノ費用ノ支拂ヲ爲シ其ノ他會計事務ヲ掌ル

第十九條 部長及其ノ代理者ハ區長ノ命令ヲ承ケ部内ニ關スル國外行政及區ノ行政ニ付區長ノ事務  
ヲ補助執行ス

第二十條 委員ハ區長ノ監督ニ屬シ區有財產若クハ區ノ營造物ヲ管理シ其ノ他區行政事務ノ一部ヲ  
兼掌ル又ハ一時ノ委託ニ依リ事務ヲ處辨スルハ其ノ中ノ濫用及濫權ハ區會ニ報告スルコトヲ得

委員ハ職務權限ニ關スル細則ハ區規則ニ以テ之ヲ規定スヘシ

第二十一條 區役所ハ處務規程ハ沖繩縣知事ノ決定ニ其ノ他區吏員ハ處務規程ハ沖繩縣知事ノ許可  
ヲ得テ區長之ヲ定ム

區吏員ノ服務規律ハ沖繩縣知事之ヲ定ム

區會第三款 給料及給與

第二十二條 各舉職吏員ハ職務取扱ハ爲要ニ當リ實費ヲ辨償ヲ受タルコトヲ得

部長及其ノ代理者並委員ニハ實費辨償ヲ外區會ノ議決ヲ經テ勤務ニ相當スル報酬ヲ給スルコトヲ  
得

第二十三條 有給職員ノ給料額及給與額及給與方法ハ區規則ヲ以テ之ヲ定ムヘシ



區條例ヲ以テ有給吏員ノ退隱料及遺族扶助料ヲ設クルコトヲ得

第二十四條 有給吏員ノ給料旅費退隱料遺族扶助料其ノ他第二十二條ノ給與ニ關シ異議アル者ハ沖  
沖縣知事ニ訴願シ其ノ沖繩縣知事ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得  
本條ノ訴願苦クハ訴訟ノ爲ニ處分ノ執行ヲ停止セス

第二十五條 給料旅費退隱料遺族扶助料報酬辨償等ハ區ノ負擔トス但シ給料旅費ニ限リ當分國庫ヨ  
リ支給ス

第三章 區會

第一款 組織及選舉

第二十六條 區會議員ハ區ノ選舉人其ノ被選舉權有ル者ヨリ之ヲ選舉ス其ノ定員ハ三十人以下トシ  
內務大臣ノ許可ヲ得テ沖繩縣知事ノ定ムルニ依リ之ヲ選出ス

第二十七條 區公民ハ總テ選舉權有ル但シ公民權停止中ノ者及第六條第三項ノ場合ニ當ル者ハ此  
ノ限ニ在ラス  
直接區稅ヲ納ムル者其ノ額區公民ノ最多ク直接區稅ヲ納ムル三名中ノ一名ヨリモ多キトキハ區住  
民ニ非サル者又ハ二年以來ノ區住民ニ非サル者ト雖第五條ニ掲載スル其ノ他ノ要件ヲ具備スル者  
キハ選舉權ヲ有ス但シ第六條第二項ノ公民權停止ノ條件又ハ同條第三項ノ場合ニ當ル者ハ此ノ限  
ニ在ラス

第二十八條 選舉人ハ分テ三級トス

選舉人中直接區稅ノ納額最多キ者ヲ合セテ選舉人總員ノ納ムル總額ノ三分ノ一ニ當ルヘキ者ヲ一  
級トス

一級選舉人ヲ除ク外直接區稅ノ納額多キ者ヲ合セテ選舉人總員ノ納ムル總額ノ三分ノ一ニ當ルヘ  
キ者ヲ二級トシ爾餘ノ選舉人ヲ三級トス

各級ノ間納稅額兩級ニ跨ル者アルトキハ上級ニ入ルヘシ又兩級ノ間ニ同額ノ納稅者二名以上アル  
トキハ區内ニ住居スル年數ノ多キ者ヲ以テ上級ニ入ル若シ住居ノ年數ニ依リ難キトキハ年長者ヲ以  
テシ年數ニモ依リ難キトキハ區長自ラ抽籤シテ之ヲ定ムヘシ

選舉人每級各別ニ議員ノ三分ノ一ヲ選舉ス其ノ被選舉人ハ同級内ノ者ニ限ラサルモノトス

第二十九條 沖繩縣知事ニ於テ必要ト認ムルトキハ內務大臣ノ許可ヲ得テ選舉區ヲ設クルコトヲ得  
選舉區ノ數及其ノ區域並各選舉區ヨリ選舉スヘキ議員ノ員數ハ內務大臣ノ許可ヲ得テ沖繩縣知事  
之ヲ定ム

選舉人ハ住居ヲ占ムル地ニ依テ所屬ノ選舉區ヲ定ム其ノ區内ニ住居ヲ占メサル者ハ直接區稅ノ賦  
課ヲ受ケタル物件ノ所在ニ依テ之ヲ定ム若シ數選舉區ニ亙リ賦課ヲ受ケタル物件アルトキハ稅額ノ  
最多キ物件ノ所在ニ依テ之ヲ定ム又直接區稅ノ賦課ヲ受ケタル物件ナキトキハ住居ヲ構ヘ若クハ  
滞在スル地ニ依テ之ヲ定ムヘシ但シ本文ノ場合ニ於テ稅額ノ相同キトキ又ハ數選舉區ニ亙リ住居  
ヲ構ヘ若クハ滞在スルトキハ本人ノ申出ニ依テ之ヲ定ムヘシ  
選舉區ヲ設クルトキハ各選舉區ニ於テ選舉人ノ等級ヲ分ツヘシ



被選舉人ハ其選舉區内ハ者ニ限ラサルモノトス

第三十條 選舉權ヲ有スル區公民ハ總テ被選舉權ヲ有ス

左ニ掲クル者ハ被選舉權ヲ有セス

- 一 沖繩縣ノ官吏
- 二 區長區書記及有給ノ區吏員
- 三 檢事及警察官吏
- 四 神官僧侶其ノ他諸宗教師
- 五 小學校教員

其ノ他官吏ニシテ當選シ之ニ應セントスルトキハ所屬長官ノ許可ヲ受クヘシ

父子兄弟タル緣故アル者ハ同時ニ區會議員タルコトヲ得ス若同時ニ選舉セラレタルトキハ投票ノ

數ニ依テ其ノ多キ者一人ヲ當選トシ同數ナレハ年長者ヲ當選トシ同年ナレハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

其ノ時ヲ異ニシテ選舉セラレタル者ハ後者議員タルコトヲ得ス

區長トノ間父子兄弟タル緣故アル者ハ之ト同時ニ區會議員タルコトヲ得ス若議員トノ間ニ其ノ緣

故アル者區長ノ任命ヲ受ケタルトキハ其ノ緣故アル議員ハ其ノ職ヲ失フモノトス

第三十一條 區會議員ハ各舉職トス其ノ任期ハ六年トシ每三年各級ニ於テ其ノ半數ヲ改選ス若各級

ノ議員二分シ難キトキハ初回ニ於テ多數ノ一半ヲ退職セシム初回ニ於テ退職セシムヘキ者ハ抽籤

ヲ以テ之ヲ定ム

前項議員ノ任期ハ總選舉ヲ行ヒタル日選舉ノ數日ニ直シ又ハ定期改選期日選舉ノ數日ニ直シヨリ起算シ府

ニ從フ但シ總選舉ノ場合ニ於テ一部ノ議員後レテ選舉セラレ又ハ定期改選ノ場合ニ於テ一部若ク

ハ全部ノ議員其ノ期日後ニ選舉セララルコトアルモ先ニ總選舉ヲ行ヒタル日又ハ定期改選期日ヨ

リ起算ス

退職ノ議員ハ再選セララルコトヲ得

議員ニ關シテハ第二十二條第一項第三項第二十四條第二十五條ノ例ヲ適用ス

第三十二條 區會議員中關員アルトキハ每三年定期改選ノ時ヨリ至同同時ニ補闕選舉ヲ行フベシ若定

員三分ノ一以上關員アルトキ又ハ區長若クハ區會ニ於テ臨時補闕ヲ必要ト認ムルトキハ定期前ト

雖補闕選舉ヲ行フヘシ

補闕議員ハ前任者ノ殘任期間在職スルモノトス

定期改選及補闕選舉ハ前任者ノ選舉セラレタル選舉等級及選舉區ニ從テ之ガ選舉ヲ行フヘシ

第三十三條 區長ハ選舉ヲ行フ毎ニ其ノ選舉前六十日ヲ期トシ其ノ日ノ現在ニ依リ選舉人ノ資格ヲ

記載セル選舉原簿ヲ調製シ此ノ原簿ニ依リ選舉人名簿ヲ調製スヘシ但シ選舉區ヲ設ケタルトキハ每

選舉區各別ニ原簿及名簿ヲ調製スヘシ

選舉人名簿ハ其ノ選舉前五十日ヲ期トシ其ノ日ヨリ七日間區役所ニ於テ關係者ノ縦覽ニ供スヘシ

若關係者ニ於テ異議アルトキハ縦覽期限内ニ之ヲ區長ニ申立ツルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ區長

ハ其ノ申立ヲ受ケタル日ヨリ七日以内ニ之ヲ決定スヘシ



前項區長ノ決定ニ不服アル者ハ沖繩縣知事ニ訴願シ其ノ沖繩縣知事ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

本條ノ異議、訴願若クハ訴訟ノ爲ニ處分、決定若クハ裁決ノ執行ヲ停止セス  
區長ハ第二項異議ノ決定又ハ第三項訴願ノ裁決若クハ訴訟ノ判決ニ依リ名簿ノ修正ヲ要スルトキハ選舉ノ日ヨリ五日前ニ修正ヲ加ヘテ確定名簿ト爲シ之ニ登録セラレサル者ハ何人タリトモ選舉ヲ行フコトヲ得ス

本條ニ依リ確定シタル名簿ハ其ノ確定シタル日ヨリ一年以内ニ於テ選舉ヲ行フトキモ亦之ヲ適用ス但シ名簿確定後訴願ノ裁決若クハ訴訟ノ判決ニ依リ修正ヲ要スルトキハ選舉ノ日ヨリ五日前ニ修正スヘキモノトス

選舉人名簿ヲ修正シタルトキハ直ニ其ノ要領ヲ公告スヘシ

第三十四條 選舉ヲ行フトキハ區長ハ選舉ノ日ヨリ少クトモ七日前ニ選舉ノ場所日時並選舉區及每級ヨリ選舉スヘキ議員ノ員數ヲ公告スヘシ

各級ニ於テ選舉ヲ行フ順序ハ先ツ三級ノ選舉ヲ行ヒ次ニ二級ノ選舉ヲ行ヒ次ニ一級ノ選舉ヲ行フヘシ

第三十五條 選舉掛ハ名譽職トシ區長ニ於テ臨時ニ選舉人中ヨリ二名若クハ四名ヲ選任シ區長若クハ其ノ代理者ハ掛長ト爲リ選舉會ヲ開閉シ會場ノ取締ニ任ス但シ選舉區ヲ設クルトキハ每選舉區各別ニ選舉掛ヲ設クヘシ

第三十六條 選舉開會中ハ選舉人ヲ除ク外選舉會場ニ入ルコトヲ得ス選舉人ハ選舉會場ニ於テ協議若クハ勸誘ヲ爲スコトヲ得ス

第三十七條 選舉ハ投票ヲ以テ之ヲ行フ投票ニハ被選舉人ノ氏名又ハ其ノ住所氏名ヲ記シ封緘ノ上選舉人自ラ之ヲ掛長ニ差出スヘシ但シ選舉人ノ氏名ハ投票ニ記入スルコトヲ得ス  
區住民ニ非スシテ第二十七條第二項ニ依リ選舉權ヲ有スル者ハ代人ヲ以テ選舉ヲ行フコトヲ得代人ハ帝國臣民ニシテ公權ヲ有シ且公權停止中ニ非サル獨立ノ男子ニ限ル但シ一人ニシテ數人ノ代理ヲ爲スコトヲ得ス又代人ハ委任狀ヲ選舉掛ニ示スヘシ

選舉人投票ヲ差出ストキハ自己ノ氏名及住所ヲ掛長ニ申立テ掛長ハ選舉人名簿ニ照シテ之ヲ受付封緘シ投票函ニ投入スヘシ但シ投票函ハ投票ヲ終ルマテ之ヲ開クコトヲ得ス  
第三十八條 單名投票ニシテ左ノ各號ニ該當スルモノハ之ヲ無効トス連名投票ニシテ第一號第五號第六號ニ該當スルモノモ亦同シ又連名投票ニシテ第二號乃至第四號ニ該當スルモノハ其ノ部分少シヲ無効トス

- 一 氏名ニ記載セサルモノ
- 二 記載シタル氏名ノ讀ミ難キモノ
- 三 被選舉人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ
- 四 被選舉權ナキ者ノ氏名ヲ記載シタルモノ
- 五 被選舉人ノ住所氏名ノ外他事ヲ記入シタルモノ但シ位階敬稱ノ類ヲ記入スルハ此ノ限ニ在ラ



六 投票用紙ヲ一定シタル場合ニ於テ其ノ用紙ヲ用非サルモノ  
投票ニ記載ノ人員其ノ選舉スヘキ定數ヲ過クルトキニハ末尾記載シタルモノヲ順次ニ棄却スヘシ

投票ノ受理並効力ニ關スル事項ハ選舉掛之ヲ議決ス可否同數ナルトキハ掛長之ヲ決ス

第三十九條 區會議員ノ選舉ハ有效投票ノ多數ヲ得タル者ヲ以テ當選トス投票ノ數相同キトキハ年  
長者ヲ取リ同年ナルトキハ掛長自ラ抽籤シテ其ノ當選ヲ定ム

同時ニ補關議員數名ヲ選舉スルトキハ投票數ノ多キ者ヲ以テ殘餘期ノ長キ前任者ノ補關ト爲シ投票  
數ノ數相同キトキハ掛長自ラ抽籤シテ其ノ順序ヲ定ム

第四十條 選舉掛ハ選舉録ヲ製シテ選舉ノ顛末ヲ記録シ選舉ヲ終ル後之ヲ期讀シ選舉人名簿其  
ノ他關係書類ヲ合編シテ選舉掛長選舉掛一名若クハ數名ト其之ヲ署名捺印シ沙クモ六年間

之ヲ保存スヘシ  
投票ハ選舉ヲ終リタル後之ヲ取纏リ封緘シ止選舉掛長選舉掛一名若クハ數名ト其之ニ捺印シ  
少クトモ六年間之ヲ保存スヘシ

第四十一條 選舉ヲ終リタルトキハ選舉掛長ハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ告知スヘシ其ノ當選ヲ辭セ  
ントスル者ハ當選ノ告知ヲ發シタル日ヨリ五日以内ニ之ヲ區長ニ申立ツ

一人ニシテ數級若クハ數選舉區ノ選舉ニ當リタルトキハ當選ノ告知ヲ最終ニ發シタル日ヨリ五日  
以内ニ何レノ選舉ニ應スヘキコトヲ區長ニ申立ツヘシ其ノ期限内ニ之ヲ申立テサル者ハ總テ其ノ

當選ヲ辭シタル者ト看做スヘシ  
定期改選ト補關選舉トヲ同時ニ行ヒタル場合ニ於テ一人ニシテ其ノ兩選舉ニ當リタルトキモ亦前  
項ノ例ヲ適用ス

本條ニ依リ當選ヲ辭シタル者ハ更ニ選舉ヲ行フヘシ  
選舉ヲ終ル當選者定マタルトキハ區長ハ直ニ其居住所姓名及公告開時ニ選舉録ヲ寫シ添ヘ之

區沖繩縣知事ニ報告ス

第四十二條 選舉人選舉資力ニ關シ異議スルトキハ選舉ノ日ヨリ七日以内ニ沖繩縣知事ニ訴願シ  
其ノ沖繩縣知事ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

沖繩縣知事ハ於テ選舉ノ效力ニ關シ異議陳述スル者ヲ訴願有無夫拘束前條以報告ヲ受ケタル日  
ヨリ二十日以内ニ選舉ヲ取消スヘシ

前項沖繩縣知事ノ處分ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得  
本條ノ訴願若クハ訴訟ノ爲ニ處分ヲ執行ヲ停止セス

第四十三條 選舉ノ規程ニ違背スルコトアルトキハ其ノ選舉ヲ無効トシ又當選者中其ノ資格ノ要件  
ヲ有セサル者アルトキハ其ノ當選ヲ無効トスルコトヲ得

ノ事ハ輕微ニシテ選舉ノ結果ニ異動ヲ生セサルモノハ此ノ限ニ在ラズ  
第四十四條 選舉若クハ當選無効ト確定シタル後更ニ選舉ヲ行フヘシ

第四十五條 區會議員中其ノ資格ノ要件ヲ有セサル者若クハ其ノ職ヲ失フモノトス



區長若クハ區會ニ於テ前項ニ該當スル者アルコトヲ發見シタルトキハ沖繩縣知事ニ申立ツヘシ  
第一項資格要件ノ有無ハ沖繩縣知事ニ於テ前項ノ申立ニ依リ又ハ其ノ職權ヲ以テ之ヲ決定ス  
前項沖繩縣知事ノ決定ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得  
本條ノ場合ニ於テ資格要件ヲ有セスル決定ハ其ノ決定確定シ又ハ訴訟ノ判決アル時テ其ノ執  
行ヲ停止ス

第二款 職務權限及處務規程

第四十六條 區會ノ議決ヲ經ヘキ事件左ノ如シ

- 一 歳入出豫算ヲ定ムル事
  - 二 法律命令ニ定ムルモノヲ除外使用料加入金手数料區稅及夫役現品ノ賦課徵收ヲ法ヲ定ムル事
  - 三 區有不動産ノ賣買交換讓受讓渡並賃入普入ヲ爲ス事
  - 四 基本財産及積立金數等ノ處分ヲ爲ス事
  - 五 歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除外新ニ義務ヲ負擔シ及權利ノ棄却ヲ爲ス事
  - 六 區有財産ノ管理方法ヲ定ムル事
  - 七 區ニ係ル訴訟及和解ニ關スル事
- 其ノ他區會ノ職權ハ法律命令ノ定ムル所ニ依ル
- 第四十七條 區會ハ區長ノ報告書ヲ請求シテ區有財産ノ管理並收入支出ノ正否ヲ検査スルコトヲ得

區會ハ前項ノ目的ノ爲ニ五名以下ノ委員ヲ議員中ヨリ選舉シ區長又ハ其ノ指命シタル官吏若クハ  
吏員立會ノ上關係書類並金庫ヲ檢閲セシムルコトヲ得

區會ハ區ノ公益ニ關スル事件ニ付意見書ヲ區長若クハ監督官廳ニ差出スコトヲ得

區會ハ區長若クハ官廳ノ諮問アルトキハ意見ヲ答申スヘシ

第四十八條 議員タル者ハ選舉人ノ指示若クハ委囑ヲ受クヘカクサルモノトス

第四十九條 區會ハ區長ヲ以テ議長トス若區長故障アルトキハ其ノ委任ヲ受ケタル區書記ヲ以テ之  
ニ充ツ

第五十條 區長及其ノ委任ヲ受ケタル官吏吏員ハ何時ニテモ會議ニ出席シ及發言スルコトヲ得但シ  
議員ノ演說ヲ中止スルコトヲ得ス

前項ノ出席者ハ議員ノ職ニ在ル者ヲ除外議決ニ加ハルコトヲ得ス

第五十一條 區會ハ會議ノ必要アル毎ニ區長會期ヲ定メテ之ヲ招集ス議員四分ノ一以上ヨリ請求ア  
ル場合ニ於テ相當ノ理由アリト認マルトキモ亦同シ

招集並會議ノ事件ヲ告知スルハ急遽ヲ要スル場合ヲ除外少クとも會議ノ三日前タルヘシ

區會ハ區長之ヲ開閉ス

第五十二條 區會ハ議員定員ノ半数以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス但シ同一ノ事件  
ニ付集會再回ニ至ルモ議員仍半数ニ満たサルトキハ此ノ限ニ在ラス

第五十三條 區會ノ議事ハ過半数ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ可否スル所ニ依ル



第五十四條 議長及議員ハ自己若クハ其ノ父母妻子兄弟姊妹ノ一身上ニ關スル事件ニ付テハ區會ノ

承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ議事ニ參與スルコトヲ得ス

前項除府ノ爲ニ議員ノ數減少シテ會議ヲ開ク定數ニ滿タサルトキモ仍會議ヲ開クコトヲ得

第五十五條 區會ノ會議ハ公開ス但シ議長ノ意見ヲ以テ傍聴ヲ禁スルコトヲ得

第五十六條 議長ハ會議ノ事ヲ總理シ會議ノ順序ヲ定メ其ノ日ノ會議ヲ開閉シ議場ノ秩序ヲ保持ス

第五十七條 會議及傍聴ノ紀律并取締ニ關スル規則ハ内務大臣之ヲ定ム其ノ規則ニハ之ニ違背シタ

ル議員ニ對シ區會ノ議決ニ依リ五日以内出席ヲ停止シ又ハ二回以下ノ過慮金ヲ科スル規程ヲ設ク

ルコトヲ得

第五十八條 前條ニ依リ内務大臣ノ定ムル規則ノ外區會ハ沖繩縣知事ノ許可ヲ得テ會議規則及傍聴

規則ヲ設クヘシ其ノ會議規則ニハ之ニ違背シタル議員ニ對シ區會ノ議決ニ依リ五日以内出席ヲ停

止シ又ハ二回以下ノ過慮金ヲ科スル規程ヲ設クルコトヲ得

區會ニ於テ行フ選舉ノ方法ハ會議規則ニ之ヲ規定スヘキモノトス

第五十九條 區會ノ書記ハ區書記及附屬員ノ中ニ就キ區長之ヲ命ス

書記ハ議長ニ隷屬シ庶務ヲ從事ス

議長ハ書記ヲ選任シ會議ノ製シテ會議ノ頭末并出席議員ノ姓名ヲ記録セシムヘシ

會議録ハ議長及議員二名以上之ヲ署名捺印スヘキモノトス

議長ハ會議録ヲ添ヘ會議ノ結果ヲ區長ニ報告スヘシ

第四章 區ノ財務

第六十條 第一款ノ區有財產及區稅納付金ノ積立金等ハ區會ノ管理ニ屬ス

第六十條 第一款ノ區有財產及區稅納付金ノ積立金等ヲ以テ基本財産ト爲シ之ヲ維持スル義務アリ

臨時ニ收戻シタル金穀等ハ基本財産ニ加入スヘシ但シ寄附金穀等寄附者別ニ其ノ使用ノ目的ヲ定

ムルハ此ノ限ニ在ラズ

區ノ規則ノ規程ニ依リ或ル事業ヲ爲シ特別ノ基本財産若クハ積立金穀等ヲ設クルコトヲ得此ノ

場合ニ於テ區會ノ議決ヲ經テ前項收入ノ一部若クハ全部ヲ特別ノ基本財産若クハ積立金穀等ニ

加入スルコトヲ得但シ寄附金穀等寄附者別ニ其ノ使用ノ目的ヲ定ムルモノハ此ノ限ニ在ラズ

第六十一條 區有財產ハ其ノ收益ハ以テ區ノ收入ト爲スカ爲ニ管理スルモノトス但シ區ノ直接ノ公

用若クハ區住民ノ直接ノ共用ニ供シタル區有財產ニ於テ其ノ公用若クハ共用ニ妨アルトキ及特ニ

民法上ノ權利ヲ有スル者アル場合ニ於テ其ノ權利ニ抵觸スルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第六十二條 區有財產ヲ區住民ノ全部若クハ一部ニ直接ノ共用ニ供スルニハ區規則ノ規程ニ依リ

テ設クルコトヲ得

前項ノ規則ニハ使用料ノ外場合ニ依リ加入金徴收ノ規程ヲ設クルコトヲ得

第六十三條 區有財產ノ賣却貸與又ハ區ノ工事及物件調達ノ請負ハ公ノ入札ニ付スヘシ但シ臨時急

施ヲ要スルトキ又ハ入札ノ價格入札ノ費用ニ比シテ得失相償ハサルトキ又ハ區會ノ承諾ヲ得ルト

キハ此限ニ在ラズ



第六十四條 區ハ沖繩縣知事ノ許可ヲ得テ國區其ノ他公共團體若クハ一個人ノ事業ニ對シ寄附若クハ補助ヲ爲スコトヲ得

第六十五條 區ハ其ノ必要ナル支出及法律命令ニ依リ賦課セラル、支出ヲ負擔スル義務アリ、區ハ區有財產ヨリ生スル收入使用料手数料過息金其ノ他法律命令ニ依リ區ニ屬スル收入ヲ以テ前項ノ支出ニ充テ仍不足アルトキハ區稅及夫役現品ヲ賦課徵收スルコトヲ得

第六十六條 區ハ區有財產若クハ區ノ營造物ノ使用ニ付又ハ特ニ一個人ノ爲ニスル事務ニ付使用料又ハ手数料ヲ徵收スルコトヲ得

第六十七條 區稅トシテ賦課スルコトヲ得ヘキ目左ノ如シ

一 國稅ノ附加稅

二 直接若クハ間接ノ特別稅

附加稅ハ直接ノ國稅ニ附加シ均一ノ稅率ヲ以テ區ノ全部ニ賦課スルヲ常例トス

特別稅別ニ區限リ稅目ヲ設ケ課稅スルコトヲ要スルトキ賦課スルモノトス

第六十八條 此ノ勅令中別ニ規程アルモノヲ除外特別稅ニ關スル細則ハ區條例又使用料手数料ニ關スル細則ハ區規則ヲ以テ之ヲ規定スヘシ

附加稅徵收ノ方法ハ區條例ヲ以テ之ヲ規定スヘシ

第六十九條 區住民ニ非スト雖三箇月以上區内ニ住居ヲ構ヘ若クハ滞在スル者ハ其ノ住居ヲ構ヘタル初若クハ滞在ノ初ニ遡リ區稅ヲ納ムル義務アルモノトス

區住民ニ非ス又三箇月以上區内ニ住居ヲ構ヘ若クハ滞在スルコトナキ者ト雖區内ニ於テ土地家屋ヲ所有シ若クハ使用シ又ハ區内ニ於テ營業所ヲ定メテ營業ヲ爲シ又ハ區内ニ於テ或ル行爲ヲ爲ス者ハ土地家屋營業者クハ其ノ所得ニ對シ又ハ行爲ニ對シテ賦課スル區稅ヲ納ムル義務アルモノトス

第七十條 所得稅ノ附加稅ヲ賦課シ及區ニ於テ特別ニ所得稅ヲ賦課スルモノキハ納稅義務者ノ區外ニ於テ所有シ若クハ使用スル土地家屋又ハ區外ニ於テ營業所ヲ定メタル營業ヨリ收入スル所得ハ之ヲ控除スヘキモノトス

第七十一條 所得稅法第三條ニ據クル所得ニ對シテハ區稅ヲ賦課スルコトヲ得

區區其ノ他公共團體ノ直接ノ公用ニ供スル土地家屋營造物ニ對シテハ國區其ノ他公共團體ニ區稅ヲ賦課スルコトヲ得

社寺ノ用ニ供シ又ハ官立公立ノ學校病院ノ用ニ供シ又ハ官其ノ他公共ノ施設ニ係リ學藝美術慈善ノ用ニ供スル土地家屋營造物ニ對シテハ社寺又ハ國區其ノ他公共團體ニ區稅ヲ賦課スルコトヲ得

國有ノ山林若クハ荒蕪地ニ對シテハ國ニ區稅ヲ賦課スルコトヲ得



本條ノ外區稅ヲ賦課スルコトモ別段法律勅令ニ定ムル所ニ從フ  
皇族ニ係ル區稅ノ賦課ハ追テ法律勅令ヲ以テ定ムルマテ現今ノ例ニ依ル

第七十二條 區有財產ヲ區住民ノ一部ノ直接ノ共用ニ供シタル場合ニ於テハ其ノ使用權ヲ有スル者  
ヲシテ使用ノ多寡ニ準シテ其ノ財產ニ係ル必要ナル費用ヲ負擔セシムルコトヲ得

第七十三條 區住民ノ一部ノミヲ利スル營造物ノ建設維持ノ費用ハ其ノ關係者ニ負擔セシムルコト  
ヲ得

區ノ一部ノ利ヲ利スル營造物ノ建設維持ノ費用ハ其ノ部内ニ住居ヲ構ヘ若クハ滞在シ又ハ其ノ部  
内ニ於テ土地家屋ヲ所有シ若クハ使用シ又ハ其ノ部内ニ於テ營業所ヲ定メテ營業ヲ爲シ又ハ其ノ部  
内ニ於テ或ル行爲ヲ爲シ依リ區稅ヲ納ムル義務スル者ニ負擔セシムルコトヲ得但シ其ノ一部  
ノ收入利金等ハ先其ノ收入ヲ以テ其人費用ニ充テル等ノ限

第七十四條 區ハ其ノ必要ニ依リ夫役現品ヲ以テ納稅義務者ニ賦課スルコトヲ得但シ學藝美術手工  
ニ關スル勞役ヲ賦課スルコトハ別段法律勅令ニ依リテ之ヲ定ムルコトヲ得

夫役現品ヲ急迫ノ場合ニ於テ除外金圓ヲ以テ之ニ代スルコトヲ得但シ其ノ代價ハ急迫ノ場合ニ於テ  
夫役ヲ賦課セラレタル者ハ其ノ便宜ニ從ヒ本人自ラ之ニ當リ又ハ適當ノ代人ヲ出スコトヲ得又夫  
役現品ヲ急迫ノ場合ニ於テ除外金圓ヲ以テ之ニ代スルコトヲ得但シ其ノ代價ハ急迫ノ場合ニ於テ

第七十五條 區ニ於テ徵收スル使用料加入金手数料區稅夫役現品ニ依リテ金圓其ノ他區外公法上ノ  
收入ヲ定期内ニ納メサル者アルトキハ區長ハ國稅滯納處分法ニ依リ之ヲ處分スヘシ 其ノ督促及

手數料ニ關シテハ區規則ヲ以テ別段ノ規程ヲ設クルコトヲ得

納稅義務者中無資力ナル者アルトキハ區長ノ意見ヲ以テ會計年度内ニ限リ納稅延期ヲ許スルコトヲ  
得其ノ年度ヲ超ユル場合ニ於テハ區會ノ議決ニ依リテ之ヲ許スルコトヲ得

本條ニ記載スル徵收金ノ追徵還付期滿免除及先取特權ニ付テハ國稅ニ關スル一般ノ例ヲ適用ス

第七十六條 區稅ノ賦課ヲ受ケタル者ニシテ其ノ課目課額ニ錯誤アリト認ムルトキハ徵稅令書ノ交  
付後三箇月以内ニ區長ニ異議ヲ申立ツルコトヲ得

區有財產若クハ區ノ營造物ヲ使用スル權利ニ關シ異議アル者ハ之ヲ區長ニ申立ツルコトヲ得

本條ノ異議ハ區長之ヲ決定ス其ノ區長ノ決定ニ不服アル者ハ沖繩縣知事ニ訴願シ其ノ沖繩縣知事  
ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

本條ノ異議、訴願若クハ訴訟ノ爲ニ處分ノ執行ヲ停止セス

第七十七條 區ハ其ノ負債ヲ償還スル爲メ夫天災事變等已ムラ得サル支出若クハ區ノ永久ノ利益ト  
爲ルヘキ支出ヲ要スルニ方リ通常ノ歲入ヲ増加スルトキハ區住民ノ負擔ニ堪ヘサル場合ニ限リ區  
債ヲ起スコトヲ得

區債ヲ起スニ付區會ノ議決ヲ經ル下キハ併セテ借入ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法ニ付議決ヲ經  
ヘキモノトス其ノ變更ヲ要スルトキモ亦同シ

區債償還ノ初期ハ起債ノ時ヨリ三年以内ト爲シ年年ノ償還歩合ヲ定メ起債ノ時ヨリ三十年以内ニ  
還了スルヲ以テ常例ス



區債ノ總額ハ毎年ノ利子額其ノ區經常支出既往三年起算ノ都度其ノ前年度ヨリ起算ス平均額ノ四分ノ一ヲ超過セサルヲ限度トス

區ハ債券ヲ發行スルコトヲ得ス  
豫算内ノ支出ヲ爲スニ付必要ナル一時ノ借入金ハ本條ノ例ニ依ラス其ノ年度ノ收入ヲ以テ償還スヘキモノトス但シ此ノ場合ニ於テハ區會ノ議決ヲ經ヘシ

第二款 區ノ歲入出豫算及決算

第七十八條 區長ハ每會計年度收入支出ノ豫知シ得ヘキ金額ヲ見積リ歲入出豫算ヲ調製シ少クトモ年度二箇月前ニ區會ノ議決ヲ經ヘシ但シ區ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ同シ

豫算ヲ區會ニ提出スルトキハ區長ハ併セテ區ノ事務報告書及財産明細表ヲ提出スヘシ

第七十九條 區長ハ必要ノ場合ニ於テハ區會ノ議決ヲ經テ既定豫算ノ追加若クハ更正ヲ爲スコトヲ得

第八十條 豫算外ノ支出若クハ豫算超過ノ支出ニ充ツル爲ニ豫備費ヲ設クヘシ但シ區會ノ否決シタル費目ニ充ツルコトヲ得ス

豫備費ノ支出ハ後日區會ノ認定ヲ求ムルコトヲ要ス

區ノ費用ヲ以テ支辨スヘキ事業ニシテ數年ヲ期シ施行スヘキモノ又ハ數年ヲ期シテ其ノ費用ヲ支出スヘキモノハ區會ノ議決ヲ經テ其ノ年期间各年度ノ支出額ヲ定メ繼續費ト爲スコトヲ得  
區ハ區規則ヲ以テ特別會計ヲ設クルコトヲ得

豫算調製ノ式並費目流用ニ關スル規程ハ内務大臣ノ許可ヲ得テ沖繩縣知事之ヲ定ム

豫算ハ區會ノ議決ヲ經タル後直ニ之ヲ沖繩縣知事ニ報告シ并地方所定ノ公告式ニ依リ其ノ要領ヲ公告スヘシ

第八十一條 豫算ノ議決ヲ經タルトキハ區長ヨリ其ノ原本ヲ收入役ニ交付スヘシ其ノ豫算中監督官廳ノ許可ヲ受クヘキ事故アルトキハ先ツ其ノ許可ヲ受クヘシ

收入役ハ區長ノ命令アルニ非サレハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス區長ノ命令ヲ受クルモ其ノ支出豫算中豫定ナキカ又ハ其ノ命令前條第一項ノ規程ニ依ラサルトキハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス

前項ノ規程ニ背キタル支拂ハ總テ收入役ノ責任ニ歸ス

第八十二條 區ノ出納ハ毎月例日ヲ定メテ檢査ヲ行ヒ又毎年少クトモ一回臨時檢査ヲ行フヘシ

檢査ハ區長若クハ其ノ代理者之ヲ行ヒ臨時檢査ハ區會ノ選舉シタル議員一名以上ノ立會ヲ要ス

第八十三條 區ノ出納閉鎖ハ翌年度六月三十日ヲ以テ期限トス

決算ハ出納閉鎖期限後一箇月以内ニ證書類ヲ併セテ收入役ヨリ之ヲ區長ニ提出スヘシ區長ハ之ヲ審査シ意見ヲ附シ次ノ通常豫算會議ニ於テ之ヲ區會ニ報告スヘシ

區長ハ決算報告書及之ニ關スル區會ノ議決ヲ沖繩縣知事ニ報告シ并地方所定ノ公告式ニ依リ決算ノ要領ヲ公告スヘシ

第五章 區内一部ノ行政

第八十四條 區内ノ一部ニシテ所有財産若クハ營造物ニ付其ノ部限リ特ニ其ノ費用ヲ負擔スルトキ



沖繩縣知事以區會之意見ヲ聞き内務大臣ノ許得財庫產物等關スル事務ヲ為部會ノ設ク  
ルコトヲ得

前項部會ヲ組織選舉職務權限處務規程等ハ内務大臣ノ許可ヲ得テ沖繩縣知事ヲ之ヲ定ム  
第八十五條 前條ニ記載スル事務ニ付此以勅令以規程ニ依リ雖キ事項其ニ他部ニ關シ特ニ必要ナル  
事項ハ内務大臣ノ許可ヲ得テ沖繩縣知事之ヲ定ム

第六章 區行政ノ監督  
第八十六條 區行政ハ第一號ニ於テ沖繩縣知事之ヲ監督シ第二次ニ於テ内務大臣之ヲ監督ス  
第八十七條 此ノ勅令ニ規定スル異議ハ訴願若クハ訴訟ハ處分ヲ爲シ及ハ決定若クハ裁決書ヲ交  
付シタル日ヨリ二十一日以内ニ提起スヘシ但シ此ノ勅令中別ニ期限ヲ定ムル者ハ此ノ限ニ在  
ラズ

第八十八條 監督官廳ハ區行政ハ法律命令ニ背戾セサルヤ其ノ事務錯亂滯塞セサルヤ否ヲ監視スヘ  
シ監督官廳ハ之ヲ爲ニ行政事務ニ關シテ報告ヲ爲サシ豫算決算等ノ書類帳簿ヲ徴シ並實地ニ就  
テ事務ヲ視察シ出納ヲ檢閲スル權ヲ有ス

監督官廳ハ區行政ヲ監督スル爲ニ必要ナル命令ヲ發シ處分ヲ爲ス權ヲ有ス  
内務大臣ハ沖繩縣知事ノ區行政ニ關シテ爲シタル命令若クハ處分ヲ停止シ若クハ取消スコトヲ得  
第八十九條 沖繩縣知事ハ區ノ豫算中不適當ノ支出ト認ムルモノハ之ヲ削減スルコトヲ得  
其ノ支出ヲ削減シタル場合ニ於テハ之ニ相當スル收入ヲ削減スヘシ

前項沖繩縣知事ノ處分ニ不服アル區會ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得  
本條ノ訴願ノ爲ニ處分ノ執行ヲ停止セス

第九十條 區會ノ解散ハ内務大臣之ヲ命ス此ノ場合ニ於テハ三箇月以内ニ議員ヲ選舉スヘシ  
沖繩縣知事ハ十日以内ニ於テ區會ノ停會ヲ命スルコトヲ得

第九十一條 區條例ノ設定ハ内務大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス  
第九十二條 左ニ掲グル事件ハ内務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス  
一 區債ヲ起シ並借入ノ方法及利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定メ若クハ變更スル事但シ第七十七條末  
節ノ項以借入金ハ此ノ限ニ在ラズ

二 特別稅ヲ新設シ若クハ變更スル事  
三 直接國稅ニ附加稅ヲ超過スル附加稅ヲ賦課スル事  
四 間接國稅ニ附加稅ヲ賦課スル事

五 國庫ヨリ直接ニ交付スル補助金ヲ對シテ支出金額ヲ定メ若クハ變更スル事  
第九十三條 左ニ掲グル事件ハ沖繩縣知事ノ許可ヲ受クテコトヲ要ス  
六 區規則ヲ設定スル事

七 使用料手数料等ノ新設若クハ變更スル事  
八 縣廳事務ニ交付スル補助金ヲ對シテ支出金額ヲ定メ若クハ變更スル事  
九 縣廳事務ニ關シテ區長及區吏ニ其重大ナル物件ヲ賣却交換讓渡質入借入若クハ大ナル變更ヲ爲ス事



五 區有不動產ノ賣却交換讓渡并質入書入ヲ爲ス事  
 六 基本財産及積立金數等ノ處分ヲ爲ス事  
 七 各種ノ保證ヲ與フル事  
 八 繼續費ヲ定メ若クハ變更スル事  
 九 均一ノ稅率ニ依ラスシテ國稅ノ附加稅ヲ賦課スル事  
 十 第七十二條第七十三條ニ依リ區住民ノ一部若クハ區内ノ一部ニ費用ヲ負擔セシムル事  
 十一 第七十四條ノ準率ニ依ラスシテ夫役現品ヲ賦課スル事  
 第九十四條 沖繩縣知事ハ部長委員其ノ他區吏員ニ對シ懲戒處分ヲ行フ其ノ懲戒處分ハ罷責、二十  
 五圓以下ノ過怠金及解職トス  
 前項解職ノ處分ハ職務ニ違背シ若クハ職務ヲ曠廢スル者又ハ行狀ヲ亂リ廉耻ヲ失フ者ニ對シテ之  
 ヲ行フモノトス  
 臨時解職スルコトヲ得サル吏員ニシテ第一項解職ノ處分ニ不服アル者ハ內務大臣ニ訴願スルコト  
 ヲ得其ノ訴願ノ爲ニ處分ノ執行ヲ停止セス  
 第七章 附則  
 第九十五條 此ノ勅令施行ノ時期ハ內務大臣之ヲ定ム  
 第九十六條 此ノ勅令ヲ施行スル場分ニ於テ初メテ區ト爲ス地ハ那霸首里ノ各區域トス  
 第九十七條 此ノ勅令ニ於テ直接稅若クハ間接稅トスヘキ類別ハ內務大臣及大藏大臣之ヲ告示ス

二十九年内務  
 令第二號  
 以テ施行スル  
 四月二十九日  
 下ス

第九十八條 此ノ附則ニ規定スルモノヲ除ク外此ノ勅令施行ニ付必要ナル事項ハ內務大臣之ヲ定ム

○沖繩縣間切島規程明治三十一年十二月  
勅令第三百五十二號  
 朕沖繩縣間切島規程ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

沖繩縣間切島規程

第一條 間切島ハ法人トシ官ノ監督ヲ受ケ法律命令ノ範圍内ニ於テ公共事務並法律命令又ハ慣例ニ  
 依リ間切島ニ屬スル事務ヲ處理スルモノトス  
 第二條 間切島吏員ノ組織任免職務權限及處務規定等ニ付テハ別ニ定ムル所ニ依ル  
 第三條 間切島會ノ組織選舉職務權限處務規定及間切島長ト間切島會トノ權利義務ノ關係并間切島  
 會ノ監督ニ關スル事項ハ內務大臣ノ許可ヲ經沖繩縣知事之ヲ定ム  
 第四條 間切島有財産及營造物ノ管理ニ關スル事項ハ法律命令中別段ノ規定アルモノヲ除ク外內務  
 大臣ノ許可ヲ經沖繩縣知事之ヲ定ム  
 第五條 間切島ハ其ノ必要ナル費用及法律命令又ハ慣例ニ依リ間切島ノ負擔ニ屬スル費用ヲ支辨ス  
 ル義務アリ  
 前項ノ費用ハ間切島稅其ノ他間切島ノ收入ヲ以テ之ヲ支辨スヘシ  
 第六條 從來賦課シタル間切島公費ハ間切島稅夫役現品トシテ之ヲ存ス  
 間切島稅ヲ新設シ若ハ廢止變更セムトスルトキハ間切島長ハ間切島會ノ議決ヲ經內務大臣ノ許可



ヲ受クルモノトシテ要ス

第七條 間切島稅夫役現品ノ賦課徵收ニ關シテハ從來ノ例ニ依ル

前項ノ賦課徵收方法ヲ變更シ若ハ新ニ賦課徵收ノ方法ヲ設ケ若ハ變更スルトキハ間切島長ハ間切島會ノ決議ヲ經テ沖繩縣知事ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

第八條 間切島稅夫役現品ニ代フル金圓其ノ他間切島ノ收入ヲ定期内ニ納メサル者アルトキハ間切島長ハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ處分スヘシ

本條ニ記載スル徵收金ノ追徵、還付、期滿免除及先取特權ニ付テハ國稅ニ關スル例ニ依ル

第九條 間切島ハ負債ヲ起スコトヲ得

間切島ノ負債ニ關スル事項ハ內務大臣ノ許可ヲ經テ沖繩縣知事之ヲ定ム

第十條 間切島ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ同シ

間切島歲入出豫算及決算ニ關スル事項ハ沖繩縣知事之ヲ定ム

第十一條 間切島内一部ノ財產又ハ營造物ニ關シテハ法律命令中別段ノ規定アルモノヲ除ク外間切島有財產又ハ間切島ノ營造物ニ關スル例ニ依リ間切島長之ヲ管理スヘシ但シ其ノ會計ハ之ヲ分別スヘシ

第十二條 間切島内一部ノ財產又ハ營造物ニ關スル事務ノ爲當該郡長島司ハ沖繩縣知事ノ許可ヲ經テ村會ヲ設ケルコトヲ得

第十三條 村會ノ組織選舉者職務權限處務規定及其ノ監督等ニ關スル事項ニ付テハ沖繩縣知事ニ於テ別段ノ規定ヲ設ケルモノヲ除ク外間切島會ニ關スル規定ヲ準用ス

第十四條 數間切島ノ事務ヲ共同處辨スル爲間切島組合ヲ設ケルコトヲ得

間切島組合ニ關スル事項ハ內務大臣ノ許可ヲ經テ沖繩縣知事之ヲ定ム

第十五條 間切島行政ハ第一次ニ於テ郡長之ヲ監督シ第二次ニ於テ沖繩縣知事之ヲ監督シ第三次ニ於テ內務大臣之ヲ監督ス

宮古郡八重山郡ニ於ケル間切行政ハ第一次ニ於テ沖繩縣知事之ヲ監督シ第二次ニ於テ內務大臣之ヲ監督ス

第十六條 監督官廳ハ間切島行政ヲ監督スル爲必要ナル命令ヲ發シ處分ヲ爲スノ權ヲ有ス

第十七條 間切島長又ハ間切島收入役故障アル場合ニ於テ必要ト認ムルトキハ沖繩縣知事ハ間切島ノ費用ヲ以テ官吏ヲ派遣シ間切島長又ハ間切島收入役ノ職務ヲ管掌セシムルコトヲ得

第十八條 此ノ勅令ニ規定スルモノヲ除ク外間切島ノ行政ニ關シ必要ナル事項ハ內務大臣ノ許可ヲ經テ沖繩縣知事別段ノ規定ヲ設ケルコトヲ得

第十九條 此ノ勅令ヲ施行スル爲必要ナル事項ハ內務大臣之ヲ定ム

第二十條 此ノ勅令ハ明治三十二年一月一日ヨリ施行ス

○北海道區町村會議員總代人及沖繩縣區會議員等選舉規則 明治三十二年十二月 法律第九號

第五編 北海道區町村會議員總代人及沖繩縣區會議員等選舉規則



ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム  
北海道區町村會議員總代人及沖繩縣區會議員ノ選舉ニ關シテハ市町村會議員選舉ニ關スル罰則ヲ適用ス  
北海道區制町村制及沖繩縣區制ニ依リ開設スル他ノ議會ノ議員ノ選舉ニ付テ亦前項ニ同シ

○地方稅規則 明治十三年四月十六號布告

沿革略記 明治六年七月第二十七號布告ヲ以テ地租改正條例ヲ發シ其條中ヲ以テ郡村入費等場所ニ課スルモノ其地價ニ課シ其制限ヲ地租三分ノ一トナス  
七年一月第七號布告ヲ以テ供養馬車人力車等ノ增稅開場藝妓ノ諸稅等府縣限リ徵收スルモノ自今廢金ト稱セシム  
八年二月第二十三號布告ヲ以テ舊雜稅ト稱スル區々ノ收稅ヲ廢シ營業上原雜稅ヲ要スル者ハ更ニ地方官ニ於テ課稅セシム  
同年九月第四十號布告ヲ以テ賦金ト稱シ又ハ前ノ第二十三號布告地方收稅ノ類ニシテ其地方ノ費用ニ供スルモノヲ廢シ更ニ府縣稅トシ處分セシム  
十年第二號布告ヲ以テ六年第二十七號布告民費賦課ノ制限ヲ正租五分一ト改メ  
十一年七月第十九號布告ヲ以テ前キノ府縣稅民費ノ名ヲ以テ徵收セルモノヲ改メ地方稅トナシ其規則ヲ制定ス  
十三年四月第十六號布告ヲ以テ前令ヲ改正ス

明治十一年七月第十九號布告地方稅規則左ノ通改正候條此旨布告候事

第一條 地方稅ハ左ノ目ニ從ヒ徵收ス

- 一 地租三分ノ一以內(十三年第四十八號布告ヲ以テ本項改正)
- 一 營業稅并雜種稅
- 一 戶數制

第二條 營業稅雜種稅ノ種類ハ別段ノ布告ヲ以テ之ヲ定ム(十五年第二號布告ヲ以テ及制限ノ三字ヲ削ル)

第三條 地方稅ヲ以テ支辨スヘキ費目左ノ如シ(十五年第二號布告ヲ以テ各項共改正)

- 一 警察費

警察廳舍建築修繕費
土木費
區町村土木補助費
府縣會議諸費
衛生及病院費
教育費
區町村教育補助費
郡區廳舍建築修繕費
郡區吏員給料旅費及廳中諸費 <small>(十六年第七號布告ヲ以テ郡區長ノ給料旅費ハ國庫ノ支辨トス)</small>
教育費
「浦役場及羅破船諸費」 <small>(二十一年法律第一號三十二年法律第九十五號ニ依リ消滅)</small>
諸達書及揭示諸費
勸業費
「戶長以下給料旅費」 <small>(二十一年法律第一號ニ依リ消滅)</small>
地方稅取扱費 <small>(府縣廳三屬スル爲替力給料爲替手数料現金送送等ノ費用)</small>
府縣廳舍建築修繕費
「府縣監獄費」 <small>(三十三年法律第一號ヲ以テ削滅)</small>
「府縣監獄建築修繕費」 <small>(同上)</small>
以上費目互ニ流用スルコトヲ許サス



一 豫備費豫備費外ニ生シタル事件ノ費進（十五年第六十九號布告）  
右ノ外特ニ費目ノ増加ヲ要スルトキハ府縣會ノ議決ヲ經テ府知事「縣令」ヨリ「內務大藏兩卿」ニ具狀シ政府ノ裁可ヲ受クヘシ

第四條 其年四月ヨリ翌年三月迄ヲ一周年度トナシ府知事「縣令」ハ前年十月迄ニ地方稅ヲ以テ支辨スヘキ經費ノ豫算并地方稅徵收ノ豫算ヲ立テ翌年度ノ定額トナシ其府縣會ノ議決ヲ取リ其年二月ヲ以テ「內務卿」及「大藏卿」ニ報告スヘシ（十七年第二十九號布告ヲ以テ改正）

地方稅ヲ以テ支辨スヘキ事件數年ヲ期シテ施行スルモノハ初年ニ於テ其年期間各年度ノ經費豫算ヲ定メ府縣會ノ議決ヲ取リ府知事「縣令」ヨリ「內務卿」ニ具狀シ認可ヲ得テ其年期間之ヲ施行スルコトヲ得（十五年第六十九號布告ヲ以テ本項追加）

第五條 非常ノ費用ハ豫算ニ立ツルヲ得サル天災時變ノ費用 別ニ賦課スルヲ得ルト雖モ其府縣會ノ議決ヲ取リ「內務卿」及「大藏卿」ニ報告スヘシ（十四年第五號布告ヲ以テ報告スヘシ）  
前年度經費決算ノ場合ニ於テ已ムヲ得サル事故アリテ費目中不足ヲ生スルモノアルトキハ府知事「縣令」ハ府縣會ノ議決ヲ取リ其補充費ヲ徵收スルコトヲ得（十五年第十九號布告ヲ以テ本項追加）

第六條 「地方稅徵收ノ收期」ハ府知事「縣令」適宜ニ之ヲ定ムヘシ（三十三年初令第八號）  
第七條 府知事「縣令」ハ一週年度間ノ出納ヲ計査シ精算帳及計表ヲ製シ翌年通常會議ノ初メニ於テ之ヲ府縣會ニ報告シ然ル後「內務卿」及「大藏卿」ニ報告スヘシ（十四年第五號布告ヲ以テ改正）

第八條 上（十四年第五號布告ヲ以テ刪去）  
第九條 島嶼ノ地方稅ニ係ル經費ハ府縣會ノ議決ヲ經テ府知事「縣令」ヨリ「內務卿」ニ具狀シ其裁定

ヲ得テ本府縣ノ經費上之ヲ分別スルコトヲ得  
第十條 （十三年第二十六號布告ヲ以テ追  
加十四年第八號布告ヲ以テ刪除）

○營業稅雜稅規則 明治三十三年四月  
第十七號布告

明治十一年十一月二十九號布告地方稅中營業稅雜稅ノ種類及ビ制限ノ左ノ通改正候條此旨布告候事

第一條 營業稅ヲ課スヘキ種類左ノ如シ但國稅アルトキハ課稅ノ限ニアラス （十五年第三號布告  
ヲ以テ各項共改正）

商業

工業

第二條 雜稅ヲ課スヘキ種類左ノ如シ （十五年第三號布告  
ヲ以テ各項共改正）

料理屋待合茶屋遊船宿芝居茶屋飲食店ノ類

湯屋

理髮人

傭人受宿

遊藝師匠遊藝藝人相撲俳優劇團藝妓ノ類

市場

演劇其他興行遊覽所



遊技場 玉突大弓橋  
射的吹矢ノ類

人寄席

船 野瀬船川船及五車 馬車人力車荷積出車荷積大七六  
十石未滿海船 八車荷積中小車荷積牛車ノ類  
(二十九年法律第六十  
五號ニ依リ但書消滅)

水車

乘馬

屠畜

漁業採藻ノ類

但漁業稅採藻稅ハ各地從來ノ慣例ニ依リ之ヲ徵收スヘシ若シ其慣例ヲ改正シ又ハ新稅ヲ  
賦課セントスルモノハ府縣會ノ決議ヲ經テ府知事「縣令」ヨリ「內務大藏兩卿」ニ具狀シ政  
府ノ裁可ヲ受クヘシ

第三條 (十五年第三號布  
告ヲ以テ刪除)

第四條 府知事「縣令」ハ府縣會ノ決議ヲ以テ第一條第二條類目中ニ於テ賦課スル者ヲ取捨スル  
コトヲ得

第五條 府知事「縣令」ハ其賦課スヘキ各業ノ盛衰ヲ視察シ府縣會ノ決議ヲ以テ各個ノ稅額ヲ查  
定スヘシ(十五年第三號布告ヲ以テ決議ヲ  
以テノ下稅額云々ノ凡字ヲ刪除)

第六條 (十五年第三號布  
告ヲ以テ刪除)

第七條 (十五年第三號布  
告ヲ以テ刪除)

第八條 第四條第五條ニ於テ確定シタル課目課額ハ府知事「縣令」ヨリ「內務大藏兩卿」ニ報告ス  
ヘシ

第九條 第一條第二條課稅種類ノ外地方特別ノ課稅ヲ要スルモノハ府縣會ノ決議ヲ經テ府知事  
「縣令」ヨリ「內務大藏兩卿」ニ具狀シ政府ノ裁可ヲ受クヘシ(十五年第三號布告ヲ以テ第三條稅目  
ノ凡字ヲ改メ課稅種類ノ四字トナス)

○府縣警察費ニ對シ國庫下渡金ノ割合(明治二十一年八月  
勅令第六十一號)

朕地方稅中警察費ニ對スル國庫下渡金改定ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム  
明治十四年二月十六號布告府縣警察費ニ對スル國庫下渡金ノ割合左ノ通改定ス

第一條 地方稅中警察費及警察廳舍建築修繕費ニ對スル國庫下渡金ノ割合ハ東京府ハ其總高ノ  
拾分ノ四トシ其他ノ府縣(沖繩縣ヲ除ク)ハ六分ノ一トス

第二條 前條割合ノ外警察官吏立ニ之ニ準スヘキ備内外國人ノ諸給與警視廳ノ廳費ハ從前ノ通  
國庫ヨリ支給ス

第三條 本令ハ明治二十二年度ヨリ施行ス

○府縣委託金ヲ地方稅經濟ニ移ス(明治二十三年三月  
勅令第六十六號)

朕府縣委託金ヲ地方稅經濟ニ移スノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第五條 府縣警察費ニ對シ國庫下渡金ノ割合 府縣委託金ヲ地方稅經濟ニ移ス



第一條 從來府縣廳ニ存在スル府縣委託金及之ニ屬スル財產ハ明治二十三年三月三十一日ノ現況ヲ以テ其府縣ノ地方稅經濟ニ下付スヘシ

第二條 府縣委託金ニ關シ從前府縣知事ニ於テ契約シタルモノハ其契約ヲ繼續シ從前府縣知事ヨリ發シタル命令ハ之ヲ履行スヘシ府縣會ノ議決ニ依ルモ內務大臣ノ認許ヲ經ルニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第三條 元金ハ務メテ之ヲ保存スヘシ府縣會ノ議決ニ依ルモ內務大臣ノ認許ヲ經ルニ非サレハ之ヲ支消スルコトヲ得ス

第四條 元金ヨリ生ズル利子ハ府縣會ノ議決ニ依リ公共ノ勸業費途ニ充用シ又ハ之ヲ蓄積スルコトヲ得

第五條 府縣委託金中獻金又ハ寄附金等ヨリ成立ツモノニシテ當初使用ノ途ヲ指定シタルモノハ將來ト雖モ其使用ノ途ヲ變スルコトヲ得ス

第六條 府縣委託金ノ種類ハ大臣之ヲ府縣ニ達スヘシ

○地方稅ニ關スル寄附及ヒ雜收入ハ府縣會ノ議決ニ付テ 明治二十年十一月廿一日勅令第五十六號 朕地方稅ニ關スル寄附及雜收入ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布ヒシム

第一條 地方稅ヲ以テ支辨スヘキ事業ニ關シ寄附スル金穀物件ハ府縣會ノ議決ヲ經テ寄附者ヲ指定シタル費途又ハ費用ニ充ツヘシ

○

○島嶼ニ關スル府縣行政ノ特例 明治三十二年六月廿八號勅令第二百二十八號

朕島嶼ニ關スル府縣行政ノ特例ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 島嶼ノ經濟ト所屬本地ノ經濟トハ府縣會ノ議決ヲ經內務大臣ノ許可ヲ得テ之ヲ分別スルコトヲ得

第二條 東京府下伊豆七島及小笠原島ニ於ケル府稅ノ賦課及府會議員ノ選舉ニ關シテハ當分從前ノ例ニ依ル

附則

本令ハ明治三十二年七月一日ヨリ施行ス

○

○府縣費ノ分賦及不均一賦課 明治三十二年六月廿六號勅令第三百十六號

朕府縣費ノ分賦及不均一賦課ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 府縣ハ臨時少額ノ費用ノ爲特ニ賦課徵收ヲ爲スヲ要スル場合ニ於テハ其ノ費用ヲ府縣內市町村ニ分賦スルコトヲ得

前項ニ依リ分賦スヘキ費用ノ限度ハ內務大臣之ヲ定ム

第一項分賦ノ割合ハ豫算ノ屬スル年度ノ前前年度ニ於ケル市町村ノ直接國稅府縣稅ノ徵收額ニ依

三十二年內務  
省令第二十九  
號ヲ以テ市町  
村ニ分賦スヘ  
キ費用ノ限度  
ヲ定ム



ル但シ本條ノ分賦方法ニ依リ難キ事情アルトキハ府縣知事ハ府縣會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ待テ特別ノ分賦方法ヲ設クルコトヲ得

第二條 市部會郡部會ヲ設ケタル府縣ニ於テハ府縣會ノ議決ヲ經テ其ノ市部ニ屬スル部分ヨリ徵收スヘキ額ヲ市ニ分賦スルコトヲ得

第三條 法律命令申別ニ規定アルモノヲ除ク外市部會郡部會ヲ設ケタル府縣ニ於テハ府縣ノ費用ヲ以テ支辨スヘキ事件ニシテ其ノ市部ト郡部ト利益ノ程度ヲ異ニシ均一ノ賦課ヲ爲シ難キ事情アルトキハ其ノ費用ニ限リ不均一ノ賦課ヲ爲スコトヲ得

附則

第四條 本令ハ明治三十二年七月一日ヨリ施行ス

○府縣稅家屋稅賦課明治三十二年六月勅令第二百七十六號

朕府縣稅家屋稅ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

府縣ハ其ノ府縣ノ全部若クハ一部ノ地ニ於ケル家屋ニ對シ家屋稅ヲ賦課スルコトヲ得但シ家屋稅賦課ノ地ニ於テハ戶數割ヲ賦課スルコトヲ得ス

前項ニ依リ新ニ家屋稅ヲ賦課セントスルトキハ府縣會ノ議決ヲ經内務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受クヘシ

附則

本令ハ明治三十二年七月一日ヨリ施行ス

○沖繩縣及小笠原島地方費支辨法明治二十三年五月法律第三十七號

朕沖繩縣及小笠原島地方費ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布ス

沖繩縣及小笠原島ノ地方經濟ニ屬スル費用ハ其地方人民ノ負擔スルモノヲ除クノ外從前ノ通り國庫ヨリ之ヲ支辨ス

○府縣稅徵收方明治三十三年三月勅令第八十一號

朕府縣稅徵收ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 市町村ハ其ノ市町村内ノ府縣稅ヲ徵收シ之ヲ府縣ニ納入スルノ義務ヲ負フ

前項府縣稅ノ徵收ニ關シテハ地租ノ附加稅ヲ除クノ外徵收金額百分ノ四ヲ其ノ市町村ニ交付スヘシ

第二條 市町村ハ避クヘカラサル災害ニ因リ既收ノ稅金ヲ失ヒタルトキハ其ノ稅金納入義務ノ免除ヲ府縣知事ニ申請スルコトヲ得

第三條 府縣知事前條ノ申請ヲ受ケタルトキハ之ヲ府縣參事會ノ決定ニ付スヘシ其ノ決定ニ不服アル者ハ決定書ノ交付ヲ受ケタル翌日ヨリ起算シ十四日以内ニ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得



前項ノ決定ニ關シテハ府縣知事ヨリモ亦訴願ヲ提起スルコトヲ得

第四條 府縣稅ヲ徵收セムトスルトキハ府縣知事又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏吏員ハ市町村ニ對シ徵稅令書ヲ發シ市町村長ハ徵稅令書ニ依リ徵稅傳令書ヲ調製シ之ヲ納稅人ニ交付スヘシ  
府縣知事又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏吏員ハ直ニ納稅人ニ對シ徵稅令書ヲ發スルコトヲ得  
納稅人ニ於テ徵稅令書又ハ徵稅傳令書ノ受領ヲ拒ミタルトキ又ハ納稅人ノ所在知レサルトキハ徵稅令書又ハ徵稅傳令書ヲ發シタル行政廳ニ於テ其ノ令書又ハ傳令書ノ要領ヲ公示スルヲ以テ之ヲ交付シタルモノト看做ス

第五條 徵稅傳令書ヲ受ケタル納稅人ハ其ノ税金ヲ市町村ノ收入役ニ拂込ミ其ノ領收證ヲ得テ納稅ノ義務ヲ了ス

第六條 徵稅令書ヲ受ケル納稅人ハ其ノ税金ヲ府縣金庫ニ拂込ミ其ノ領收證ヲ得テ納稅ノ義務ヲ了ス  
市町村ハ其ノ徵收シタル府縣稅ヲ府縣金庫ニ拂込ミ其ノ領收證ヲ得テ税金納入ノ義務ヲ了ス

第六條 徵稅傳令書ヲ受ケタル納稅人ニ於テ納期ヲ過キ税金ヲ完納セサルトキハ市町村長ハ其ノ滯納ノ稅目、金額及滯納人ノ住所氏名其ノ他必要ナル事項ヲ記載シ之ヲ徵稅令書ヲ發シタル官吏吏員ニ報告スヘシ

第七條 納稅人ニ於テ滯納處分、強制執行又ハ家資分散若ハ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキハ徵稅令書又ハ徵稅傳令書ヲ交付シタル府縣稅ニ限リ納期前ト雖之ヲ徵收スルコトヲ得法人ノ解散シタルトキ亦同シ

第八條 府縣稅ノ徵收期ハ府縣知事之ヲ定ム

第九條 市制町村制ヲ施行セサル地ニ於ケル府縣稅ノ徵收ニ關シテハ本令ノ規定ヲ準用ス其ノ準用シ難キ事項ハ内務大臣ノ許可ヲ得テ府縣知事之ヲ定ム

第十條 本令ニ關スル細則ハ府縣知事之ヲ定ム

附則  
本令ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

○特別年限増徴ノ地租ニ府縣稅市町村稅ヲ賦課スルコトヲ得ス明治三十二年三月法律第四十三號  
朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル特別年限地租増徴ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布シム  
明治三十二年度ヨリ同三十六年度迄五箇年間市街宅地及田畑其ノ他ノ地目ニ就キ特別増徴ノ地租ニハ府縣稅又ハ市町村稅ヲ賦課スルコトヲ得ス

○罹災救助基金法明治三十二年三月法律第七十七號

沿革略記 明治元年六月人民ノ兵燹洪水ニ罹ル者ノ救助方法ヲ示シ其職務ヲ府縣ニ擔任セシム●二年府縣施政順序ヲ定メ凶荒豫防窮民救助ノ方法ヲ示ス○同年七月府縣奉職規則ヲ定メ凶年飢饉ノ慮ナシシ豫メ民患賑濟ノ備ヲ設ケシム○同年十二月水火災ニ罹リシ者救助日數及給與米額ヲ定ム●三年二月民政部省ヨリ夫食糧粉類糶貸代等貸下方ヲ達ス○同年五月民政部省ヨリ水火災ニ罹ル者救恤處分ヲ達ス○同年六月民政部省ヨリ夫食糧粉類糶貸與日數及男女一日ノ給與額ヲ定メ年賦送辦方ヲ届出サシム●四年六月夫食糧粉類其他正米貸下ヲ止メ石代渡トシ同年十一月縣治條例ヲ頒布シ窮民一時救助規則ヲ定ム●五年五月窮民一時救助規則ヲ改正ス●七年十二月第百六十二號達ヲ以テ



恤救規則ヲ定ムルハ八年四月第十九號迄ヲ以テ惡病流行ノ節貸付救助規則ヲ定ムル〇同年七月内務省シ第八十五號迄  
ヲ以テ七年第六十二號窮民恤救規則ノ申請調査手續ヲ定ムル〇同年七月第六十二號迄ヲ以テ縣治條例中窮民一時  
救助規則ヲ廢シ更ニ窮民一時救助規則ヲ定ムル〇十年九月第六十二號布告ヲ以テ凶歲租稅延納規則ヲ制定スル〇十三年六  
月第三十一號布告ヲ以テ前キニ定ムル所ノ救助延納ノ二規則ヲ廢止シ更ニ備荒儲蓄法ヲ制定スル〇三十二年三月法律  
第七十七號ヲ以テ罹災救助基金法ヲ定ムル備荒儲蓄法ヲ廢止ス

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル罹災救助基金法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

罹災救助基金法

第一條 府縣ハ罹災救助基金ヲ貯蓄スヘシ

第二條 罹災救助基金ハ府縣ノ全部又ハ一部ニ亘ル非常災害ニ罹リタル者ヲ救助スル爲メ支出スルモ  
ノトス

罹災ノ範圍前項ニ該當セサルモ多數ノ人民同一ノ災害ニ罹リタルトキ亦前項ニ同シ

第三條 各府縣ニ於テ貯蓄スヘキ罹災救助基金ノ最小額ハ五拾萬圓トシ且明治二十年度ヨリ同二十  
九年度迄ノ間ニ備荒儲蓄法ニ依リ支給シタル平均年額ノ二十倍以上タルコトヲ要ス但シ支給額ノ  
最高及最低年度ハ本文平均計算ニ加ヘス

第四條 府縣ハ罹災救助基金貯蓄ノ爲メ直接國稅ノ附加稅ヲ徵收スル場合ニ於テハ他ノ法律ニ依ル制  
限ノ外百分ノ三以内ノ附加稅ヲ課スルコトヲ得

第五條 國庫ハ罹災救助基金ノ補助トシテ十箇年度間毎年拾五萬圓ヲ支出シ此ノ法律施行ノ日ニ於  
ケル府縣罹災救助基金第三條ノ制限額ニ達セサル府縣ニ對シ其ノ差額ニ割合ヒ之ヲ交付ス  
前項ノ外國庫ハ罹災救助基金ノ補助トシテ十箇年度間毎年度拾五萬圓ヲ支出シ府縣ニ於テ府縣稅

三十二年大  
省令第三十二  
號ヲ以テ本法  
施行手續ヲ定

若ハ地方稅ヲ以テ罹災救助基金ニ積立テタル金額ニ割合ヒ之ヲ交付ス但シ第三條ノ制限額ニ達シ  
タル府縣ニ付テハ此ノ限ニアラス

第六條 罹災救助基金ヨリ生スル收入ハ總テ罹災救助基金ニ編入スヘシ

第七條 第二條ノ支出額其ノ年度初ノ罹災救助基金現在高百分ノ五ヲ超過シタルトキハ罹災救助基  
金ノ補助トシテ國庫ハ其ノ超過額ノ三分ノ一ヲ府縣ニ交付ス

第八條 罹災救助ノ爲メ罹災救助基金ヲ支出スヘキ費目左ノ如シ

一 避難所費

二 食料費

三 被服費

四 治療費

五 小屋掛費

六 就業費

第九條 避難所費ハ罹災者ノ爲ニ必要ナル避難所ヲ設ケル費用ニ充ツ

第十條 食料費ハ罹災者ノ爲ニ必要ナル禁出ヲ爲又ハ食品ヲ給與スル費用ニ充ツ

第十一條 被服費ハ罹災者自ラ被服ヲ給スルコト能ハサル場合ニ於テ被服ヲ給與スル費用ニ充ツ

第十二條 治療費ハ災害ノ際罹災者ノ傷痍疾病ヲ治療スルノ必要アル場合ニ於テ其ノ費用ニ充ツ

第十三條 小屋掛費ハ災害ノ際罹災者ノ爲ニ必要ナル小屋掛ヲ爲シ又ハ爲スヘキ材料ヲ給與スル費



用ニ充ツ

第十四條 就業費ハ主トシテ勞働ニ依リテ業務ニ従事シ價格僅少ナル資料又ハ器具ニ依頼スル貧民ニシテ罹災ノ爲其ノ資料又ハ器具ヲ亡失シタル者ニ就業ノ爲必要缺クヘカラサル資料又ハ器具ヲ給與スルノ費用ニ充ツ

第十五條 第三條ノ制限額以上ニ達シタル府縣ノ郡市町村ニ於テ罹災救助ノ方法ヲ設ケ資金ヲ貯蓄スルトキハ地方長官ハ府縣會ノ議決ヲ經内務大臣及大藏大臣ノ認可ヲ受ケ該制限額ヲ下ルニ至ラサル範圍内ニ於テ罹災救助基金ヨリ補助スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ地方長官ハ其ノ資金監督ノ方法ヲ設クヘシ

第十六條 罹災救助基金ノ管理支出又ハ補充ニ關スル方法ハ府縣會ノ議決ヲ經内務大臣及大藏大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第十七條 罹災救助基金ノ運用ハ左ノ範圍ヲ出ツルコトヲ得ス

- 一 國債證券地方債證券ヲ買入レ又ハ非常災害ノ爲ニ要スル府縣土木費ヘ利付ニテ貸出スコト但シ地方債證券買入額及土木費貸出額ハ合シテ罹災救助基金年度初ノ現在高三分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ス其ノ土木費貸出ニ付テハ内務大臣及大藏大臣ノ認可ヲ受クヘシ
- 二 豫メ給與品ヲ買入ルルコト
- 三 大藏省預金ニ預ケ入ルルコト
- 四 確實ナル銀行ニ利付ニテ當坐預ケ定期預ケヲ爲スコト但シ罹災救助基金年度初ノ現在高十分

ノ一ヲ超ユルコトヲ得ス

第十八條 罹災救助基金ノ管理ニ關スル費用ハ罹災救助基金ヨリ支出スルコトヲ得ス

第十九條 罹災救助基金ノ出納ハ内務大臣及大藏大臣之ヲ検査ス

第二十條 罹災救助基金ノ收支ニ關スル豫算及決算ハ内務大臣及大藏大臣ニ報告スヘシ

附則

第二十一條 此ノ法律施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定メ二十箇年度間之ヲ施行ス

第二十二條 備荒儲蓄法ニ依リ積立テタル府縣儲蓄金ハ總テ罹災救助基金トス

第二十三條 此ノ法律ハ沖繩縣ニ施行セス

第二十四條 備荒儲蓄法ハ此ノ法律施行ノ日ヨリ廢止ス

○

○府縣監獄費及府縣監獄建築修繕費國庫支辨方明治三十三年一月  
法律第四號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル府縣監獄費及府縣監獄建築修繕費ノ國庫支辨ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 監獄ニ關スル費用ハ總テ國庫ニ於テ之ヲ支辨ス

第二條 府縣監獄ニ屬スル府縣有土地建物器具器械素品製品其ノ他ノ物件ハ國庫ニ歸屬ス

附則

第五類 府縣監獄費及府縣監獄建築修繕費國庫支辨方  
國庫補助公共團體ノ事業監督ニ關スル規程



第三條 本法ハ明治三十三年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

第四條 本法發布以後施行ノ日迄ノ間ニ於テ第二條ニ掲ケル土地物件ノ處分ヲ要スルトキハ命令ヲ以テ別段ノ規定ヲ設ケタル場合ノ外内務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第五條 本法施行ノ際國庫地方費ノ區分ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

○國庫補助公共團體ノ事業監督ニ關スル規程明治三十年四月法律第三十七號

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル國庫ヨリ補助スル公共團體ノ事業ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 府縣郡市區町村其ノ他公共團體ノ事業ニシテ國庫ヨリ其ノ費用ヲ補助スルモノニ關シ必要アリト認ムルトキハ主務大臣ハ其ノ事業ノ設計施行管理並經費收支ノ方法等ニ付期間ヲ指定シテ之ヲ變更ヲ命シ若シ命ニ從ハサルトキハ直ニ之ニ變更スルコトヲ得

主務大臣ハ必要アリト認ムルトキハ前項ノ事業ノ全部若クハ一部ヲ直接施行スルコトヲ得

第二條 前條ノ事業ニ關シ經費ノ負擔ヲ爲シ又ハ經費ノ變更ヲ爲スヘキ場合ニ於テ主務大臣ノ指定シタル期間内ニ之ヲ爲ササルトキハ主務大臣ハ直ニ豫算ヲ定メ又ハ豫算ヲ追加シ若クハ更正シ必要ナル費用ヲ支辨セシムルコトヲ得

第三條 此ノ法律ニ規定シタル主務大臣ノ職權ハ其ノ委任ヲ受ケタル地方長官ヲシテ之ヲ執行セシム

ムルコトヲ得

第四條 府縣郡市區町村其ノ他公共團體ノ事業ニシテ國ノ事業ト關聯スル場合ニ於テハ此ノ法律ノ規程ヲ準用スルコトヲ得

第五條 此ノ法律ヲ施行スル爲ニ必要ナル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

○國庫補助公共事業監督ニ關スル規程明治三十一年八月勅令第八十四號

朕明治三十年法律第三十七號ノ施行ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 内務大臣ニ於テ府縣郡市區町村其ノ他公共團體ノ事業ヲ直接施行スルトキハ官報ヲ以テ其ノ事業ノ屬スル公共團體並其ノ施行スヘキ事業及其ノ始期ヲ告示スヘシ

内務大臣ニ於テ前項事業ノ直接施行ヲ廢止シ又ハ事業ヲ終了シタルトキハ官報ヲ以テ之ヲ告示スヘシ

第二條 府縣郡市區町村其ノ他公共團體ハ内務大臣ノ直接施行ニ係ル事業ニ要スル費用ノ豫算金額ヲ國庫ニ納付スヘシ

前項ニ依リ納付スヘキ期間並豫算金額ハ内務大臣之ヲ定ム

第三條 府縣郡市區町村其ノ他公共團體ニ於テ内務大臣ノ直接施行ニ係ル事業ノ爲取得シタル物件及權利ヲ有スルトキハ之ヲ内務大臣ニ移付スヘシ



前項ニ依リ移付ヲ爲スヘキ期間並物件及權利ノ範圍ハ内務大臣之ヲ定ム

第四條 内務大臣ハ其ノ直接施行ニ係ル事業ニ關シ必要ナルトキハ其ノ事業ニ屬スル府縣郡市區町村其ノ他公共團體ヲ管轄スル行政廳ノ有スル職權ヲ直接施行スルコトヲ得

第五條 内務大臣ニ於テ其ノ直接施行ニ係ル事業ヲ終了シタルトキハ之ヲ其ノ所屬府縣郡市區町村其ノ他公共團體ニ引渡スヘシ但シ其ノ事業ノ數年ニ渉ル場合ニ於テハ其ノ完了シタル部分ヲ順次引渡スコトヲ得

第六條 内務大臣ニ於テ前條ニ依リ事業ノ引渡ヲ爲シタルトキハ其ノ事業ノ爲取得シ又ハ第三條ニ依リ移付ヲ受ケタル物件及權利ニシテ現存スルモノハ之ヲ其ノ事業ノ屬スル府縣郡市區町村其ノ他公共團體ニ移付スヘシ

前項ニ依リ移付ヲ爲スヘキ物件及權利ノ範圍並其ノ移付シ難キモノニ關スル處分ハ内務大臣之ヲ定ム

第七條 内務大臣ノ直接施行ニ係ル事業ニ要スル費用ノ不足額ノ補充及殘餘金ノ處分等ハ内務大臣之ヲ定ム

第八條 内務大臣ニ於テ府縣郡市區町村其ノ他公共團體ニ屬スル事業ノ直接施行ヲ廢止シタルトキハ前二條ノ規程ヲ準用ス

第九條 此ノ勅令ニ規定シタルモノノ外内務大臣ハ必要ナル命令ヲ發スルコトヲ得

○第六類 土地、森林

○地所名稱區別 明治七年十一月  
第三百二十號布告

沿革略記 明治六年三月第百十四號布告ヲ以テ地所名稱區別ヲ制定ス●七年十一月第百二十號布告ヲ以テ前令ヲ改正ス  
是レ現行法ナリ

明治六年三月第百拾四號布告地所名稱區別左ノ通改定候條此旨布告候事

官有地

第一種 「地券ヲ發セス」地租ヲ課セス地方稅ヲ賦セサルヲ法トス (十二年第三百十四號布告ヲ以テ區入費ヲ地方稅ト改ム)

一 皇宮地 皇居離宮等ヲ云

一 神地 伊勢神宮山陵官國幣社府縣社  
及ヒ民行ニアラサル地ヲ云

第二種 「地券ヲ發シ」地租ヲ課セス地方稅ヲ賦セサルヲ法トス尤府縣所用ノ地ハ「地券ヲ發セス」唯帳簿ニ記入ス (八年第百十四號布告ヲ以テ但書共改正十二年第三百十四號布告ヲ以テ區入費ヲ賦スルトアルテ地方稅ヲ賦セサルト改ム)

但此地ニアラ官舎ヲ貸渡ス時ハ借地料ヲ賦スヘシ

一 皇族賜邸

一 官用地 官廳省使寮司廳藩縣本廳裁判所警視廳陸海軍  
本營其他政府ノ許可ヲ得タル所ノ地ヲ云

第三種 「地券ヲ發セス」地租ヲ課セス地方稅ヲ賦セサルヲ法トス (十二年第三百十四號布告ヲ以テ區入費ヲ地方稅ト改ム)

但人民ノ願ニヨリ右地所ヲ貸渡ス時ハ其間借地料ヲ納メシムヘシ (十二年第三百十四號布告ヲ以テ借地料以下改正)

一 山岳丘陵林藪原野河海湖沼池澤溝渠堤塘道路田畑屋敷等其他民有地ニアラサルモノ

二十三年勅令  
第三百七十五號  
第二百七十五號  
第六號參照

二十二年法律  
第十三號ヲ以テ  
地券ヲ廢ス  
以下做之



- 一 鐵道線路敷地
- 一 電信架線柱敷地
- 一 燈明臺敷地
- 一 各所ノ舊跡名區及ヒ公園等民有地ニアラサルモノ
- 一 人民所有ノ權理ヲ失セシ土地
- 一 民有地ニアラサル堂宇敷地及ヒ墳墓地
- 一 行刑場
- 第四種 「地券ヲ發セズ」地租ヲ課セス地方稅ヲ賦セサルヲ法トス(十二年第四號布告ヲ以テ區入費ヲ賦スルトアルナ地方稅ヲ賦セサルト改ム)
- 一 寺院大中小學校說教場病院貧院等民有地ニアラサルモノ

民有地

- 第一種 「地券ヲ發シ」地租ヲ課シ地方稅ヲ賦スルヲ法トス(十二年第三十四號布告ヲ以テ區入費ヲ地方稅ト改ム)
- 一 人民各自所有ノ確證アル耕地宅地山林等ヲ云
- 但此地賣買ハ人民各自ノ自由ニ任スト雖凡濫シ地開墾等ノ如キ大ニ地形ヲ變換スルハ官ノ許可ヲ乞フヲ法トス
- 一 人民數人或ハ一村或ハ數村所有ノ確證アル學校病院鄉倉牧場秣場社寺等官有地ニアラサル土地ヲ云(本項ハ元第二種ナルヲ九年第八十八號布告ヲ以テ第一種ニ合ス)
- 但此地賣買ハ其所有者一般ノ自由ニ任スト雖凡濫地或ハ開墾等ノ如キ大ニ地形ヲ變換スルハ官ノ許可ヲ乞フヲ法トス

ルハ官ノ許可ヲ乞フヲ法トス

第二種 「地券ヲ發シテ」地租地方稅ヲ賦セサルヲ法トス(九年第八十八號布告ヲ以テ本項元第三種ナルヲ第二種ト改ム十二年第三十四號布告ヲ以テ區入費ヲ地方稅ト改ム)

改ト)

- 一 官有ニアラサル鄉村社地及ヒ墳墓地等ヲ云フ(八年第四百十四號布告ヲ以テ本項改正)
  - 一 民有ノ用惡水路溜池敷堤敷及井溝敷地(八年第五百五十四號布告ヲ以テ本項追加)
  - 一 公衆ノ用ニ供スル道路(十三年第四十三號布告ヲ以テ但書共追加)
- 但其地形ヲ變換スルトキハ管轄廳ノ許可ヲ請フヘシ

○耕地整理法 明治三十二年三月 法律第八十二號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル耕地整理法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

耕地整理法

第一章 總則

- 第一條 本法ニ於テ耕地整理ト稱スルハ耕地ノ利用ヲ增進スル目的ヲ以テ其ノ所有者共同シテ土地ノ交換若ハ分合、區劃形狀ノ變更及道路、畦畔若ハ溝渠ノ變更廢置ヲ行フヲ謂フ
- 第二條 第五條、第九條、第十條、第十二條乃至第十六條、第二十六條、第三十條乃至第三十二條及第五十一條ノ規定ハ一人ニシテ其ノ所有地ノ整理ヲ施行スル場合ニ之ヲ準用ス



第三條 耕地ニシテ特別ノ價值用途アル土地及耕地ニアラサル土地ハ其ノ所有者ノ同意アルニアラサレハ之ヲ整理地區ニ編入スルコトヲ得ス

前項ノ土地ニシテ其ノ所有者ノ同意ナキト雖整理ノ施行ニ必要ナルトキハ其ノ全部又ハ一部ヲ整理地區ニ編入スルコトヲ得但シ府縣、郡、市町村其ノ他公共團體ノ公用ニ供スル土地、宅地、名勝地、舊蹟地、古墳墓地、墳墓地、社寺境内地、鐵道用地及軌道用地ハ此ノ限ニ在ラス

第四條 建物アル宅地又ハ鐵道用地ハ其ノ建物ノ所有者及登記ヲ爲シタル第三權利者ノ同意アルニアラサレハ之ヲ整理地區ニ編入スルコトヲ得ス

第五條 御料地、國有地又ハ官ノ用ニ供スル土地ハ主務官廳ノ認許アルニアラサレハ之ヲ整理地區ニ編入スルコトヲ得ス

第六條 整理施行ヲ發起セントスル者又ハ整理委員ハ市町村長ノ證明ヲ得テ整理地區ヲ管轄スル登記所、土地臺帳所管廳又ハ市役所、町村役場ニ對シ無償ニテ整理ニ必要ナル簿書ノ閱覽又ハ謄寫ヲ求ムルコトヲ得

第七條 參加土地所有者ハ整理施行中其ノ土地ヲ利用スルコト能ハサルモ補償ノ請求ヲ爲スコトヲ得ス但シ整理施行ノ爲溝渠、堤塘又ハ道路ノ敷地ニ充テタル土地ニ付テハ規約ヲ以テ補償ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第八條 整理施行ノ爲必要アルトキハ整理地區内ノ工作物、木石等ヲ移轉シ又ハ破毀スルコトヲ得但シ之ニ因リテ生シタル損害ヲ賠償スヘシ

第九條 整理地區ニ編入シタル土地ヲ讓受ケタル者ハ整理ニ關シテ其ノ讓渡人ノ有スル一切ノ權利義務ヲ承繼ス

第十條 整理施行ノ爲國有ニ屬スル溝渠、堤塘、道路等ノ全部又ハ一部ヲ廢止シタル場合ニ於テ其ノ不用ニ歸シタル土地ハ無償ニテ之ヲ參加土地所有者ニ交付ス

整理地區内ニ開設シタル溝渠、堤塘、道路等ニシテ前項ノ規定ニ依リテ廢止シタルモノニ代ルヘキモノハ無償ニテ之ヲ國有地ニ編入ス

第十一條 參加土地所有者ニハ從前ノ土地ノ地目、面積、學位等ヲ標準トシ換地ヲ交付スヘシ但シ地目、面積、學位等ヲ以テ相殺ヲ爲スコト能ハサル場合ニ於テ從前ノ土地ト換地トノ價額ノ差ハ金錢ヲ以テ之ヲ清算ス

第十二條 數筆ノ土地ヲ分合シテ換地ヲ交付スル場合ニ於テハ其ノ換地ハ各筆毎ニ之ヲ割當ツヘシメテ之ヲ交付スル場合ニ於テハ其ノ換地ハ各筆毎ニ之ヲ割當ツヘシメテ之ヲ交付スル一筆ノ土地ハ二市町村以上ニ涉ルコトヲ得ス

第十三條 整理施行中土地ノ區劃形狀ノ變更及道路、畦畔若ハ溝渠等ノ變更廢置ハ地目變換又ハ開墾ト看做サス

第十四條 整理地區ニ編入シタル土地ノ地租ハ其ノ地區ノ全部ニ付土地臺帳ノ整理ヲ完了スルマテ從前ノ地域、地目、地價ニ依リテ之ヲ徵收ス

第十五條 整理ヲ施行シタル土地ノ地價ハ明治三十年法律第三十九號ノ規定ニ依リテ之ヲ定ム

三十年法律第三十九號ハ本願ニ載ス



第十六條 整理施行ヲ爲シタル爲土地又ハ建物ニ付登記又ハ登錄ヲ爲ストキハ登錄稅ヲ免除ス

第十七條 本法ニ於テ參加土地所有者ト稱スルハ整理地區内ニ於テ第五條ノ土地ニアラサル土地ヲ所有スル者ヲ謂フ

第十八條 整理地區ノ屬スル市町村及其ノ鄰接市町村ニ住所ヲ有セサル參加土地所有者ハ其ノ市町村内ニ住所ヲ有スル者ニ委任シテ整理施行ニ關スル一切ノ行爲ヲ代理セシムルコトヲ得  
參加土地所有者前項ノ代理人ヲ定メタルトキハ發起人又ハ整理委員ニ其ノ氏名住所ヲ通知スヘシ  
代理人ハ二人以上ノ參加土地所有者ヲ代理スルコトヲ得ス

第十九條 發起人又ハ整理委員ハ第二十二條第二十六條第四十條及第四十八條ノ認可アリタルトキハ其ノ旨ヲ公告シ且之ヲ第四條ニ依ル建物所有者及土地又ハ建物ニ付登記ヲ爲シタル第三權利者ニ通知スヘシ第三十條乃至第三十二條ノ命令アリタルトキ亦同シ

第二章 發起及監督

第二十條 整理施行ヲ發起スルニハ左ノ條件ヲ具備スルコトヲ要ス

- 一 整理地區内ニ於ケル土地所有者ノ三分ノ二以上ノ同意アルコト
- 二 整理地區内ニ於テ同意者ノ所有スル土地ノ面積整理地區ノ總面積ノ三分ノ二以上ナルコト
- 三 整理地區内ニ於テ同意者ノ所有スル土地ノ地價額整理地區ノ地價總額ノ三分ノ二以上ナルコト

前項ノ條件ヲ具備シタルトキハ發起人ハ整理施行ヲ發起スル旨ヲ市町村長ニ届出ヘシ

第二十一條 發起人ハ發起ノ爲必要アルトキハ市町村長ノ認許ヲ得テ他人ノ土地ニ立入ルコトヲ得但シ之ニ因リテ生シタル損害ヲ賠償スヘシ

第二十二條 發起人ハ設計書及規約ヲ作り地方長官ヲ經由シテ之ヲ農商務大臣ニ差出シ發起ノ認可ヲ申請スヘシ

第二十三條 設計書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 整理ニ因リテ得ヘキ利益
  - 二 整理施行ノ方法及順序
  - 三 整理地區及之ニ鄰接スル土地ノ現形圖
  - 四 整理豫定圖
  - 五 工事ノ著手及竣成ノ時期
  - 六 整理費用及夫役ノ豫算
- 第二十四條 規約ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ
- 一 整理總會ノ招集及會議ノ方法
  - 二 整理委員ノ員數、職務及職務執行方法
  - 三 補償金評定ノ標準
  - 四 補償金評定ノ標準
  - 五 發起及整理ノ費用並夫役ノ賦課徵收方法



六 整理中土地使用ノ方法

七 模地割當及増歩地處分ノ方法

第二十五條 發起ノ認可アリタルトキハ發起人ハ遲滯ナク創業總會ヲ招集シテ設計書及規約ノ議定ヲ求ムヘシ

第二十六條 創業總會ニ於テ設計書及規約ヲ議定シタルトキハ發起人ハ地方長官ヲ經由シテ農商務大臣ニ之ヲ差出シ整理施行ノ認可ヲ申請スヘシ

第二十七條 整理施行ノ認可アリタルトキハ發起人ハ遲滯ナク創業總會ヲ招集スヘシ此ノ總會ニ於テハ參加土地所有者整理委員ヲ互選ス

第二十八條 參加土地所有者ハ整理施行ノ認可ニ對シテ異議ヲ述フルコトヲ得ス但シ第三條第一項ノ規定ニ違反シ又ハ同條第二項ノ規定ニ依リ整理地區ニ編入シタル土地ノ所有者ハ認可公告ノ日ヨリ三十日以内ニ農商務大臣ニ訴願ヲ爲スコトヲ得

訴願ノ裁決前ニ於テハ整理工事ニ著手スルコトヲ得ス

第二十九條 整理施行ノ認可アリタルトキト雖第三條第二項ノ規定ニ依リ整理地區ニ編入シタル土地アルトキハ認可公告ノ日ヨリ三十日ヲ經過スルニアラサレハ整理工事ニ著手スルコトヲ得ス

第三十條 農商務大臣必要ト認ムルトキハ設計書又ハ規約ノ變更ヲ命スルコトヲ得

第三十一條 設計書ニ定メタル工事著手ノ期限後十二箇月以内ニ工事ニ著手セザルトキハ農商務大臣ハ整理施行ノ認可ヲ取消スコトヲ得

第三十二條 農商務大臣必要ト認ムルトキハ一時整理工事ノ停止ヲ命スルコトヲ得

第三章 總會

第三十三條 總會ハ參加土地所有者ヲ以テ之ヲ組織ス

第三十四條 總會ヲ招集スルニハ會日ヨリ五日前ニ各參加土地所有者ニ通知ヲ發スヘシ  
前項ノ通知ニハ總會ノ目的及ヒ總會ニ於テ決議スヘキ事項ヲ記載スヘシ

參加土地所有者ハ前二項ノ手續ニ反シテ爲シタル決議ニ對シ異議ニ述フルコトヲ得但シ其ノ決議ノ日ヨリ三十日ヲ經過シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三十五條 總會ハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除ク外整理委員之ヲ招集ス

第三十六條 參加土地所有者ノ五分ノ一以上ニ當ル者又ハ整理地區ノ總面積若ハ地價總額ノ五分ノ一以上ニ當ル參加土地所有者ハ會議ノ目的及其ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ提出シテ總會ノ招集ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ請求アリタルトキハ發起人又ハ整理委員ハ十四日以内ニ總會ヲ招集スヘシ

第三十七條 各參加土地所有者ハ一箇ノ議決權ヲ有ス

前項ノ規定ハ規約ヲ以テ一人ニ付二箇以上ノ議決權ヲ有セシムルコトヲ妨ケス但シ其ノ議決權ハ議決權總數ノ五分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ス

第三十八條 整理地區ニ編入シタル土地數人ノ共有ニ屬スルトキハ其ノ共有者ハ參加土地所有者ノ權利ヲ行フヘキ者一人ヲ定ムヘシ



第三十九條 農商務大臣ノ命令ニ依ラスシテ設計書若ハ規約ヲ變更シ又ハ整理施行ヲ停止若ハ廢止  
 セントスルトキハ總會ハ決議ヲ經ヘシテ  
 前項ニ依リ整理施行ノ停止若ハ廢止ノ決議ヲ爲ストキハ同時ニ其ノ停止中若ハ廢止後ノ處分方法  
 ヲ決議スヘシ

第四十條 前條ノ決議アリタルトキハ整理委員ハ地方長官ヲ經由シテ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第四十一條 創業總會ノ決議並第三十九條、第四十七條及第五十三條ノ決議ヲ爲スニハ第二十條第  
 一項ノ條件ヲ具備スルヲ要ス

第四章 整理委員

第四十二條 整理委員三人以上ナルトキハ委員長一人ヲ互選スヘシ  
 委員長ハ整理委員ヲ代表ス

第四十三條 整理委員ハ規約ニ定メタル職務ヲ執行スルニ付參加土地所有者ヲ代表ス

第四十四條 整理委員ハ設計書及規約ノ定ムル所ニ依リ整理施行ノ責ニ任ス

第四十五條 整理委員ハ設計書、規約及總會ノ決議録ヲ備ヘ置クヘシ  
 參加土地所有者及第三權利者ハ前項ノ書類ノ閲覧ヲ求ムルコトヲ得

第四十六條 農商務大臣ハ何時ニテモ整理委員ヲシテ整理事業ニ關スル報告ヲ爲サシムルコトヲ  
 得

第四十七條 整理工事完了シタルトキハ整理委員ハ第十一條ノ處分及増歩地ノ處分ニ關シ整理總會

ノ決議ヲ經ヘシ

第四十八條 前條ノ決議アリタル時ハ整理委員ハ地方長官ヲ經由シテ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第四十九條 所有權ニ關スル訴訟ノ目的タル土地ヲ整理地區ニ編入シ又ハ整理地區ニ編入シタル土  
 地其ノ所有權ニ關スル訴訟ノ目的ト爲リタル場合ニ於テ其ノ土地ノ所有者第十一條ノ規定ニ依リ  
 補償トシテ金銭ヲ受取ルヘキトキハ整理委員ハ當事者ノ請求ニ因リ其ノ金額ヲ供託スヘシ

第五十條 整理施行ノ爲土地又ハ建物ニ付登記又ハ登録ヲ爲ス場合ニ於テハ整理委員ハ參加土地所  
 有者ニ代リテ其ノ手續ヲ爲スヘシ

第五十一條 整理事業完了シタルトキハ整理委員ハ事業報告書及收支決算書ヲ作り整理總會ノ承認  
 ヲ求ムヘシ

整理總會前項ノ承認ヲ爲シタルトキハ整理委員ハ遲滞ナク地方長官ヲ經由シテ前項ノ書類ヲ農商  
 務大臣ニ差出スヘシ

第五十二條 整理委員其ノ職務ヲ終リタルトキハ整理ニ關スル一切ノ書類ヲ市町村長ニ引渡スヘシ

前項ノ書類ノ保存期間ハ農商務大臣之ヲ定ム

第五十三條 整理委員ノ選任及解任ハ總會ノ決議ニ依ル

第五十四條 農商務大臣必要ト認ムルトキハ整理委員ノ改選ヲ命スルコトヲ得

第五十五條 整理委員ハ總會ノ決議ヲ經テ特別ノ學術技能アル者ヲ協議員ト爲スコトヲ得  
 協議員ハ總會ニ出席シテ意見ヲ述フルコトヲ得



第五章 第三權利者

第五十六條

第三權利者ハ整理ノ施行ニ對シテ異議ヲ述ブルコトヲ得

第五十七條

換地ハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除ク外從前ノ土地ニ關スル物權又ハ債權ノ目的タ

ルモノトス

整理施行ハ從前ノ土地ニ關スル登記ノ順位ニ影響ヲ及ボサス

第五十八條

整理地區ニ編入シタル土地ニシテ先取特權、質權又ハ抵當權ノ目的タル場合ニ於テ其

ノ所有者第十一條ノ規定ニ依リ補償トシテ金錢ヲ受取ルヘキトキハ整理委員ハ其ノ金額ヲ供託ス

ヘシ  
先取特權者、質權者又ハ抵當權者ハ前項ノ規定ニ依リテ供託シタル金錢ニ對シテモ其ノ權利ヲ行

フコトヲ得

第五十九條

質借地整理地區ニ編入セラレタル場合ニ於テ整理施行ノ爲質借ヲ爲シタル目的ヲ達ス

ルコト能ハサルトキハ質借人ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得但シ第四十八條ノ認可ノ公告アリタル

日ヨリ三十日ヲ經過シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ場合ニ於テ各當事者ハ相手方ニ對シテ生シタル損害ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得

第六十條

質借地整理地區ニ編入セラレタル場合ニ於テ整理施行ノ爲其ノ土地ヲ利用スルコト能ハ

サルトキハ質借人ハ質借人ニ對シテ借貸ノ減額又ハ前拂シタル借貸ノ相當ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ

得

第六十一條

整理地區ニ編入シタル土地ニ地上權者又ハ永小作權者アル場合ニ於テ整理施行ノ爲其

ノ權利ヲ設定シタル目的ヲ達スルコト能ハサルトキハ地上權者又ハ永小作權者ハ其ノ權利ヲ拋棄

スルコトヲ得

第六十二條

民法第二百六十八條第一項但書ノ規定ハ地上權又ハ永小作權ノ拋棄ニ之ヲ準用ス

第五十九條第一項但書ノ規定ハ地上權又ハ永小作權ノ拋棄ニ之ヲ準用ス  
第六十二條 第六十條ノ規定ハ地上權及永小作權ニ之ヲ準用ス

第六十三條

整理地區ニ編入シタル土地ノ上ニ存スル地役權ハ整理施行ノ後仍其ノ土地ノ上ニ存ス

ル地役權者ハ整理施行ノ爲其ノ權利ヲ行使スル利益ヲ受クルコトヲ要セサルニ至リタルトキハ其ノ

地役權ハ消滅ス

第六十四條

整理施行ノ爲從前ト同一ノ利益ヲ受クルコト能ハサルニ至リタル地役權者ハ其ノ利益ヲ保存スル

範圍内ニ於テ地役權ノ設定ヲ要求スルコトヲ得  
第六章 費用  
第六十四條 費用及夫役ハ規約ノ定ムル所ニ依リ參加土地所有者之ヲ負擔ス  
第六十五條 參加土地所有者費用ヲ完納セサルトキハ市町村長ハ整理委員ノ請求ニ因リ市町村稅徵



參加土地所有者夫役ヲ供給セサルトキハ整理委員ハ金額ニ算出シテ之ヲ徵收ス此ノ徵收ニ付テ亦前項ノ規定ニ依ル

第七章 罰則

第六十六條 發起人又ハ整理委員左ノ各號ニ該當スル場合ニ於テハ二圓以上五十圓以下ノ過料ニ處ス

一 第十九條ノ規定ニ違反シテ公告又ハ通知ヲ爲スコトヲ怠リタルトキ

二 第二十八條第一項又ハ第二十九條ノ規定ニ違反シテ整理工事ニ著手シタルトキ

三 第三十六條第二項ノ規定ニ違反シテ總會ヲ招集セサルトキ

四 第三十九條及第四十條ノ手續ニ依ラスシテ整理施行ヲ停止シ又ハ廢止シタルトキ

第六十七條 前條ニ定メタル過料ニ付テハ非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ヲ準用ス

第六十八條 整理施行ノ爲設ケタル標石又ハ標杭ヲ移轉シ又ハ毀壞シタル場合ニ於テ刑法第四百二十條ニ該當セサル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第八章 附則

第六十九條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七十條 整理地區ニ編入シタル土地ノ登記ニ付テハ勅令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第七十一條 北海道、沖繩縣及市制、町村制ヲ施行セサル島嶼ノ耕地整理ニ付テハ勅令ヲ以テ特別ノ

第三十三號勅令  
第三十四號勅令  
第三十五號勅令  
第三十六號勅令  
第三十七號勅令  
第三十八號勅令  
第三十九號勅令  
第四十號勅令  
第四十一號勅令  
第四十二號勅令  
第四十三號勅令  
第四十四號勅令  
第四十五號勅令  
第四十六號勅令  
第四十七號勅令  
第四十八號勅令  
第四十九號勅令  
第五十號勅令  
第五十一號勅令  
第五十二號勅令  
第五十三號勅令  
第五十四號勅令  
第五十五號勅令  
第五十六號勅令  
第五十七號勅令  
第五十八號勅令  
第五十九號勅令  
第六十號勅令  
第六十一號勅令  
第六十二號勅令  
第六十三號勅令  
第六十四號勅令  
第六十五號勅令  
第六十六號勅令  
第六十七號勅令  
第六十八號勅令  
第六十九號勅令  
第七十號勅令  
第七十一號勅令  
第七十二號勅令  
第七十三號勅令  
第七十四號勅令  
第七十五號勅令  
第七十六號勅令  
第七十七號勅令  
第七十八號勅令  
第七十九號勅令  
第八十號勅令  
第八十一號勅令  
第八十二號勅令  
第八十三號勅令  
第八十四號勅令  
第八十五號勅令  
第八十六號勅令  
第八十七號勅令  
第八十八號勅令  
第八十九號勅令  
第九十號勅令  
第九十一號勅令  
第九十二號勅令  
第九十三號勅令  
第九十四號勅令  
第九十五號勅令  
第九十六號勅令  
第九十七號勅令  
第九十八號勅令  
第九十九號勅令  
第一百號勅令

規定ヲ設クルコトヲ得

○宅地組換法 明治三十二年三月 法律第六十二號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル宅地組換法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

宅地組換法

第一條 郡村宅地ヲ市街宅地ニ市街宅地ヲ郡村宅地ニ組換ヲ要スルトキハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二條 前條ニ依リ地目ヲ組換ヘタル土地ハ其ノ年ヨリ組換地目ノ地租定率ニ依リ其ノ地租ヲ徵收ス

(宅地組換ノ勅令ハ略ス)

○土地收用法 明治三十三年三月 法律第二十九號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル土地收用法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

土地收用法

第一章 總則



- 第二章 事業ノ準備
- 第三章 事業ノ認定
- 第四章 収用ノ手續
- 第五章 収用審査會
- 第六章 損失ノ補償
- 第七章 収用ノ效果
- 第八章 費用ノ負擔
- 第九章 監督、強制及罰則
- 第十章 訴願及訴訟

附則

土地收用法

第一章 總則

- 第一條 公共ノ利益ト爲ルヘキ事業ノ爲之ニ要スル土地ヲ収用又ハ使用スルノ必要アルトキハ其ノ土地ハ本法ノ規定ニ依リ之ヲ収用又ハ使用スルコトヲ得
- 本法ニ於テ使用ト稱スルハ權利ノ制限ヲ包含ス
- 第二條 土地ヲ収用又ハ使用スルコトヲ得ル事業ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノコトヲ要スルナ
- 一 國防其ノ他軍事ニ關スル事業

- 二 官廳又ハ公署建設ニ關スル事業
- 三 教育、學藝又ハ慈善ニ關スル事業
- 四 鐵道、軌道、道路、橋梁、河川、堤防、砂防、運河、用惡水路、溜池、船渠、港灣、埠頭、水道、下水、電氣機、瓦斯燈又ハ火葬場ニ關スル事業
- 五 衛生、測候、航路標識、防風、防火、水害豫防其ノ他公用ノ目的ヲ以テ國府縣郡市町村其ノ他公共團體ニ於テ施設スル事業
- 第三條 本法又ハ本法ニ基ツキテ發スル命令ニ規定シタル起業者ノ權利義務ハ事業ト共ニ其ノ承繼人ニ移轉ス
- 第四條 本法又ハ本法ニ基ツキテ發スル命令ノ規定ニ依リ爲シタル手續其ノ他ノ行爲ハ起業者、土地所有者又ハ關係人ノ承繼人ニ對シテモ其ノ效力ヲ有ス
- 第五條 本法ニ於テ土地所有者ト稱スルハ収用又ハ使用スヘキ土地ノ所有者ヲ謂フ
- 本法ニ於テ關係人ト稱スルハ収用又ハ使用スヘキ土地ニ關シテ權利ヲ有スル者ヲ謂フ
- 第十九條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後其ノ土地ニ關シテ權利ヲ取得シタル者ハ關係人ト看做サス但シ既存ノ權利ヲ承繼シタル者ハ此ノ限ニ在ラス
- 第六條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ規定シタル期間ノ計算法、通知ノ方法及書類ノ送達ニ關シテハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
- 第七條 本法ノ規定ハ水ノ使用ニ關スル權利其ノ他土地ニ關スル所有權以外ノ權利ノ収用又ハ使用



ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第八條 本法ノ規定ハ土地ニ屬スル土石砂礫ノ收用ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第二章 事業ノ準備

第九條 事業ノ準備ノ爲必要アルトキハ起業者ハ事業ノ種類及立入ルヘキ土地ノ區域ヲ定メ地方長官ノ許可ヲ得テ土地ニ立入り測量又ハ検査ヲ爲スコトヲ得但シ此ノ場合ニ於テ宮内省又ハ國ノ起業者ニ係ルトキハ宮内大臣又ハ主務大臣ハ之ヲ地方長官ニ通知スヘシ

地方長官前項ノ許可ヲ與ヘ又ハ通知ヲ受ケタルトキハ起業者、事業ノ種類及立入ルヘキ土地ノ區域ヲ公告シ又ハ之ヲ其ノ土地占有者ニ通知スヘシ

第十九條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後起業者ハ事業ノ準備ノ爲其ノ土地ニ立入り測量又ハ検査ヲ爲ス場合ニ於テハ本條ノ許可又ハ通知ヲ要セス

第十條 前條ノ場合ニ於テハ起業者ハ立入ルヘキ日ヨリ五日前ニ其ノ日時及場所ヲ市町村長ニ通知スヘシ市町村長ハ之ヲ公告シ又ハ其ノ土地占有者ニ通知スヘシ

邸内ニ立入ル場合ニ於テハ起業者ハ豫メ其ノ占有者ニ通知スヘシ

日出前日没後邸内ニ立入ル場合ニ於テハ起業者ハ特ニ行政廳ノ許可ヲ受クヘシ

第十一條 第九條ノ規定ニ依ル測量又ハ検査ノ爲必要アルトキハ起業者ハ行政廳ノ許可ヲ得テ障害物ヲ除却スルコトヲ得

スヘシ

第三章 事業ノ認定

第十二條 土地ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得ル事業ハ内閣之ヲ認定ス但シ軍機ニ關スル事業ハ此ノ限ニ在ラス

第十三條 起業者ハ内閣ノ認定ヲ受ケムトスルトキハ事業計畫書及圖面ヲ添ヘ地方長官ヲ經由シテ内務大臣ニ申請スヘシ内務大臣ハ之ヲ審査シ内閣ニ提出スヘシ

宮内省又ハ國ノ起業者ニ係ルトキハ宮内大臣又ハ主務大臣ハ事業計畫書及圖面ヲ添ヘ内務大臣ニ協議ヲ爲シ之ヲ内閣ニ提出スヘシ

第十四條 内閣カ認定ヲ爲シタルトキハ起業者及事業ノ種類並起業地ヲ公告スヘシ

第十五條 天災事變ニ際シ急施ヲ要スル事業ノ爲土地ヲ使用スルトキハ郡市長ハ其ノ事業ノ認定ヲ爲スコトヲ得

前項ノ使用ノ期間ハ六箇月ヲ超ユルコトヲ得ス

軍事ノ臨時急施ヲ要スル事業ノ爲土地ヲ使用スルトキハ主務大臣ハ使用スヘキ土地ノ區域ヲ郡市長ニ通知スヘシ

第十六條 起業者ハ郡市長ノ認定ヲ受ケムトスルトキハ事業ノ種類、使用スヘキ土地ノ區域及使用ノ期間ヲ定メ郡市長ニ申請スヘシ

第十七條 郡市長カ認定ヲ爲シタルトキハ起業者、事業ノ種類、使用スヘキ土地ノ區域及使用ノ期



間ヲ土地所有者及占有者ニ通知スヘシ  
郡市長カ第十五條第三項ノ通知ヲ受ケタルトキハ使用スヘキ土地ノ區域ヲ土地所有者及占有者ニ通知スヘシ

第十八條 起業者カ内閣ノ認定ノ公告ノ後三箇年内ニ第十九條ノ申請ヲ爲ササルトキハ其ノ認定ハ效力ヲ失フ

第四章 收用ノ手續

第十九條 内閣ノ認定ノ公告ノ後起業者ノ申請ニ依リ地方長官ハ收用又ハ使用スヘキ土地ノ細目ヲ公告シ又ハ之ヲ土地所有者及關係人ニ通知スヘシ  
軍機ニ關スル事業ニ付テハ主務大臣ハ地方長官ニ收用又ハ使用スヘキ土地ノ細目ヲ通知シ地方長官ハ之ヲ土地所有者及關係人ニ通知スヘシ

第二十條 前條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後ハ起業者ハ其ノ土地ニ立入り土地物件ヲ調査スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ起業者ハ立入ルヘキ日ヨリ三日前ニ其ノ日時及場所ヲ其ノ土地占有者ニ通知スヘシ

第二十一條 第十九條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後起業者カ必要ト認ムルトキハ土地所有者又ハ關係人ト共ニ土地物件ニ關スル調査ヲ作ルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ土地所有者又ハ關係人カ調査ヲ作ルコトヲ拒ミタルトキハ起業者ハ市町村長ノ立會ヲ以テ之ヲ作ルコトヲ得但シ市町村長カ起業者ナルトキ又ハ起業者ニ對シ第四十條第二項ニ掲ケタル關係ヲ有スルトキハ此ノ限ニ在ラス

土地所有者又ハ關係人カ調査ノ必要ヲ認メタルトキハ前二項ノ規定ヲ準用ス  
起業者、土地所有者及關係人ハ本條ノ規定ニ依リ作リタル調査ノ記載事項ニ對シテ異議ヲ述フルコトヲ得ス

第二十二條 第十九條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後起業者ハ其ノ土地ニ關スル權利ヲ取得スル爲メ土地所有者及關係人ニ協議ヲ爲スヘシ

前項ノ協議調ハサルトキ又ハ協議ヲ爲スコト能ハサルトキハ起業者ハ收用審査會ノ裁決ヲ求ムルコトヲ得

第二十三條 收用審査會ノ裁決ヲ求メタルトキハ起業者ハ其ノ申請書ニ左ニ掲ケタル書類ヲ添ヘ地方長官ニ差出スヘシ但シ軍機ニ關スル事業ニ付テハ事業計畫書及圖面ヲ添フルコトヲ要セス

- 一 事業計畫書及圖面
- 二 市區町村別ニ左ニ掲ケタル事項ヲ記載シタル書類
  - 收用又ハ使用スヘキ土地ノ番號、地目
  - 收用又ハ使用スヘキ土地ノ面積及其ノ土地ニ在ル物件ノ種類、數量但シ土地物件カ分割ヲ



來スヘキ場合ニ於テハ其ノ全部ノ面積建坪等ヲ併記スヘシ

損失補償ノ見積金額及内譯

收用ノ時期又ハ使用ノ時期、期間

土地所有者及關係人ノ氏名、住所

收用審査會ノ裁決ヲ求メタルトキハ起業者ハ同時ニ土地所有者及關係人ニ通知スヘシ

第二十四條 前條ノ書類ヲ受ケタルトキハ地方長官ハ之ヲ市町村長ニ下付スヘシ市町村長ハ豫メ公告ヲ爲シ一週間之ヲ公衆ノ縦覽ニ供スヘシ

第二十五條 土地所有者及關係人ハ前條縦覽期間ノ初日ヨリ二週間内ニ地方長官ニ意見書ヲ差出スコトヲ得

第二十六條 地方長官ハ前條ノ期間ヲ經過シタル後收用審査會ヲ開クヘシ

第二十七條 收用審査會ハ開會ノ日ヨリ一週間内ニ裁決ヲ爲スヘシ但シ地方長官ハ必要ト認ムルトキハ二週間内ノ延期ヲ爲スコトヲ得

第二十八條 收用審査會ハ前條ノ期間内ニ裁決ヲ爲ササルトキハ地方長官ハ事情ヲ具シ内務大臣ノ指揮ヲ請フヘシ内務大臣ハ收用審査會ニ一定ノ期間内ニ裁決ヲ爲スヘキコトヲ命シ又ハ之ニ代テ裁決ヲ爲スヘキコトヲ地方長官ニ命スルコトヲ得

第二十九條 收用審査會カ前項ノ期間内ニ裁決ヲ爲ササルトキハ地方長官ハ之ニ代テ裁決ヲ爲スヘシ  
收用審査會カ招集ニ應セス又ハ成立セサルトキハ地方長官ハ内務大臣ノ認可ヲ得テ之

ニ代テ裁決ヲ爲スコトヲ得事業ノ急施ヲ要スルトキ亦同シ

第三十條 收用審査會カ裁決ヲ爲シタルトキハ其ノ裁決書ノ謄本ヲ添ヘ地方長官ニ報告スヘシ

第三十一條 前條ノ報告ヲ受ケ又ハ收用審査會ニ代テ裁決ヲ爲シタルトキハ地方長官ハ裁決書ノ謄本ヲ起業者、土地所有者及關係人ニ送達スヘシ

第三十二條 軍機ニ關スル事業又ハ内閣ノ認定シタル事業ノ施行ニ因リテ必要ヲ生シタル道路、堤防具ノ他公用ニ供スル工作物ノ新築、改築又ハ増築ノ爲土地ヲ收用又ハ使用スルトキハ地方長官ノ許可ヲ得テ直ニ本章ノ規定ニ依ルコトヲ得

第三十三條 郡市長カ認定ヲ爲シ又ハ第十五條第三項ノ通知ヲ受ケタルトキハ第十七條ノ通知ノ後起業者ヲシテ直ニ其ノ土地ヲ使用セシムルコトヲ得但シ損失ノ補償ニ關シテハ本法ノ規定ニ依ルヘシ

第三十四條 起業者カ第十九條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後一箇年内ニ收用審査會ノ裁決ヲ求メサルトキハ其ノ公告又ハ通知ハ效力ヲ失フ

第五章 收用審査會

第三十五條 收用審査會ハ内務大臣ノ監督ニ屬シ左ニ掲ケタル事項ヲ定メテ收用又ハ使用ノ裁決ヲ爲スモノトス

- 一 收用又ハ使用スヘキ土地ノ區域
- 二 損失ノ補償



三 收用ノ時期又ハ使用ノ時期、期間

起業者ノ申請カ本法又ハ本法ニ基ツキテ發スル命令ノ規定ニ違反スルトキハ收用審査會ハ却下ノ裁決ヲ爲スヘシ

第三十六條 收用審査會ハ會長一人委員六人ヲ以テ之ヲ組織ス

第三十七條 會長ハ地方長官ヲ以テ之ニ充ツ議事其ノ他ノ會務ヲ統理シ會ヲ代表ス

第三十八條 委員ハ高等文官及府縣名譽職參事會員各三人ヲ以テ之ニ充ツ

高等文官ニシテ委員タルヘキ者ハ内務大臣之ヲ命シ府縣名譽職參事會員ニシテ委員タルヘキ者ハ其ノ互選トス

第三十九條 收用審査會ノ委員半數以上出席スルニ非サルハ會議ヲ開クコトヲ得ス

收用審査會ノ議事ハ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ會長ノ決スル所ニ依ル

第四十條 委員カ起業者、土地所有者又ハ關係人ナルトキハ收用審査會ノ議事ニ參與スルコトヲ得ス

委員カ起業者、土地所有者若ハ關係人ノ配偶者、四親等内ノ親族、戸主、家族、代理人及保佐人ナルトキ又ハ起業者、土地所有者若ハ關係人タル市町村ノ市參事會員、町村長、合名會社ノ社員、合資會社及株式合資會社ノ無限責任社員、株式會社ノ取締役及監査役其ノ他法人ノ理事及監事ナルトキ亦前項ニ同シ  
本條ノ規定ニ依リ委員ノ數減少シテ前條第一項ノ數ヲ得サルトキハ地方長官ハ左ニ掲ケタル順序

ニ從ヒ其ノ本條ノ規定ニ抵觸セサル者ノ内ヨリ臨時ニ指名シテ之ヲ補充スヘシ

一 府縣名譽職參事會員

二 府縣名譽職參事會員ノ補充員

三 府縣會議員

第四十一條 收用審査會ノ裁決ハ起業者、土地所有者及關係人ノ申立タル範圍ヲ超ユルコトヲ得ス

第四十二條 收用審査會ハ必要ト認ムルトキハ鑑定人ヲ選ビ其ノ意見ヲ聽クコトヲ得  
前項ノ鑑定人ニ付テハ第四十條ノ規定ヲ準用ス

第四十三條 收用審査會ハ必要ト認ムルトキハ起業者、土地所有者又ハ關係人ヲ呼出シ其ノ意見ヲ聽クコトヲ得  
收用審査會ハ事實參考ノ爲必要ト認ムルトキハ收用又ハ使用スヘキ土地以外ノ土地所有者ヲ呼出シ其供述ヲ聽クコトヲ得

第四十四條 裁決ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其理由ヲ附シ會長之ニ署名捺印スヘシ  
裁決書ノ謄本ニハ會ノ印章ヲ捺捺スヘシ

第四十五條 鑑定人及事實參考人ハ旅費及手當ヲ請求スルコトヲ得

第四十六條 二府縣以上ニ涉ル事業ニ係ルトキハ關係地方長官ハ勅令ノ定ムル所ニ從ヒ合同シテ收用審査會ヲ開クコトヲ得



第六章 損失ノ補償

第四十七條 土地所有者及關係人ノ受クル損失ハ起業者之ヲ補償スヘシ

損失ノ補償ハ各人別ニ之ヲ爲スヘシ但シ其ノ各人別ニ見積リ難キトキハ此ノ限ニ在ラス

第四十八條 收用スヘキ土地物件ニ付テハ相當ノ價格ニ依リ其ノ損失ヲ補償スヘシ

使用スヘキ土地ニ付テハ其ノ土地及近傍類地ノ料金ニ依リ其ノ損失ヲ補償スヘシ

第四十九條 土地ノ一部ヲ收用又ハ使用スルニ因リテ殘地ノ價格ヲ減シ其ノ他殘地ニ關シ損失ヲ生スヘキトキハ其ノ損失ヲ補償スヘシ

第五十條 土地ノ一部ヲ收用スルニ因リテ殘地ヲ從來用ヒタル目的ニ供スルコト能ハサルトキハ土地所有者ハ其ノ全部ノ收用ヲ請求スルコトヲ得

第五十一條 收用又ハ使用スヘキ土地ニ在ル物件ハ移轉料ヲ補償シテ移轉セシムヘシ但シ物件ノ分割ヲ來シ其ノ全部ヲ移轉スルニ非サレハ從來用非タル目的ニ供スルコト能ハサルトキハ所有者ハ其ノ全部ノ移轉料ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ物件ヲ移轉スルニ因リテ從來用非タル目的ニ供スルコト能ハサルトキハ所有者ハ其ノ收用ヲ請求スルコトヲ得

第五十二條 前條ノ移轉料ニシテ其ノ物件ノ相當價格ヲ超ユル場合ニ於テハ起業者ハ其ノ收用ヲ請求スルコトヲ得

第五十三條 土地ヲ收用又ハ使用スルニ因リテ通路、溝渠、塙柵其ノ他ノ工作物ノ新築、改築、増

築又ハ修繕ヲ爲ス必要ヲ生スルトキハ其ノ費用ヲ補償スヘシ

第五十四條 前數條ニ規定シタルモノノ外土地ヲ收用又ハ使用スルニ因リテ土地所有者及關係人ノ通常受クヘキ損失ハ之ヲ補償スヘシ

第五十五條 土地ノ使用カ三箇年以上ニ亘ルトキ又ハ土地ノ形質ヲ變更スルトキ若ハ使用スヘキ土地ニ建物アルトキハ所有者ハ其ノ土地ノ收用ヲ請求スルコトヲ得

第五十六條 第十九條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後行政廳ノ許可ヲ得シテ土地ノ形質ヲ變更シ又ハ工作物ノ新築、改築、増築若ハ大修繕ヲ爲シ又ハ物件ヲ附加増置シタル土地所有者又ハ關係人ハ之ニ關スル損失ノ補償ヲ請求スルコトヲ得

第五十七條 第九條又ハ第二十條ノ規定ニ依リ土地ニ立入り測量、検査又ハ調査ヲ爲スニ因リテ他人ニ及ホシタル損失ハ起業者之ヲ補償スヘシ

第五十八條 第十九條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後起業者カ事業ヲ廢止變更シタルニ因リテ土地所有者又ハ關係人ノ受クタル損失ハ之ヲ補償スヘシ

第五十九條 前二條ノ補償ニ付キ協議調ハザルトキハ地方長官ノ決定ヲ求ムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第三十二條及第四十一條乃至第四十五條ノ規定ヲ準用ス

第七章 收用ノ效果

第六十條 起業者ハ收用又ハ使用ノ時期迄ニ補償金ヲ拂渡スヘシ

左ニ掲ケタル場合ニ於テハ補償金ヲ供託スルコトヲ得



一 補償金ヲ受クヘキ者カ其ノ受領ヲ拒ミタルトキ又以テ受領スルコト能ハサルトキ

二 起業者カ過失ナクシテ補償金ヲ受クヘキ者ヲ確知スルコト能ハサルトキ

三 起業者カ收用審査會ノ裁決中補償金額ノ決定ニ對シテ不服アルトキ但シ補償金ヲ受クヘキ者ノ請求アルトキハ起業者ハ自己ノ見積金額ヲ拂渡スヘシ

四 起業者カ補償金拂渡ノ差押又ハ假差押ヲ受ケタルトキ

第六十一條 土地所有者及關係人ハ收用又ハ使用ノ時期迄ニ土地物件ヲ引渡シ又ハ物件ヲ移轉スヘシ但シ左ニ掲ケタル場合ニ於テハ起業者ノ請求ニ依リ市町村長ハ土地所有者及關係人ニ代ルモノトス

一 土地所有者及關係人カ土地物件ヲ引渡シ又ハ物件ヲ移轉スルコト能ハサルトキ

二 起業者ノ過失ナクシテ土地所有者及關係人ヲ確知スルコト能ハサルトキ

第六十二條 起業者カ收用又ハ使用ノ時期迄ニ補償金ヲ拂渡又ハ供託ヲ爲ササルトキハ收用審査會ノ裁決ハ其ノ效力ヲ失フ但シ土地所有者及關係人カ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ妨ケス

第六十三條 土地物件ヲ收用スルトキハ收用ノ時期ニ於テ所有權ハ起業者之ヲ取得シ其ノ他ノ權利ハ消滅ス

土地ヲ使用スルトキハ其ノ權利ハ使用ノ時期ニ於テ起業者之ヲ取得シ其ノ他ノ權利ハ使用ノ期間其ノ行使ヲ停止セラル但シ使用ヲ妨ケサルモノハ此ノ限ニ在ラス

第六十四條 收用審査會ノ裁決ノ後收用又ハ使用スヘキ土地物件カ土地所有者又ハ關係人ノ責ニ歸

スヘカラサル事由ニ因リテ滅失又ハ毀損シタルトキハ其ノ滅失又ハ毀損ハ起業者ノ負擔ニ歸ス

第六十五條 先取特權、質權又ハ抵當權ハ其ノ目的物ノ收用又ハ使用ニ因リテ債務者カ受クヘキ補償金ニ對シテモ之ヲ行フコトヲ得但シ其拂渡前ニ差押ヲ爲スヘシ

第六十六條 收用ノ時期ヨリ二十箇年內ニ事業ノ廢止其ノ他ノ事故ニ因リテ收用シタル土地ノ全部又ハ一部カ不用ニ歸シタルトキハ舊所有者又ハ其ノ相續人ハ補償價格ヲ以テ之ヲ買受ルコトヲ得但シ第五十條ノ規定ニ依リテ收用シタル殘地ハ其ノ接續部分ノ不用ニ歸シタル時ニ非サレハ之ヲ買受ルコトヲ得ス

前項ノ場合ニ於テ買受ハ第三者ニ對シテモ其ノ效力ヲ有ス

第一項ノ期間內ニ於テ收用シタル土地ヲ他ノ軍機ニ關スル事業又ハ内閣ノ認定シタル事業ニ供スルトキハ不用ニ歸シタルモノト看做サス

第六十七條 前條ノ不用ノ土地アルトキハ起業者ハ舊所有者又ハ其ノ相續人ニ通知スヘシ但シ起業者ノ過失ナクシテ之ヲ確知スルコト能ハサルトキハ少クモ三回ノ公告ヲ爲スヘシ

前項ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ二箇月內又ハ第三回ノ公告終了ノ日ヨリ六箇月內ニ舊所有者又ハ其ノ相續人カ買受ノ通知ヲ爲ササルトキハ其權利ヲ失フ

第八章 費用ノ負擔

第六十八條 起業者、土地所有者及關係人カ本法又ハ本法ニ基ツキテ發スル命令ニ規定シタル手續其ノ他ノ行爲ヲ爲シ又ハ義務ヲ履行スル爲ニ要シタル費用ハ各其ノ負擔トス



第六十九條 收用審査會ニ要シタル費用ハ命令ヲ以テ別ニ負擔者ヲ定メタルモノヲ除クノ外府縣ノ負擔トス第五十九條ノ場合ニ要シタル費用ニ付テ亦同シ

第七十二條ノ規定ニ依リ收用審査會ノ裁決ヲ取消シタル場合ニ於テ更ニ開クヘキ收用審査會ニ要シタル費用ハ之ヲ起業者、土地所有者及關係人ニ負擔セシムルコトヲ得ス

第七十條 第七十三條第一項ノ規定ニ依リ地方長官カ義務者ノ爲スヘキ事項ヲ自ラ執行シ又ハ他人ヲシテ執行セシメタル爲ニ要シタル費用ハ府縣ノ負擔トス

府縣ハ前項ノ費用ヲ各其ノ義務者ヨリ徵收スルコトヲ得但シ其ノ義務者ノ受領スヘキ補償金ヲ以テ之ヲ充ツルコトヲ得

第七十一條 土地所有者又ハ關係人ノ負擔スヘキ費用ハ第六十一條但書ノ場合ニ於テハ市町村ノ負擔トス

前項ノ場合ニ於テハ前條第二項ノ規定ヲ準用ス

第九章 監督強制及罰則

第七十二條 收用審査會カ其ノ權限ヲ越エ又ハ法令ノ規定ニ違反シテ爲シタル裁決ハ内務大臣之ヲ取消スコトヲ得

第七十三條 義務者カ本法又ハ本法ニ基ツキテ發スル命令ノ規定ニ依ル義務ヲ履行セス又ハ之ヲ履行スルモ一定ノ期間内ニ終了スル見込ナキトキハ地方長官ハ自ラ之ヲ執行シ又ハ他人ヲシテ之ヲ執行セシムルコトヲ得

義務者カ本法又ハ本法ニ基ツキテ發スル命令ノ規定ニ依ル義務ヲ履行セサル場合ニ於テ前項ノ規定ニ依ルコト能ハサルトキハ地方長官ハ直接ニ之ヲ強制スルコトヲ得

第七十四條 前章ノ規定ニ依リ私人ノ負擔スヘキ費用ヲ支出セサル者アルトキハ行政廳ハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得

前項ノ費用ニ付テハ行政廳ハ國稅ニ次キ先取特權ヲ有ス

第七十五條 收用審査會員人ノ囑託ヲ受ケ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シタルトキハ一年以下ノ重禁錮ニ處シ四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス其ノ賄賂ヲ贈與シ又ハ贈與スルコトヲ約シタル者亦同シ

第七十六條 第十一條ノ規定ニ違反シ行政廳ノ許可ヲ得スシテ障害物ヲ除却シタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第七十七條 第九條又ハ第十條ノ規定ニ違反シ行政廳ノ許可ヲ得スシテ土地ニ立入りタル者ハ三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第七十八條 故ナク鑑定人タルコトヲ拒ミタル者又ハ鑑定人カ故ナク鑑定ヲ爲スコトヲ拒ミタルトキハ四十圓以下ノ罰金ニ處ス

第七十九條 鑑定人トシテ收用審査會ニ呼出サレタル者ハ詐偽ノ陳述ヲ爲シタルトキハ一年以下ノ重禁錮ニ處シ五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス賄賂其ノ他ノ方法ヲ以テ人ニ囑託シテ詐偽ノ鑑定ヲ爲サシメタル者亦同シ

第八十條 鑑定人又ハ第四十三條第二項若ハ第五十九條ノ規定ニ依リ呼出ヲ受ケタル者故ナク出頭



セサルトキハ二十圓以下ノ罰金ニ處ス

### 第十章 訴願及訴訟

第八十一條 收用審査會ノ裁決ニ對シテ不服アル者ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得  
收用審査會ノ違法裁決ニ由リ權利ヲ傷害セラレタリトスル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得  
前二項ノ規定ニ依ル訴願訴訟ハ裁決書謄本ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ二週間ヲ經過シタルトキハ之  
ヲ提起スルコトヲ得ス

本法ノ規定ニ依リ通常裁判所ニ出訴ヲ許シタル事項ニ關シテハ訴願又ハ行政訴訟ヲ提起スルコト  
ヲ得ス

第八十二條 收用審査會ノ裁決中補償金額ノ決定ニ對シテ不服アル者ハ通常裁判所ニ出訴スルコト  
ヲ得但シ裁決書謄本ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ三箇月ヲ經過シタルトキハ此ノ限ニ在ラス  
前項ノ訴訟ハ收用審査會ニ對シテ之ヲ提起スルコトヲ得ス

第五十九條ノ規定ニ依ル地方長官ノ決定ニ付テハ前二項ノ規定ヲ準用ス

第八十三條 本法ノ規定ニ依ル訴願訴訟ハ事業ノ進行及土地ノ收用又ハ使用ヲ停止セス

### 附則

第八十四條 本法ハ明治三十三年四月一日ヨリ施行ス

第八十五條 明治二十二年法律第十九號土地收用法ノ規定ニ依リ收用又ハ使用ニ關シテ爲シタル手  
續其ノ他ノ行爲ハ本法ノ規定ニ依リテ爲シタルモノト看做ス

明治二十二年法律第十九號土地收用法ノ規定ニ依リ收用シタル土地ニ關シテハ第六十六條ノ期間  
ハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ起算ス

明治八年太政官達第百三十二號公用土地買上規則ニ依リ買上ケ現ニ國有タル土地ハ命令ノ定ムル  
所ニ依リ本條ノ規定ヲ準用ス

第八十六條 收用審査會ノ爲スヘキ職務ハ北海道及沖繩縣ニ於テハ地方長官之ヲ行フ

郡長ノ爲スヘキ職務ハ支廳長又ハ島司ヲ置キタル地ニ於テハ支廳長又ハ島司之ヲ行ヒ支廳長又ハ  
島司ヲ置カサル地ニ於テハ支廳長又ハ島司ニ準スヘキ吏員之ヲ行ヒ支廳長又ハ島司ニ準スヘキ吏  
員ヲ置カサル地ニ於テハ町村長ニ準スヘキ吏員之ヲ行フ

市長ノ爲スヘキ職務ハ北海道及沖繩縣ニ於テ區長ヲ置キタル地ニ於テハ區長之ヲ行フ

町村長ノ爲スヘキ職務ハ町村制ヲ施行セサル地ニ於テハ町村長ニ準スヘキ吏員之ヲ行ヒ町村長ニ  
準スヘキ吏員ヲ置カサル地ニ於テハ郡長ニ準スヘキ吏員之ヲ行フ

第八十七條 明治二十二年勅令第五號東京市區改正土地建物處分規則其ノ他別段ノ定アルモノハ各  
其ノ定ムル所ニ依ル

第八十八條 明治二十二年法律第十九號土地收用法明治二十三年法律第五十四號土地收用協議會規  
則及明治三十二年法律第七十二號ハ之ヲ廢止ス

○土地收用法施行令 明治三十三年三月  
勅令第九十九號



朕土地收用法施行令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

土地收用法施行令

第一條 土地收用法第十條第三項及第十一條第一項ニ規定シタル行政廳ノ職權ハ市町村長之ヲ行フ

第二條 土地收用法第九條、第十一條又ハ第二十條ノ規定ニ依リ起業者ノ爲土地ニ立入り又ハ障害物ヲ除却スル者ハ其ノ證票ヲ携帶スヘシ

日出前日没後邸内ニ立入ル者又ハ障害物ヲ除却スル者ハ行政廳ノ許可證ヲ携帶スヘシ

第三條 起業者カ内閣ノ認定ヲ受ケムトスル場合ニ於テ起業地内ニ左ニ掲ケタル土地アルトキハ其ノ土地ニ關スル調書及圖面ヲ申請書ニ添付スヘシ

一 御陵墓地及御料地

二 國有地

三 現ニ公用ニ供スル土地

四 社寺境内地

五 名所、舊蹟及古墳墓

第四條 土地收用法第十四條ノ規定ニ依ル公告ハ官報ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第五條 内閣ノ認定ノ公告ノ後事業ヲ廢止變更シタルニ因リテ土地收用法第十九條ノ申請ヲ爲スノ必要ナキニ至リタルトキハ起業者ハ之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

地方長官前項ノ届出ヲ受ケタルトキハ之ヲ公告スヘシ

第六條 土地收用法第二十一條ノ規定ニ依リ調書ヲ作りタル者ハ之ニ署名又ハ捺印スヘシ

第七條 土地收用法第二十四條ノ規定ニ依リ公告ヲ爲シタルトキハ市町村長ハ縦覽期間ノ始期ヲ地方長官ニ報告スヘシ

第八條 土地收用法第三十二條ノ規定ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ工事計畫書及圖面ヲ添ヘ左ニ掲ケタル事項ヲ記載シ出願スヘシ

一 工事ノ種類

二 收用又ハ使用スヘキ土地ノ細目

三 其ノ必要ヲ生セシメタル事業トノ關係

本條ノ場合ニ於テハ第三條ノ規定ヲ準用ス

第九條 土地收用法第三十二條ノ規定ニ依リ許可ヲ與ヘタルトキハ地方長官ハ收用又ハ使用スヘキ土地ノ細目ト共ニ起業者及工事ノ種類ヲ公告シ又ハ之ヲ土地所有者及關係人ニ通知スヘシ

第十條 土地收用法第十九條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後事業ヲ廢止變更シタルニ因リテ土地ヲ收用又ハ使用スルノ必要ナキニ至リタルトキハ起業者ハ之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

地方長官前項ノ届出ヲ受ケタルトキハ之ヲ公告シ又ハ土地所有者及關係人ニ通知スヘシ

第十一條 收用審査會會長及委員ニハ旅費ヲ支給ス



第十二條 收用審査會會長及高等文官ニシテ委員タル者ノ旅費額及其ノ支給方法ハ内國旅費規則ノ定ムル所ニ依ル

高等文官ニ非サル委員ノ旅費額及其ノ支給方法ハ府縣制第九十四條ノ規定ニ從ヒ定ムル所ニ依ル

第十三條 鑑定人及事實參考人ノ旅費額ハ左ノ範圍内ニ於テ收用審査會ノ定ムル所ニ依ル

一 瀛車賃一哩ニ付三錢以上六錢以下

二 船賃一海里ニ付三錢以上六錢以下

三 車馬賃一里ニ付十錢以上三十錢以下

通路兩線以上アルトキハ最近ノ通路ヲ以テ旅費ヲ算定ス

第十四條 鑑定人及事實參考人ノ手當ハ一日金一圓乃至五圓ノ範圍内ニ於テ收用審査會ノ定ムル所ニ依ル

鑑定ヲ爲スニ付數多ノ時間又ハ特別ノ技能若ハ費用ヲ要スルトキハ前項ノ手當ノ外別ニ相當ノ金額ヲ給スルコトヲ得

第十五條 土地收用法第五十九條ノ規定ニ依リ地方長官カ決定ヲ爲シタル場合ニ於テハ前二條ノ旅費額及手當ハ地方長官ノ定ムル所ニ依ル

第十六條 土地收用法第五十六條ニ規定シタル行政廳ノ職權ハ地方長官之ヲ行フ但シ物件ノ附加増置ニ關シテハ之ヲ郡市長ニ委任スルコトヲ得

第十七條 土地收用法第六十七條ノ規定ニ依ル公告ハ其ノ地方ノ新聞紙ヲ以テ之ヲ爲スヘシ  
第十八條 土地收用法第七十四條ニ規定シタル行政廳ノ職權ハ同法第七十一條ノ場合ニ於テハ市町村長之ヲ行ヒ其ノ他ノ場合ニ於テハ地方長官之ヲ行フ

附則

本令ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

○土地收用法第六條ニ基ツキテ發スル命令明治三十三年三月勅令第三百號

朕土地收用法第六條ニ基ツキテ發スル命令ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 本令ハ土地收用法又ハ土地收用法ニ基ツキテ發スル命令ニ規定シタル期間ノ計算法、通知ノ方法及書類ノ送達ニ關シテ之ヲ適用ス

第二條 期間ヲ定ムル時ヲ以テシタル前キハ即時ヨリ之ヲ起算ス

第三條 期間ヲ定ムルニ日ハ週、月又ハ年ヲ以テシタルトキハ期間ノ初日ハ之ヲ算入セス但シ其ノ期間カ午前零時ヨリ始マルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ場合ニ於テハ期間ノ末日ノ終了ヲ以テ期間ノ滿了トス

第四條 期間ノ末日カ大祭日、日曜日ニ當ルトキハ期間ハ其ノ翌日ヲ以テ滿了ス但シ行政廳ニ對スル期間ハ其ノ末日カ行政廳ノ休日ニ當ルトキハ其ノ休日ノ終了シタル翌日ヲ以テ滿了



第五條 期間ヲ定ムルニ週、月又ハ年ヲ以テシタルトキハ曆ニ從ヒテ之ヲ算ス

週、月又ハ年ノ始メヨリ期間ヲ起算セサルトキハ其ノ期間ハ最後ノ週、月又ハ年ニ於テ其ノ起算日ニ應當スル日ノ前日ヲ以テ滿了ス但シ月又ハ年ヲ以テ期間ヲ定メタル場合ニ於テ最後ノ月ニ應當日ナキトキハ其ノ月ノ末日ヲ以テ滿了ス

第六條 土地收用法第十八條第二十五條及第三十四條ノ期間ハ郵便ニ依リ書類ヲ差出シタル場合ニ於テハ其ノ遞送ニ要スル日時ヲ算入セス

第七條 通知ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ但シ内務大臣カ定メタル場合ニ於テハ口頭ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第八條 書類ノ送達ニシテ送達者自ラ送達セサル場合ニ於テハ使丁又ハ書留郵便ニ依ルコトヲ得

第九條 數人カ一人ノ代理人ヲ有スル場合ニ於テ其ノ代理人ニ爲スヘキ送達ハ一通ノ書類ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

一人カ數人ノ代理人ヲ有スル場合ニ於テ其ノ代理人ニ爲スヘキ送達ハ其ノ一人ニ之ヲ爲スコトヲ得

第十條 委任ニ因ル代理人アル場合ニ於テモ其ノ委任者ニ爲シタル送達ハ其ノ効力ヲ妨ケス

第十一條 無能力者ニ對スル送達ハ其ノ法定代理人ニ之ヲ爲スヘシ但シ委任ニ因ル代理人アルトキハ此ノ限ニ在ラス

法人又ハ組合ニ對スル送達ハ其ノ代表者又ハ業務執行者ニ之ヲ爲スヘシ

前項ノ代表者又ハ業務執行者數人アル場合ニ於テハ送達ハ其ノ一人ニ之ヲ爲スコトヲ得

組合ニシテ業務執行者ヲ定メサル場合ニ於テハ送達ハ其ノ組合員ノ一人ニ之ヲ爲スコトヲ得

第十二條 現役及召集中ノ豫備、後備ノ軍籍ニ在ル下士以下ノ軍人ニ對スル送達ハ其ノ所屬ノ長官又ハ隊長ニ之ヲ爲スコトヲ得

第十三條 在監人ニ對スル送達ハ其ノ監獄ノ首長ニ之ヲ爲スヘシ

第十四條 送達ハ送達ヲ受クヘキ人ノ現所在地ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得  
前項ノ規定ハ送達ヲ受クヘキ人カ其ノ地ニ於テ住所、居所又ハ事務所ヲ有スル場合ニ於テ其ノ受領ヲ拒ミタルトキハ之ヲ適用セス

第十五條 送達ヲ受クヘキ人其ノ住所、居所又ハ事務所ニ在ラサルトキハ其ノ送達ハ現場ニ在ル成年ノ同居者又ハ雇人ニ之ヲ爲スコトヲ得

第十六條 第二項ノ場合ニ於テ代表者又ハ業務執行者事務所ニ在ラサルトキハ送達ハ現場ニ在ル他ノ役員又ハ成年ノ雇人ニ之ヲ爲スコトヲ得

前二項ノ規定ニ依リ送達ヲ爲スコト能ハサルトキハ其ノ送達ハ交付スヘキ書類ヲ其ノ地ノ市町村長ニ預ケ送達ノ告知書ヲ作リ之ヲ住所又ハ居所ノ門戸ニ貼付シ且近鄰ニ住居スル者二人以上ニ口頭ヲ以テ通知シテ之ヲ爲スコトヲ得



第十六條 法令上ノ理由ナクシテ送達書類ヲ受領セヌ又ハ受領スルコト能ハサルトキハ其ノ書類ヲ送達ノ場所ニ差置クコトヲ得此ノ場合ニ於テハ送達人ハ其ノ調書ヲ作ルヘシ

第十七條 書類ノ送達ヲ受領シタル者ハ其ノ場所及年月日時ヲ記載セル受領證ヲ交付スヘシ前項ノ受領證ヲ交付セヌ又ハ交付スルコト能ハサルトキ又ハ第十五條第三項ノ規定ニ依リ送達ヲ爲シタルトキハ送達人ハ其ノ調書ヲ作ルヘシ

第十八條 送達ヲ受クヘキ者ノ住所、居所又ハ事務所不明ナルトキハ收用又ハ使用スヘキ土地所在ノ市町村長ニ於テ之ヲ公告スヘシ

前項ノ場合ニ於テ公告ノ日ヨリ一週間ヲ經過シタルトキハ送達ヲ爲シタルモノト看做ス

第十九條 書類ノ送達ニ關スル規定ハ通知ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第二十條 訴訟及訴訟提起期間ノ計算法ハ訴訟法行政裁判法及民事訴訟法ノ規定ヲ適用ス

第二十一條 書留郵便ニ依リテ爲ス送達ニ付テハ郵便ニ關スル法令ノ規定ヲ適用ス

附則

本令ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

○土地收用法第四十六條ニ依ル合同收用審査會明治三十三年三月勅令第百一號

朕土地收用法第四十六條ニ依ル合同收用審査會ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 合同收用審査會ヲ開カムトスルトキハ關係地方長官協議ヲ爲シ内務大臣ノ認可ヲ受ク

ヘシ協議調ハサルトキハ内務大臣ノ指揮ヲ請フヘシ

第二條 合同收用審査會會長ハ開會地ノ地方長官ヲ以テ之ニ充テ其ノ委員ハ關係府縣收用審査會委員ヲ以テ之ニ充ツ

第三條 土地收用法第二十六條乃至第二十九條ニ規定シタル地方長官ノ職權ハ合同收用審査會ヲ開キタル場合ニ於テハ開會地ノ地方長官之ヲ行フ

第四條 合同收用審査會ノ費用ニシテ府縣ノ負擔スヘキモノノ中高等文官ニ非サル委員ノ旅費ハ其ノ所屬府縣ノ負擔トシ其ノ他ハ關係府縣ノ分擔トス

附則

本令ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

○土地收用法第六十九條ニ依リ發スル命令明治三十三年三月勅令第百二號

朕土地收用法第六十九條ニ依リテ發スル命令ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 收用審査會ノ費用中左ニ掲ケタルモノハ起業者ノ負擔トス

一 鑑定及事實參考人ノ旅費及手當

二 裁決書原本ノ調製費



三 郵便及電信料

四 備入料

五 其ノ他内務大臣ノ指定シタルモノ

第二條 收用審査會ノ費用中收用審査會會長及高等文官ニシテ委員タル者ノ旅費ハ所屬官廳ノ經費ヲ以テ之ヲ支辨ス

第三條 土地收用法第五十九條ノ場合ニ要シタル費用ニ付テハ前二條ノ規定ヲ準用ス

附則

本令ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

○土地收用法第八十五條第二項ニ基ツキテ發スル命令明治三十三年三月勅令第三百三號

朕土地收用法第八十五條第三項ニ基ツキテ發スル命令ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

明治八年太政官達第三百三十二號公用土地對上規則ニ依リ買上ケ引續キ國有ニ屬スル土地ニ付テハ左ノ各號ノ一ニ該當スル土地ヲ除クノ外土地收用法第八十五條第一項及第二項ノ規定ヲ準用ス

一 公用土地買上規則第四則但書又ハ第八則ノ規定ニ依ラスシテ買上ケタル土地

二 府縣郡市町村其ノ他公共團體ニ於テ土地收用法施行ノ際現ニ修理保存費ヲ負擔スル土地

三 明治三十二年勅令第三百三十三號第一條ノ規定ニ依リ帝國ノ臣民又ハ法人ニ於テ所有權ヲ取得スルコトヲ得ベキ土地

四 土地收用法施行前不用ニ歸シタル土地

五 土地收用法施行前第三者ニ讓渡スヘキ契約ヲ爲シタル土地

附則

本令ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

○土地區劃改良ニ係ル地價明治三十年四月法律第三十九號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル土地區劃改良ニ係ル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

政府ノ許可ヲ受ケ土地改良ノ爲市町村内ノ土地所有者ノ全部又ハ一部共同シテ其ノ區劃形狀ヲ變更スルトキハ其變更ニ係ル土地ノ地價ハ現地價ノ合計額ヲ毎垓相當ニ配賦シ之ヲ定ム

同一土地所有者ニシテ地積數筆ノ土地ノ區劃形狀ヲ變更スルトキ亦同シ

前二項ニ依リ政府ノ許可ヲ受ケタル土地中地目若ハ地類變換後五年、開墾著手後九年ヲ經過セザル



年ノ又ハ銀下年期、新開免租年期、地價据置年期、荒地免租年期若ハ低價年期ヲ有スルモノアルトキハ左ノ各號ノ定ムル所ニ依ル(三十二年法律第六十號ヲ以テ本項追加)

一 地目變換地ニシテ地價ノ修正ナキモノ、地類變換若ハ開墾ヲ爲シタル土地又ハ銀下年期、新開免租年期若ハ地價据置年期ヲ有スル土地ハ事業著手ノ際其ノ地ノ現況ニ依リ地價ヲ修正シ又ハ地價ヲ設定ス

二 第一號ニ依リ地價ヲ修正シ又ハ地價ヲ設定シタル土地ニ付テハ變換後六年目、開墾著手後十年目若ハ年期明ニ至リ修正地價又ハ設定地價ニ依リ地租ヲ徵收ス但シ事業竣功ニ至リタルトキハ此ノ限ニ在ラス

三 事業竣功ニ至リタルトキハ第一號ニ記載シタル土地及地目變換地ニシテ地價ノ修正アリタルモノニ付テハ修正地價又ハ設定地價ヲ以テ、荒地免租年期又ハ低價年期ヲ有スル土地ニ付テハ原地價ヲ以テ第一項ニ規定スル現地價トス

四 第一項ニ依リ地價ヲ定メタル場合ニ於テ第三號ニ依リ修正地價、設定地價又ハ原地價ヲ以テ第一項ノ現地價トシタル土地ニシテ事業竣功ノ時變換後五年、開墾著手後九年ヲ經過セサルモノ又ハ年期ノ終了セサルモノアルトキハ事業關係者ハ其ノ協議ヲ以テ殘年間修正地租若ハ低減地租ト從前ノ地租若ハ原地租トノ差額ノ負擔若ハ利益又ハ免除スヘキ地租額ノ利益ヲ受

クヘキ土地及金額ヲ定メ政府ニ申告シ其ノ金額ヲ加除シテ其ノ土地ノ地租ヲ納ムヘシ協議一致セサルトキハ政府ニ於テ之ヲ定ム

○北海道国有未開地處分法明治三十年三月法律第二十六號

沿革略記

明治五年十月第三十四號ヲ以テ北海道土地賣貸規則ヲ公布ス●十九年六月閣令第十六號ヲ以テ前則ヲ廢シ北海道土地賣下規則ヲ定ム●三十年三月法律第二十六號ヲ以テ前則ヲ廢止シ北海道国有未開地處分法ヲ制定ス

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル北海道国有未開地處分法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

北海道国有未開地處分法

第一條 北海道国有未開地ノ賣拂、付與、交換及貸付ノ處分ハ此ノ法律ニ依ル

第二條 前條ノ賣拂及貸付ハ此ノ法律ニ於テ特ニ規定スル場合ノ外競争ニ付セス

第三條 開墾牧畜若ハ植樹等ニ供セムトスル土地ハ無償ニテ貸付シ全部成功ノ後無償ニテ付與スヘシ

前項ノ貸付地面積ノ制限ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二項ノ貸付地ハ全部成功ニ至ラスト雖土地整理上支障ナシト認ムル場合ニ於テハ其ノ成功地ノ



全部若ハ一部ヲ付與スルコトヲ得

第四條 公用若ハ公共ノ利益トナルヘキ事業ニ供セムトスル土地ハ直ニ賣拂、付與又ハ有償若ハ無償ニテ貸付スルコトヲ得

第五條 市街地、市街豫定地其ノ他土地ノ狀況ニ由リ必要ト認ムル土地ハ競争ニ付シ直ニ賣拂フコトヲ得

第六條 社寺地又ハ墓地ニ供セムトスル土地其ノ他事業ノ目的ニ由リ必要ト認ムル土地ハ直ニ賣拂フコトヲ得

第七條 素地ノ儘使用セムトスル土地ハ有償若ハ無償貸付ヲナスコトヲ得

第八條 民有地ト交換スルコトヲ得ヘキ土地ハ其ノ評定價格相均キモノニ限ル

第九條 土地ノ貸付ハ左ノ期間ヲ超ユルコトヲ得ス

無償貸付 十箇年

有償貸付 十五箇年

植樹又ハ泥炭地ノ開墾ニ限リ特ニ二十箇年以内ノ期間ヲ以テ貸付スルコトヲ得

天災其ノ他避クヘカラサル事故ニ由リ貸付期間内ニ成功スルコト能ハサルトキハ貸付期間ノ半期間マテ延期スルコトヲ得

第十條 第三條ニ依リ貸付シタル土地ハ豫定ノ事業成功ノ程度ニ從ヒ隨時其ノ成否ヲ點檢シ豫定ノ如ク成功セサルトキハ未成功地ノ全部ヲ返還セシムヘシ

前項ノ場合ニ於テ拓殖上又ハ土地整理上支障アリト認ムルトキハ其ノ成功地ノ一部若ハ全部ヲ無償ニテ返還セシムルコトアルヘシ

第十一條 貸付地ニシテ公用又ハ公共ノ利益トナルヘキ事業ニ供セムトスルトキハ之ヲ返還セシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ建設物其ノ他ノ物件アルトキハ所有者ノ請求ニ由リ評定ノ上移轉料ヲ辨償シ又ハ評定價格ヲ以テ之ヲ買收シ且土地ニ對シテ費シタル直接ノ費用ハ之ヲ辨償スルモノトス但シ第三條ニ依リ貸付シタル土地ニ關シテハ其ノ評定價格土地ニ對シテ費シタル直接ノ費用ヨリ多額ナルトキハ其ノ價格ニ由リテ辨償スルモノトス

前項ニ掲クル總テノ費用ハ起業者ノ負擔トス

第十二條 左ノ場合ニ於テ天災其ノ他避クヘカラサル事故ニ由ルモノ、外賣拂、付與及貸付處分ヲ取消スモノトス但シ賣拂ニ係ルモノハ其ノ既納ノ代價ヲ還付スヘシ

一 第三條ニ依リ貸付シタル土地ニシテ一箇年以内ニ事業ニ着手セサルトキ

二 第四條及第六條ニ依リ賣拂、付與又ハ有償貸付ヲナシタル土地ニシテ三箇年以内ニ豫定ノ目的ニ使用セサルトキ

三 第四條及第七條ニ依リ無償貸付ヲナシタル土地ニシテ二箇年以内ニ豫定ノ目的ニ使用セサルトキ

第十三條 左ノ場合ニ於テ伐採シタル樹木アルトキハ其ノ相當代價ヲ辨償セシムルモノトス



一 第三條ニ依レル貸付中ノ土地ヲ自己ノ便宜ニヨリ貸付期間内ニ返還シ又ハ第十條ニ依リ返還セシメタルトキ

二 第四條及第七條ニ依リ無償ニテ貸付シタル土地ヲ豫定ノ目的ニ使用セスシテ返還シ又ハ第十條ノ處分ヲナシタルトキ

第十四條 第十條ニ依リ貸付地ヲ返還セシメ若ハ自己ノ便宜ニヨリ貸付中ノ土地ヲ返還シタル場合又ハ第十二條ニ依リ賣拂、付與及貸付處分ノ取消ヲナシタル場合ニ於テ其ノ土地ニ存在スル建設物其ノ他ノ物件アルトキハ所有者ハ行政廳ノ定メタル期間内ニ於テ之ヲ除去スヘシ若其ノ期間内ニ除去セサルトキハ其ノ物件ハ國ノ所有ニ歸ス

第十五條 左ノ貸付地ニ限リ行政廳ノ許可ヲ得テ其ノ貸付地ノ上ニ有スル權利ヲ債務ノ擔保ニ供シ又ハ賣買讓與スルコトヲ得

一 第四條及第七條ニ依レル有償貸付地

二 行政廳ニ於テ特ニ指定シタル區域内ニ於ケル貸付地

三 命令ヲ以テ定メタル事項ニ該當スル貸付地

第十六條 第三條ニ依リ貸付シタル土地ハ貸付期間滿了後一箇年以内ニ其ノ土地ノ付與ヲ請求スヘシ一箇年ヲ經過シテ請求セサルトキハ其ノ權利ヲ拋棄シタルモノトス

第十七條 第三條ニ依リ貸付ヲ受ケタル者ハ其ノ土地ノ全部ヲ成功スルニ非サレハ他ノ土地ノ無償貸付ヲ受クルヲ得ス但シ相當ノ資力アリテ成功スルヲ得ル者ト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十八條 此法律ニ依リ賣拂、付與又ハ交換シタル土地ハ其ノ民有トナリタル年ノ翌年ヨリ二十箇年ノ後ニ非サレハ地租及地方稅ヲ課セス

此ノ法律ニ依リ土地ノ付與ヲ受ケタル者ニ限リ六箇月以内ニ其ノ登記ヲ請フトキ及土地臺帳ニ登錄スルトキハ其ノ登録稅ヲ免除ス(三十二年法律第一號ヲ以テ本項追加)

第十九條 第十條及第十二條ノ處分ニ不服アル者ハ訴訟又ハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得

附 則

第二十條 此ノ法律ハ明治十九年閣令第十六號北海道土地拂下規則ニ依リ貸付中ノ土地ニ對シテモ之ヲ適用ス但シ此ノ法律施行前牧畜ノ爲ニ貸付シタル土地ニ限リ五箇年以内貸付期間ヲ延期スルコトヲ得

第二十一條 此ノ法律施行ノ爲必要ナル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十二條 明治十九年閣令第十六號北海道土地拂下規則及其ノ他此ノ法律ニ牴觸スル成規ハ此ノ法律施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第二十三條 此ノ法律ハ明治三十年四月一日ヨリ施行ス

○北海道國有未開地貸付地面積制限明治三十年四月勅令第九十八號

朕北海道國有未開地處分法第三條ニ依レル貸付地面積制限ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム



北海道國有未開地處分法第三條ニ依レル貸付地ノ面積ハ一人ニ付左ノ制限ヲ超ユルコトヲ得ス

- 一 開墾ニ供スル土地 百五十萬坪
  - 二 牧畜ニ供スル土地 二百五十萬坪
  - 三 植樹ニ供スル土地 二百萬坪
- 會社又ハ組合ニ對シテハ前項地積ノ二倍迄ヲ貸付スルコトヲ得

○

○屯田兵土地給與規則明治二十三年九月法律第七十九號  
朕屯田兵土地給與規則ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

屯田兵土地給與規則

- 第一條 屯田兵トシテ北海道ニ移住スル者ニハ一戸凡ソ一萬五千坪ノ土地ヲ給ス其下士ニ任セラレタルトキハ凡ソ五千坪ノ土地ヲ増給ス
- 屯田兵出身ニアラサル下士ニシテ屯田兵條例ニ依リ服役スル者ニハ凡ソ二萬坪ノ土地ヲ給ス
- 第二條 移住ノ屯田兵二百五十戸以内ヲ以テ屯田兵村トシ一戸凡ソ一萬五千坪ノ割合ヲ以テ戸數ニ應シ其ノ村ノ公有財産トシテ土地ヲ給ス
- 公有財産ノ管理利用並ニ開墾ノ事ハ屯田兵司令官ノ命令ヲ以テ之ヲ定ム
- 第三條 屯田兵及屯田兵村ニ給與シタル土地ハ服役中其滿期ノ年ヨリ十年間國稅及地方稅ヲ免除ス

第四條 移住ノ年ヨリ三十年間ハ屯田兵ニ給與シタル土地ノ讓渡若ハ質入借入ハ無効トス且強制執行ヲ之ニ施スコトヲ得ス

第五條 屯田兵ニ給與シタル土地ニシテ移住ノ年ヨリ三十箇年ヲ過キテ開墾セサル部分ハ沒收ス

第六條 屯田兵ニシテ召募ノ條件ニ違背シ其ノ他正當ノ理由ナクシテ兵役ノ義務ヲ履行セサルトキハ其給與シタル土地ヲ沒收ス

前項ニ依リ土地ヲ沒收スルトキハ給與ノ建物及其ノ土地ニ定著スル給與ノ物件ハ併セテ之ヲ沒收シ其ノ他ノ建物及物件ハ期限ヲ定メテ之ヲ取除カシム若期限迄ニ取除カサルトキハ競賣ニ附シ其ノ費用ヲ引去リ剩額ヲ交付ス(二十八法律第二十號ヲ以テ本項追加)

第七條 從前北海道ニ移住シタル屯田兵ニ給與ノ土地本則第一條ノ坪數ニ及ハサルモノハ之ニ滿ツル迄追給ス

其ノ屯田兵村ニハ公有財産トシテ土地ヲ給ス其坪數及管理ノ方法等ハ本則第二條ノ例ニ依ル

第八條 從前北海道ニ移住シタル屯田兵及屯田兵村ニ給與ノ土地ハ服役中及其ノ滿期ノ年ヨリ二十年間國稅及地方稅ヲ免除ス

明治十七年ヨリ同二十一年マテニ召募シタル者ニ係ルモノハ第三條ノ例ニ依ル

第九條 屯田兵死亡シ又ハ服役ヲ免セラレタルトキハ給與ノ土地ハ其ノ兵役相續人ニ其ノ所有權ヲ相續セシム(三十年法律第四十一號ヲ以テ本條以下追加)

第十條 屯田兵死亡シ又ハ服役ヲ免セラレ兵役相續人ヲ缺クトキハ其ノ給與ノ土地ハ家督相續人ニ



其ノ所有權ヲ相續セシム

前項ノ所有權ハ後日兵役ヲ相續スル者アルトキ之ヲ其ノ服役者ニ移スモノトス

第十一條 前條ノ場合ニ於テ家督相續人定マラサルトキハ其ノ間家族ヲシテ其ノ土地ヲ保管セシム

第十二條 此ノ規則中屯田兵ニ關スル規程ハ第十條第一項及第十一條ニ依リ給與ノ土地ヲ所有若クハ保管スル者ニモ之ヲ適用ス

○屯田兵給與地取扱規則 明治二十八年十一月勅令第百五十三號

朕屯田兵給與地取扱規則ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

屯田兵給與地取扱規則

第一條 屯田兵移殖地ノ區域ヲ定メントスルトキハ其ノ概測圖ヲ添ヘ陸軍大臣ヨリ之ヲ内務大臣ニ協議スヘシ

第二條 前條移殖地ノ區域定リタルトキハ陸軍大臣ハ給與地積ト其ノ區域内ニ於テ公用ニ供スヘキ地積等ヲ區分シ其ノ略圖ヲ添ヘ土地ノ引渡ヲ内務大臣ニ請求シ内務大臣ハ北海道廳長官ニ令達シ北海道廳長官ハ實測圖ヲ添ヘ之ヲ第七師團監督部長ニ引渡スヘシ (三十年勅令第百五十七號ヲ以テ條中改正)

第三條 前條土地ノ引渡ヲ受ケタルトキハ第七師團監督部長ハ屯田兵土地給與規則ニ依リ屯田兵及屯田兵村ニ給與スヘキ土地及其ノ他ノ土地ノ區畫割ヲ爲シ第七師團長ニ移シ師團長ハ官有トシテ

存置ヲ要スル土地並ニ道路堤塘溝渠等ニ充ツヘキ部分ヲ除キ其ノ他ノ土地ヲ屯田兵及屯田兵村ニ給與スヘシ (上)

第四條 第七師團監督部長ハ前條ノ區畫割ヲ爲スニ際シ道路堤塘溝渠等ノ計畫並ニ工事ノ仕様ニ關シテハ北海道廳長官ニ協議スヘシ爾後其ノ新設又ハ變更ニ於ケルモ亦同シ (上全)

第五條 第七師團長ニ於テ土地ヲ給與シタルトキハ同時ニ其ノ土地並ニ官有ニ屬スル道路堤塘溝渠等ノ明細圖面ヲ添ヘ左ノ事項ヲ北海道廳長官ニ移牒スヘシ (上全)

- 一 給與シタル年月日
- 二 給與シタル人名及其ノ住所並ニ服役滿期ノ年月
- 三 公有財産トシテ給與シタルトキハ其ノ村名並ニ當該兵村屯田兵服役滿期ノ年月
- 四 給與シタル土地ノ地名地目地積及地番號
- 五 道路堤塘溝渠等ヲ設置シタルトキハ其ノ地名地目地積及地番號

第六條 北海道廳長官前條ノ移牒ヲ受ケタルトキハ屯田兵及屯田兵村ニ給與シタル土地ヲ民有地ニ編入スヘシ

第七條 北海道廳長官ニ於テ公益ノ爲メ屯田兵移殖地ノ一部ヲ使用スルノ必要アルトキハ之ヲ第七師團監督部長ニ協議シ各其ノ所管大臣ニ具申スヘシ (三十年勅令第百五十一號ヲ以テ條中改正)

第八條 屯田兵移殖地若クハ屯田兵村内ノ道路堤塘溝渠等ノ興廢ニシテ其ノ工事兵村ノ利害ニ止ラサルモノハ北海道廳長官之ヲ施行ス



第九條 屯田兵土地給與規則第五條ニ該當スル土地ノ沒收ハ北海道廳長官之ヲ施行ス

同規則第六條ニ該當スル土地ノ沒收ハ第七師團長之ヲ施行ス(三十年勅令四百五十條ヲ以テ條中改正)

第十條 北海道廳長官本則第六條ノ手續ヲ履行シ若クハ第九條第一項ノ處分ヲ爲シタルトキハ第七師團長ニ通知シ所管郡區長ニ示達スヘシ(上全)

第十一條 左ニ掲クル土地其ノ所要ヲ終リタルトキ又ハ本則第九條第二項ノ處分ヲ爲シタルトキ其ノ土地ハ公有財産トシテ兵村ニ給與スルコトヲ得但公有財産トシテ既ニ給與シタル土地ヲ併セ屯田兵土地給與規則第二條ノ制限ヲ超過スルコトヲ得ス(上全)

一 官有建物所要地

二 練兵場

三 射的場

四 軍事教育用ノ作業場

前項ノ土地ノ全部若ハ一部ヲ兵村ニ給與シ又ハ給與セサル場合ニハ師團長ヨリ第五條ノ事項第九條ニ依リ處分シタル土地ニ係ルトキハ其處分ノ事由ヲモヲ記シ之ヲ北海道廳長官及第七師團監督部長ニ移牒シ監督部長ハ其給與セサル土地ニ付テハ明細圖ヲ添ヘ陸軍大臣ニ報告スヘシ(三十年勅令第四百五十七號ヲ以テ改正)

附則

第十二條 本則ハ從前北海道廳長官ヨリ第七師團長ヘ引渡シタル土地ニモ亦之ヲ適用ス但第七師團長ハ本則施行ノ日ヨリ二箇年以内ニ第五條ノ手續ヲ爲スヘシ(上全)

○ 沖繩縣土地整理法明治三十二年三月法律第五十九號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル沖繩縣土地整理法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

沖繩縣土地整理法

第一條 沖繩縣ニ於ケル土地ハ此ノ法律ノ定ムル所ニ依テ之ヲ整理ス

第二條 村ノ百姓地、地頭地、「オエカ」地、「ノロクモイ」地、上納田、「ナワ」畑ニシテ其ノ村ニ於テ地割セル土地ハ地割ニ依リ其ノ配當ヲ受ケタル者又ハ其ノ權利ヲ承繼シタル者ノ所有トス但シ其ノ配當ヲ受クヘキ者多數ノ協議ニ依リ此ノ法律施行ノ日ヨリ一箇年以内ニ地割替ヲ爲スコトヲ得村カ浮掛又ハ叶掛ヲ受ケテ之ヲ地割シタル土地ニシテ第六條第一項但書ニ依リ村ノ所有トナルヘキモノ及間切ノ仕明地ヲ間切内各村ニ分配地割シ又ハ村ノ仕明地ヲ其ノ村ニ於テ地割シタル土地ニ付テモ亦前項ニ同シ

第三條 地割配當ノ統竝ノ爲現ニ叶米若ハ之ニ代ハルヘキ報償ヲ受クヘキ者ニハ其ノ叶米若ハ之ニ代ハルヘキ報償ヲ負擔スヘキ者ヨリ相當ノ土地ヲ交付シ又ハ代償ヲ爲スコトヲ要ス村カ浮掛又ハ叶掛ヲ受ケテ之ヲ地割シタル土地ニシテ村ノ所有トナラサルモノノ配當ヲ受ケタル者又ハ其ノ權利ヲ承繼シタル者ニハ其ノ村持地ノ配當ヲ受ケタル者又ハ其ノ權利ヲ承繼シタル者ヨリ相當ノ土地ヲ交付シ又ハ代償ヲ爲スコトヲ要ス



第四條 村ノ百姓地、地頭地、「オエカ」地、「ノロクモイ」地ヲ其ノ村ニ於テ屋敷地トシテ配當シタルモノハ其ノ配當ヲ受ケタル者又ハ其ノ權利ヲ承繼シタル者ノ所有トス  
村カ浮掛又ハ叶掛ヲ受ケテ之ヲ屋敷地トシテ配當シタル土地ニシテ第六條第一項但書ニ依リ村ノ所有トナルヘキモノニ付テモ亦前項ニ同シ

第五條 屋敷地配當ノ統竝ノ爲現ニ叶米若ハ之ニ代ハルヘキ報償ヲ受クル者及村カ浮掛又ハ叶掛ヲ受ケテ之ヲ屋敷地トシテ配當シタル土地ニシテ村ノ所有トナラサルモノノ配當ヲ受ケタル者又ハ其ノ權利ヲ承繼シタル者ニ付テハ第三條ノ例ニ依ル

第六條 村ノ百姓地、地頭地、「オエカ」地、「ノロクモイ」地、「キナワ」畑ニシテ村又ハ與ヨリ浮掛又ハ叶掛ヲ爲シタルモノハ其ノ浮掛又ハ叶掛ヲ爲シタル村又ハ與ニ於ケル地割ノ配當ヲ受クヘキ者ノ共有トス但シ叶米若ハ之ニ代ハルヘキ報償不納ノ場合ノ外取戻スコトヲ得サル浮掛又ハ叶掛ノ土地ハ村又ハ與ヨリ浮掛又ハ叶掛ヲ受ケテ占有ヲ得タル者又ハ其ノ權利ヲ承繼シタル者ノ所有トス  
前項ニ依リ共有トナルヘキ土地ニ付此ノ法律施行前ニ成立セル浮掛又ハ叶掛ノ關係ハ此ノ法律施行後ニ於テモ仍存續ス

第七條 第一項ニ於ケル共有者ノ持分ハ第二條ニ於ケル地割ノ率ニ依ル  
第一項但書ニ依リ所有ヲ得タル者ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ浮掛又ハ叶掛ヲ爲シタル村又ハ與ニ對シ報償ヲ爲シ且第二十三條ニ依リ地租ヲ徵收セラルル迄從前ノ叶米又ハ之ニ代ハルヘキ報償ヲ浮掛又ハ叶掛ヲ爲シタル村又ハ與ニ交付スルコトヲ要ス

第七條 藩領ノトキ地頭ノ自作シ若ハ拾掛ヲ爲シタル地頭地ニシテ村持トナラサルモノハ其ノ自作者若ハ拾掛ニ依リ占有ヲ得タル者又ハ其ノ權利ヲ承繼シタル者ノ所有トス

第八條 藩領ノトキ地頭ノ質入シタル地頭地ニシテ村持トナラサルモノハ質取主又ハ其ノ權利ヲ承繼シタル者ノ所有トス  
前項ニ依リ所有ヲ得タル者ハ質入主ニ對シ其ノ債權ヲ主張スルコトヲ得サルモノトス

第九條 「ノロクモイ」地ニシテ村持トナラサルモノハ「ノロクモイ」トシテ占有ヲ得タル者又ハ其ノ權利ヲ承繼シタル者ノ所有トス

第十條 墓地及其ノ附屬地ハ朱引等ヲ有スヘキ者ノ所有トス

第十一條 住明請地、住明知行地、請地、拂請地、拜領地及那覇、首里兩區内ノ屋敷地ハ手形、差出等ヲ有スヘキ者ノ所有トス

第十二條 埋立地及濱山野ニシテ此ノ法律施行前埋立又ハ開墾ノ成功シタルモノハ其ノ埋立又ハ開墾ヲ爲シタル者又ハ其ノ權利ヲ承繼シタル者ノ所有トス

第十三條 間切山野、村山野、浮得地、保管地、馬場、牧場及間切役場ノ敷地等ハ其ノ區、區ノ字、間切、村又ハ其ノ權利ヲ承繼シタル者ノ所有トス

第十四條 村持地ニシテ村ヨリ讓渡シタル事實アルモノハ讓受人又ハ其ノ權利ヲ承繼シタル者ノ所有トス

第十五條 期限ヲ定メスシテ開墾ヲ許可シタル柚山ハ第十八條ノ規定ニ拘ハラズ其ノ許可ヲ受ケタ



ル者又ハ其ノ權利ヲ承継シタル者ノ所有トス

第十六條 永久ニ交換シタル土地ハ其ノ引渡シタル土地ノ名義ニ依テ前各條ヲ適用ス

第十七條 前各條ニ該當セサル土地ニシテ民有ト認ムヘキ事實アルモノハ第二條以下ノ規定ニ準シ處分ス

第十八條 柚山、川床、堤防敷、道路敷及其ノ餘地其ノ他民有ト認ムヘキ事實ナキモノハ總テ官有トス  
柚山ノ保護管理ニ關シテハ勅令ヲ以テ規定スルモノノ外從來ノ慣行ニ依ル

第十九條 此ノ法律ニ依リ協議シタル事項ハ當該官廳ノ認可ヲ受クヘシ

第二十條 此ノ法律ニ依リ民有トナリタル土地ハ便宜區畫シテ地盤ヲ丈量シ每筆其ノ品位等級ヲ定シ所得ヲ審査シ其ノ土地ノ情況ニ應シテ地價ヲ定ム

第二十一條 土地整理ニ關スル處分ニ付不服アル者ハ處分ヲ受ケタル後九十日以内ニ當該官廳ニ申立ツルコトヲ得但シ第十九條ノ場合ハ此ノ限ニアラス

第二十二條 前條ノ申立ニ對スル處分ニ付不服アル者ハ訴願ヲ提起スルコトヲ得

第二十三條 地租條例及國稅徵收法ハ勅令ヲ以テ期日ヲ定メ漸次沖繩縣ニ施行ス但シ社寺地、拜所ハ地租ヲ免除ス

第二十四條 沖繩縣ニ於ケル地租ノ納期ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十五條 此ノ法律ノ施行ニ關シテハ伊江島、伊平屋島、粟國島、渡名喜島、島島ハ間切ニ準シ與那國島ハ村ニ準ス

附則

第二十六條 沖繩縣ニ於テ土地ニ關シ舊慣ニ據リ徵收スル國稅ハ第二十三條ニ依リ地租ヲ徵收スル年ヨリ之ヲ廢止ス

第二十七條 此ノ法律ハ明治三十二年四月一日ヨリ施行ス

○沖繩縣土地整理法中報償ニ關スル件 明治三十二年六月勅令第三百四號

朕沖繩縣土地整理法中報償ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 沖繩縣土地整理法第六條第一項但書ニ依リ土地ノ所有權ヲ得タル者ノ交付スヘキ報償額ハ浮掛又ハ叶掛ヲ爲シタル村又ハ與ニ交付シタル叶米又ハ之ニ代ハルヘキ報償ノ三箇年分トス但シ叶米其ノ他金錢ニアラサル報償ハ關係者ノ協議ニ依リ之ヲ金錢ニ換算シテ交付スルコトヲ得

第二條 前條ノ報償額ハ其ノ土地ニ付地租條例ニ依リ始メテ地租ヲ課セラルル年ニ於テ之ヲ交付スヘシ但シ其ノ年ヨリ年賦ヲ以テ之ヲ交付スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ毎年ノ交付額ハ從來ノ叶米又ハ之ニ代ハルヘキ報償年額ヲ下ルコトヲ得ス

第三條 前二條ハ沖繩縣土地整理法第十七條ニ依リ同法第六條第一項但書ニ準シテ土地ノ所有



權ヲ得タル者ニ準用ス

○國有林野法明治三十二年三月  
法律第六十五號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル國有林野法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

國有林野法

三十二年農林  
務省令第二十  
五號ヲ以テ本  
法施行規則ヲ  
定ム  
全年各省令第  
二十六號ヲ以  
テ國有林野及  
產物賣拂規則  
ヲ定ム

第一條 此ノ法律ニ於テ國有林野ト稱スルハ國ノ所有ニ屬スル森林原野ヲ謂フ

第二條 國有林野ニシテ國土保安又ハ國有林野ノ經營上國有トシテ保存ノ必要アルモノハ賣拂讓與又ハ交換スルコトヲ得ス但シ公用又ハ公益事業ノ爲必要アルトキ及第十五條ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三條 前條ノ國有林野ト雖他ノ官有地ニ編入スルノ必要アルトキハ之カ組換ヲ爲スコトヲ得

組換ヲ爲シタル土地ニシテ其ノ使用ヲ廢シタル場合ニ於テ林野ニ復スヘキ必要アルモノハ更ニ國有林野ニ編入ス

社寺上地ニシテ其ノ境内ニ必要ナル風致林野ハ區域ヲ畫シテ社寺現境内ニ編入スルコトヲ得

第四條 國有林野ノ境界査定ハ當該官廳ニ於テ豫定期日ヲ定メ鄰接地所有者ニ通告シテ其ノ立會ヲ

求メ施行スヘシ

鄰接地所有者豫定期日ニ於テ立會ハサルコトアルモ當該官廳ハ境界査定ヲ施行スルコトヲ得

第五條 國有林野ノ境界査定ヲ終ヘタルトキハ當該官廳ハ直ニ鄰接地所有者ニ通告スヘシ

第六條 國有林野ノ境界査定又ハ測量ノ爲目標ヲ設置シ若ハ支障木竹ヲ伐採スルノ必要アルトキハ其ノ土地若ハ木竹ノ所有者ハ正當ノ理由ナクシテ之ヲ拒ムコトヲ得ス但シ相當ノ補償ヲ求ムルコトヲ得

第七條 鄰接地所有者境界査定ニ不服アルトキハ第五條ノ通告ヲ受ケタル日ヨリ六十日以内ニ行政

裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第八條 國有林野ハ左ノ場合ニ限リ隨意契約ヲ以テ賣拂フコトヲ得

- 一 公用又ハ公益事業ノ爲必要アルトキ
- 二 市町村又ハ公立小學校ノ基本財産ニ充ツルトキ
- 三 社寺上地ノ森林ヲ其ノ社寺ニ賣拂フトキ
- 四 命令ノ定ムル所ニ依リ特別ノ緣故アル林野ヲ其ノ緣故アル者ニ賣拂フトキ
- 五 民有地、道路、河川等ニ介在スル十町歩以内ノ林野ヲ賣拂フトキ
- 六 道路、溜池、堤塘、溝渠等ノ敷地トシテ貸付シタル林野ヲ其ノ借地人ニ賣拂フトキ
- 七 此ノ法律施行以前ニ開墾、牧畜又ハ植樹ノ爲貸付シタル林野又ハ第九條ノ開墾地ヲ其ノ事業ヲ成功シタル者ニ賣拂フトキ



第九條 國有林野ハ開墾ノ成功ヲ條件トシ豫メ其ノ價格及成功期限ヲ定メ隨意契約ヲ以テ賣拂ノ豫約ヲ爲スコトヲ得

第十條 國有林野產物ノ隨意契約ニ依ル賣拂ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十一條 國有林野ハ左ノ場合ニ限り隨意契約ヲ以テ貸付シ又ハ使用セシムルコトヲ得

一 公用又ハ公益事業ノ爲必要アルトキ

二 牧畜又ハ植樹ノ爲必要アルトキ

三 牛馬放牧ノ爲使用セシムルトキ

四 第九條ニ依ル開墾者ノ爲ニスルトキ

五 一箇年貸付料三百圓ヲ超エサルトキ

第十二條 國有林野ヲ貸付シ又ハ使用セシムルトキハ相當ノ貸付料又ハ牛馬放牧料ヲ徵收スヘシ但シ前條第一號及第四號ノ場合ニ於テハ貸付料ヲ免スルコトヲ得

第十三條 國有林野ヲ貸付シ又ハ使用セシムルトキハ左ノ期間ヲ超ユルコトヲ得ス

一 植樹ノ場合ニ於テハ八十年

二 家屋、倉庫其ノ他ノ建設物ノ場合ニ於テハ三十年

三 其ノ他ノ場合ニ於テハ十五年

前項ノ期間ハ之ヲ更新スルコトヲ得

第十四條 國土保安又ハ國有林野ノ經營上必要ナル場合ニ限り國有林野又ハ立木竹ト他ノ同價格以

上ノ土地、森林、原野又ハ立木竹ト交換スルコトヲ得

第十五條 國有林野ハ左ノ場合ニ限り讓與スルコトヲ得

一 段別一町歩以下ニシテ公立ノ學校又ハ病院ノ用地ニ供スルトキ

二 府縣郡市町村及其ノ他ノ公共團體ニ於テ道路、河川、港灣、水道、堤塘、溝渠、溜池、火葬場、墓地、公園等公共ノ用ニ供スルトキ

第十六條 用途ヲ指定シテ讓與シタル國有林野ヲ指定ノ期間内ニ其ノ用途ニ使用セサルトキ又ハ一旦其ノ用途ニ使用シタル後當該官廳ニ於テ指定シタル期間其ノ使用ヲ繼續セサルトキハ之ヲ返還セシムルコトヲ得

前項ニ依リ林野ヲ返還セシメタル場合ニ於テハ其ノ林野ノ上ニ設定シタル第三者ノ權利ハ消滅ス

第十七條 社寺上地ノ森林ハ其社寺ニ保管セシムルコトヲ得

社寺ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ社寺林地ヲ使用シ又ハ主副產物ヲ採取スルコトヲ得

第十八條 國有林野ニシテ保護上必要ナル場合ニ於テハ市町村又ハ市町村内ノ一部ニ其ノ保護ヲ委託スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ其ノ受託者ニ林野產物ヲ讓與スルコトヲ得

委託ノ方法及受託者ニ讓與スヘキ林野產物ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十九條 國ハ造林者ト其ノ收益ヲ分收スルノ契約ヲ以テ國有林野ニ部分林ヲ設クルコトヲ得

法令、慣行又ハ其ノ他ノ理由ニ依リ國有林ニ就キ收益ノ分收ヲ爲スモノハ前項ノ部分林ト看做ス



第二十條 部分林ノ樹木ハ國ト造林者トノ共有トシ其ノ持分ハ收益分收ノ割合ニ均シキモノトス

第二十一條 部分林ノ存續期間ハ八十年ヲ超ユルコトヲ得ス

前項ノ期間ハ之ヲ更新スルコトヲ得

第二十二條 民法第二百五十六條ノ規定ハ部分林ノ樹木ニ適用セス

第二十三條 第十八條第二項及第三項ノ規定ハ部分林ノ造林者ニ之ヲ準用ス

第二十四條 主務大臣ハ十箇年毎ニ其ノ年三月三十一日ニ現在スル國有林野現在表ヲ其ノ年開會ノ

帝國議會ニ報告スヘシ但シ第一回ノ報告ハ明治三十四年三月三十一日ノ現在ニ依ル

第二十五條 主務大臣ハ毎會計年度間ニ於ケル國有林野ノ増減異動ヲ翌年度開會ノ帝國議會ニ報告スヘシ

附則

第二十六條 此ノ法律ハ北海道及沖繩縣ニ施行セス

第二十七條 此ノ法律ハ明治三十二年七月一日ヨリ施行ス

○

○國有林野部分林規則明治三十二年八月勅令第三百六十二號

朕親密顧問ノ諮詢ヲ經テ國有林野部分林規則ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

國有林野部分林規則

第一條 國有林野ニ部分林ヲ設定スルハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 部分林ノ收益分收ノ割合ハ地代及造林費ヲ參酌シテ農商務大臣之ヲ定ム

造林者ノ分收割合ハ十分ノ八ヲ超ユルコトヲ得ス

第三條 造林者ハ大林區署長ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ權利ヲ處分スルコトヲ得ス

第四條 造林者ハ部分林ノ植樹、補植、手入其ノ他造林ニ必要ナル行為ヲ爲スヘシ

第五條 造林者ハ大林區署長ノ指定シタル期間内ニ植樹ヲ終ルヘシ

大林區署長ハ已ムヲ得サル事由アリト認ムル場合ニ限り造林者ノ請求ニ依リ二年以内ニ於テ植樹期間ノ延長ヲ許可スルコトヲ得

第六條 造林者植樹準備又ハ手入ノ爲部分林ニ耕作ヲ爲サントスルトキハ大林區署長ノ許可ヲ受クヘシ

第七條 造林者ハ左ノ事項ニ關シ部分林ヲ保護スル義務ヲ負フ

一 火災ノ豫防及消防

二 盜伐、誤伐、冒認、侵墾其ノ他ノ加害行為ノ豫防及防止

三 有害動物ノ豫防及驅除

四 境界標其ノ他ノ標識ノ保存

五 稚樹ノ保育



六 大林區署長ノ命ニ依リ看守人ヲ配置スルコト

第八條 造林者ハ左ノ產物ヲ採取スルコトヲ得

一 下草、落葉及落枝

二 樹實及菌茸ノ類

三 部分林設定後天然ニ生育シタル雜木

四 植樹後二十年内ニ於テ手入ノ爲伐採スル樹木

第九條 部分林設定後天然ニ生育シタル樹木ニシテ雜木ニ非サルモノハ之ヲ部分林ノ樹木ト看做ス

第十條 根株ハ特別ノ契約アル場合ヲ除ク外國ノ所有トス

第十一條 部分林ノ收益ハ其ノ樹木ノ賣拂代金ヲ以テ分收ス但シ國ノ分收スヘキ樹木ヲ保存スル必要アルトキハ材積ヲ以テ分收ヲ爲スコトヲ得

第十二條 代金ヲ以テ分收スルトキハ樹木ノ賣拂ハ當該官廳之ヲ行フ

材積ヲ以テ分收スルトキハ造林者ハ大林區署長ノ指定シタル期間内ニ其ノ分收樹木ノ搬出ヲ終ルヘシ

前項ノ搬出期間ハ三年ヲ超ユルコトヲ得ス

大林區署長ハ已ムヲ得サル事由アリト認ムル場合ニ於テハ二年以内ヲ限リ搬出期間ノ延長ヲ許可スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ延長期間ニ對スル地代ヲ前納セシムヘシ

第十三條 造林者搬出期間内ニ分收樹木ノ搬出ヲ終ラサルトキハ其ノ搬出セサル樹木ハ國ノ所有ニ

歸ス

第十四條 大林區署長ハ森林經濟上利益ナリト認ムル場合ニ限リ造林者ノ請求ニ因リ十年以内ニ於テ部分林ノ存続期間又ハ伐期ヲ變更スルコトヲ得

第十五條 部分林ニ損害ヲ加ヘタル第三者ヨリ賠償トシテ得タル金額ハ分收部合ニ依リ之ヲ分收ス

第十六條 天災其ノ他避クヘカラサル事變ニ因リ契約無効ト爲リタル場合ニ於テハ現存ノ樹木ハ分收部合ニ依リ之ヲ分收ス已ムヲ得サル事由ニ因リ造林者契約ノ解除ヲ願出テ之ヲ許可シタル場合亦同シ

第十七條 造林者左ノ諸項ニ該當スルトキハ農商務大臣ハ部分林設定契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得但シ造林者ノ責ニ歸スヘカラサル事由アルトキハ此ノ限ニ在ラス

一 植樹期間ノ始期ヨリ一年ヲ經過スルモ植樹ニ著手セサルトキ

二 植樹期間内ニ植樹シタル面積カ總面積ノ二分ノ一ニ及ハサルトキ

三 植樹期間延長ノ許可ヲ得タル場合ニ於テ其ノ期間内ニ植樹ヲ終ラサルトキ

四 植樹ヲ終リタル後五年ヲ過クルモ成林ノ見込ナキトキ

五 造林者其ノ部分林ニ關シ罪ヲ犯シタルトキ

第十八條 前條ノ規定ニ依リ部分林設定契約ノ解除ヲ爲シタルトキハ部分林設定ノ日ニ遡リ地代ヲ徵收シ既植ノ樹木ハ國ノ所有ニ歸ス



第十九條 造林者部分林ヲ他ノ目的ニ使用シタルトキハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス部分林ヲ他人ニ貸付シ又ハ使用セシメタルトキ亦同シ

附則

第二十條 明治十一年<sup>三</sup>內務省甲第四號布達部分木任付條例ハ之ヲ廢止ス

第二十一條 第二條ノ規定ハ國有林野法第十九條第二項ノ規定ニ依ル部分林ニハ之ヲ適用セス

第二十二條 國有林野法第十九條第二項ノ規定ニ依ル部分林ニシテ存續期間ノ定ナキモノ又ハ其ノ期間未令施行ノ日ヨリ起算シテ八十年ヲ超ユルモノニ付テハ其ノ部分林ノ存續期間及伐期ハ現存スル樹木ノ年齢ヲ參酌シテ農務商大臣之ヲ定ム

第二十三條 國有林野法第十九條第二項ノ規定ニ依ル部分林ニシテ天然ニ生育シタル雜木ノ分收ヲ目的トスルモノナルトキハ其ノ雜木ハ部分林ノ樹木ト看做ス

○

○國有林野委託規則明治三十二年八月勅令第三百六十四號

朕國有林野委託規則ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

國有林野委託規則

第一條 市町村又ハ市町村内ノ一部ニ國有林野ノ保護ヲ委託スルハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 委託林野ノ區域ハ市町村ノ位置、緣故及其ノ地方ノ狀況ヲ參酌シテ農務商大臣之ヲ定ム

第三條 委託林野ノ委託期間ハ五年ヲ超ユルコトヲ得ス

前項ノ期間ハ之ヲ更新スルコトヲ得

第四條 受託者ハ委託林野ニ關シ左ノ義務ヲ負フ

- 一 火災ノ豫防及消防
- 二 盜伐、誤伐、冒認、侵墾其ノ他ノ加害行為ノ豫防及防止
- 三 有害動物ノ豫防及驅除
- 四 境界標其ノ他ノ標識ノ保存
- 五 雜樹ノ保育
- 六 大林區署長ノ命ニ依リ手入ヲ爲シ又ハ看守人ヲ配置スルコト

第五條 左ノ委託林野產物ハ之ヲ受託者ニ讓與スルコトヲ得

- 一 未木、枝條及枯倒木
- 二 手入ノ爲伐採スル樹木
- 三 自家用薪炭材
- 四 土地ノ資質ヲ爲ササル副產物



第六條 左ノ場合ニ於テハ農商務大臣ハ委託ヲ解除スルコトヲ得

- 一 受託者第四條ノ義務ヲ怠リタルトキ
  - 二 受託者其ノ委託林野ニ關シ罪ヲ犯シタルトキ
  - 三 受託林野ヲ公用又ハ公益事業ニ供スル必要生シタルトキ
- 前項ノ規定ニ依リテ受託ヲ解除シタル場合ニ於テハ損害ヲ賠償セス
- 第七條 受託者タル市町村又ハ市町村ノ一部ノ住民委託林野ニ損害ヲ加ヘタルトキハ受託者ハ之ヲ賠償スルノ責ニ任ス

#### 附則

第八條 本令施行前ニ副産物ノ無料採取ヲ許可シタル森林ニ關シテハ從前ノ例ニ依ル

第九條 本令施行前ニ副産物ノ無料採取ヲ許可シタル森林ハ其ノ採取者ノ出願ニ依リ委託林野ト爲スコトヲ得

#### ○森林法明治三十年四月 法律第四十六號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル森林法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

#### 森林法

#### 第一章 總則

第一條 此ノ法律ニ於テ森林ト稱スルハ御料林、國有林、部分林、公有林、社寺林及私有林ヲ謂フ

第二條 原野山嶽其ノ他ノ土地ニシテ第八條第一乃至第五ニ該當スルモノハ森林ニ準シテ此ノ法律ヲ適用ス

#### 第二章 營林ノ監督

第三條 公有林及社寺林ニシテ其ノ經濟ノ保護ヲ損シ又ハ荒廢スルノ虞アルトキハ主務大臣ニ於テ營林ノ方法ヲ指定スヘシ

私有林ニシテ荒廢ノ虞アルトキハ主務大臣ニ於テ營林ノ方法ヲ指定スルコトヲ得

第四條 前條指定ノ方法ニ背キ伐木ヲ爲シタル者ニハ主務大臣ハ其ノ伐採ヲ停止シ伐木跡地ニ造林ヲ命スルコトヲ得

第五條 前條ノ造林ヲ怠ル者アルトキハ政府ニ於テ之ヲ行ヒ其ノ費用ヲ徵收シ又ハ其ノ造林ニ係ル部分ヲ部分林ト爲スコトヲ得

第六條 森林ヲ開墾セムトスル者ハ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ

第七條 國土保安ニ危害ノ虞アリト認ムルトキハ主務大臣ハ豫メ其ノ箇所ヲ指定シ森林ノ開墾ヲ禁止スルコトヲ得

#### 第三章 保安林



第八條 森林ニシテ左ニ列記スル箇所ニ在ルモノハ保安林ニ編入スルコトヲ得

- 一 土砂壤崩流出ノ防備ニ必要ナル箇所
- 二 飛砂ノ防備ニ必要ナル箇所
- 三 水害、風害、潮害ノ防備ニ必要ナル箇所
- 四 類雪、墜石ノ危険ヲ防止スルニ必要ナル箇所
- 五 水源ノ涵養ニ必要ナル箇所
- 六 魚附ニ必要ナル箇所
- 七 航行ノ目標ニ必要ナル箇所
- 八 公衆ノ衛生ニ必要ナル箇所
- 九 社寺、名所又ハ舊跡ノ風致ニ必要ナル箇所

第九條 保安林ハ編入ノ原因消滅シ又ハ公益上特別ノ事由生シタルトキハ之ヲ解除スルコトヲ得

第十條 保安林ノ編入解除ハ府縣郡市町村其ノ他直接ノ利害ヲ有スル者ヨリ府縣知事ニ申請スルコトヲ得

第十一條 府縣知事ニ於テ保安林ノ編入解除ヲ必要ト認メ又ハ前條ノ申請ヲ受ケタルトキハ之ヲ地方森林會ノ會議ニ付スヘシ

第十二條 保安林ノ編入解除ヲ地方森林會ノ會議ニ付セムトスルトキハ開會三十日以前ニ府縣公報

ヲ以テ告示シ其森林ノ所有者並大林區署土木監督署ニ其ノ旨ヲ通知シ且所在市町村役場ニ揭示スベシ

第十三條 保安林ニ編入ノ爲地方森林會ノ會議ニ付セムトスル森林ハ前條告示ノ日ヨリ決定ノ日マテ其ノ立木ノ伐採、土石切芝ノ採取、樹根ノ採掘及開墾ヲ爲スコトヲ得ス

第十四條 保安林ノ編入解除ニ直接ノ利害ヲ有スル者其ノ編入解除ニ異議アルトキハ第十二條ノ告示ノ日ヨリ二十五日以内ニ府縣知事ヲ經テ意見書ヲ地方森林會ニ提出スルコトヲ得

第十五條 府縣知事ハ地方森林會ノ答申書ニ意見ヲ付シ關係書類ヲ添ヘ之ヲ主務大臣ニ具申スヘシ

第十六條 保安林ノ編入解除ハ地方森林會ノ議決ヲ經テ主務大臣之ヲ決定ス

第十七條 保安林ノ編入解除ハ官報及府縣公報ヲ以テ告示シ且其ノ森林ノ所有者ニ通達スヘシ

第十八條 保安林ノ編入解除ニ直接ノ利害ヲ有スル者其ノ編入解除ニ關スル處分ニ不服アルトキハ前條ノ告示若ハ通達ヲ受ケタル日ヨリ九十日以内ニ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第十九條 保安林ニ於テハ皆伐及開墾ヲ爲スコトヲ得ス

第二十條 府縣知事ノ許可ヲ得ルニ非サレハ保安林ニ於テ土石切芝ノ採取、樹根ノ採掘又ハ牛馬ノ放牧ヲ爲スコトヲ得ス

第二十一條 主務大臣ハ必要アリト認ムルトキハ保安林ノ伐木ヲ禁止シ又ハ制限スルコトヲ得

第二十二條 主務大臣ハ保安林ニ關シ其ノ森林ノ所有者ニ營林及保護ノ方法ヲ指定シ且其ノ使用收益ヲ制限スルコトヲ得



第二十三條 主務大臣ハ保安林又ハ開墾禁止ノ森林ヲ開墾シタル者ニ對シ復舊ノ造林ヲ命スルコトヲ得

第二十四條 前條ノ造林ヲ施行セス又ハ第二十二條ニ依リ指命シタル事項ヲ實施セザル者アルトキハ政府ニ於テ之ヲ行ヒ其ノ費用ヲ徵收スルコトヲ得

第二十五條 政府ニ於テ保安林ヲ買上ケムトスルトキハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第二十六條 保安林ニ編入セラレタル爲損害ヲ蒙リタル森林所有者ハ其ノ伐木ヲ禁止セラレタル場合ニ於ケル直接ノ損害ニ限リ補償ヲ求ムルコトヲ得但シ御料林國有林ニ對シテハ補償ヲ爲スノ限ニ在ラス

前項ノ損害ニシテ申請ニ係ルモノハ申請者之ヲ補償シ命令ニ係ルモノハ政府之ヲ補償ス但シ申請者ノ補償ニ係ルモノハ政府ニ於テ其ノ三分ノ一以内ヲ補助スルコトヲ得

第二十七條 第二十五條ノ買上價格又ハ前條ノ補償金額ニ付協議整ハザルトキハ地方森林會ヲシテ評決セシムヘシ若シ之ニ服セザル者ハ評決ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ九十日以内ニ裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第二十八條 保安林ニ編入セラレタル森林ハ地租及公課ヲ免ス

第二十九條 官地私木ノ森林ニシテ保安林ニ編入セラレタルモノハ借地料ヲ免ス

第二十條 從來ノ禁伐林、風致林又ハ伐木停止林ハ法律施行ノ日ヨリ保安林トシ其ノ森林ニ對スル從來ノ制限ハ仍其ノ効力ヲ有ス

第四章 森林警察

第三十一條 伐木造材又ハ木材買買ヲ業トスル者ハ林産物ニ使用スル記號又ハ印章ヲ所轄警察署ニ届置クヘシ

警察署ハ他人ノ記號又ハ印章ニ類似スルモノノ使用ヲ禁止スルコトヲ得

第三十二條 伐木造材ヲ業トスル者ノ手板帳簿器具等ニ對シ森林官吏又ハ警察官吏ノ検査アルトキハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第三十三條 森林官吏又ハ警察官吏ノ許可ヲ得スシテ森林内ニ火入ヲ爲スコトヲ得ス

第三十四條 森林ニ接續スル原野ニ火入ヲ爲ストキハ森林ニ對シテ豫メ防火ノ設備ヲ爲スヘシ

第三十五條 森林ニ於テ濫ニ焚火ヲ爲シ又ハ炬火ヲ携帯スルコトヲ得ス

第三十六條 森林又ハ其ノ近傍ニ於テ火災又ハ蟲害アルヲ發見シタル者及森林ニ關スル罪ヲ犯シ若ハ犯サムトスル者アルヲ覺知シタル者ハ直ニ森林官吏、警察官吏又ハ郡市町村吏員ニ申告スヘシ

第五章 罰則

第三十七條 森林ニ於テ其ノ主副産物ヲ竊取シタル者ハ森林竊盜トシ二圓以上贓額二倍以下ノ罰金又ハ十一日以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス其ノ主副産物ニシテ人工ヲ加ヘタルモノニ係ルトキ亦同シ但シ罰金ハ贓額以下ニ下スコトヲ得ス

第三十八條 森林竊盜ニシテ左ニ記載シタル所爲アルトキハ二圓以上贓額二倍以下ノ罰金及二月以上二年以上ノ重禁錮ニ處ス但シ罰金ハ贓額以下ニ下スコトヲ得ス



- 一 根株ヲ毀壞若ハ隱蔽シテ罪跡ノ湮滅ヲ圖リタルトキ
- 二 贓物ヲ原料トシテ木炭、樟腦、椎茸、松根油其ノ他ノ物品ヲ製シタルトキ
- 三 贓物ヲ燃料トシテ鑛物ノ採取精製若ハ石灰、煉化石、瓦其ノ他ノ物品ノ製造ニ使用シタルトキ
- 四 犯罪ヲ容易ナラシムル爲船船ヲ使用シタルトキ
- 五 保安林ニ於テ盜伐ヲ爲シタルトキ
- 六 林産物採取ノ權利ヲ行使スルニ際シ其ノ罪ヲ犯シタルトキ
- 七 三人以上共謀シ又ハ五人以上ヲ雇使シテ其ノ罪ヲ犯シタルトキ
- 八 契約ニ依リ森林保護ノ義務ヲ有スル者其ノ罪ヲ犯シタルトキ
- 九 差押ノ贓物ヲ隱匿若ハ消費シタルトキ
- 第三十九條 森林竊盜ノ贓物ナルコトヲ知テ之ヲ受ケ又ハ寄藏故買シ若ハ牙保ヲ爲シタル者ハ二圓以上贓額二倍以下ノ罰金及一月以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス但シ罰金ハ贓額以下ニ下マコトヲ得ス
- 第四十條 他人ノ所有ニ屬スル森林ノ樹木ヲ傷害シタル者ハ二圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス
- 第四十一條 他人ノ森林ニ放火シタル者ハ輕懲役ニ處シ因テ主産物ヲ燒燬シタル者ハ重懲役ニ處ス其ノ自己ノ森林ニ係ルトキハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス
- 第四十二條 濫ニ他人ノ森林内ニ於テ牛馬ヲ放牧シタル者ハ二圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス
- 第四十三條 森林ノ爲設ケタル標識ヲ移轉シ若ハ毀壞シタル者ハ二圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス其ノ經界ヲ表シタル物件ニ係ルトキハ刑法第四百二十條ヲ適用ス

第四十四條 立木、木材又ハ根株ニ附シタル記號印影ヲ變更若ハ消除シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十五條 第六條ノ許可ヲ得スシテ森林ヲ開墾シタル者ハ二圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス保安林又ハ開墾禁止ノ森林ニ係ルトキハ罰金ノ外仍十一日以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス他人ノ森林ヲ開墾シタル者亦同シ

第四十六條 保安林ニ於テ皆伐ヲ爲シ又ハ禁止若ハ制限ノ命令ニ違背シテ伐木ヲ爲シタル者ハ其ノ伐採シタル木材代價相當ノ罰金ニ處ス

第四十七條 第十三條又ハ第二十條ニ違背シタル者ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十八條 第三十二條ニ違背シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十九條 第三十三條第三十四條又ハ第三十五條ニ違背シタル者ハ二圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス因テ他人ノ森林ヲ燒燬シタル者ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第五十條 第三十一條ニ違背シタル者ハ五十圓以上ノ科料ニ處ス

第五十一條 此ノ法律ニ規定シタル罪ヲ犯シタル者ニハ刑法ノ數罪俱發ノ例ヲ用非ス

第六章 雜則

第五十二條 此ノ法律ニ於テ開墾ト稱スルハ燒畑切替畑及地目變換ヲ包含ス

第五十三條 森林竊盜ノ贓物ヲ原料トシテ採取又ハ製造シタル樟腦、樟腦油、竊其ノ他樹木ノ脂液及木炭ハ贓物ト見做ス



第五十四條 此ノ法律ニ依リ徵收スヘキ費用ハ國稅意納處分法ニ依リ徵收スルコトヲ得

第五十五條 森林ニシテ此ノ法律發布以前ヨリ無立木トナリ又ハ荒廢ニ屬スルモノハ主務大臣ニ於テ期限ヲ定メ造林ヲ命スルコトヲ得其ノ造林ヲ怠ル場合ニ於テハ第五條ノ規程ヲ適用ス

第五十六條 前條ニ依リ造林ヲ命セラレタル森林ハ其ノ造林シタル部分ニ限り翌年ヨリ二十五箇年以内地租及公課ヲ免スルコトヲ得

原野山嶽又ハ荒蕪地ニシテ新ニ造林シタルモノハ前項ノ例ニ依ル

第五十七條 北海道沖繩縣其ノ他勅令ヲ以テ指定スル島嶼ノ森林ニ就テハ保安林ニ關スル規程ニ限リ此ノ法律ヲ適用ス但シ保安林ノ編入解除ニ關スル手續ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五十八條 此ノ法律ハ明治三十一年一月一日ヨリ施行ス

○保安林ニ關スル規程ニ限リ森林法ヲ施行スヘキ島嶼指定 明治三十年十二月勅令第四百四十四號

朕保安林ニ關スル規程ニ限リ森林法ヲ施行スヘキ島嶼指定ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

森林法第五十七條ニ依リ保安林ニ關スル規程ニ限リ森林法ヲ施行スヘキ島嶼左ノ通指定ス

東京府下  
小笠原島 伊豆七島  
長崎縣下  
對馬國

島根縣下

隱岐國

鹿兒島縣下

大隅國大島郡

大島 德ノ島 喜界島 沖永良部島 與論島

薩摩國川邊郡

硫黃島 黑島 竹島 口之島 臥蛇島 平島 中之島 惡石島 諏訪ノ瀨島 寶島

○沖繩縣其他勅令ヲ以テ指定スル島嶼ノ保安林編入解除ニ關スル手續 明治三十年十二月勅令第四百四十五號

朕沖繩縣其ノ他勅令ヲ以テ指定スル島嶼ノ保安林編入解除ニ關スル手續ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

沖繩縣其ノ他勅令ヲ以テ指定スル島嶼ノ保安林編入解除ニ關スル手續

第一條 府縣知事ニ於テ保安林ノ編入解除ヲ必要ト認メタルトキハ編入解除ニ關スル調査ヲ調製シ之ヲ農商務大臣ニ具申スヘシ

第二條 保安林ノ編入解除ハ直接ノ利害ヲ有スル者ヨリ府縣知事ニ申請スルコトヲ得

府縣知事ニ於テ前項ノ申請ヲ受ケタルトキハ意見ヲ附シ關係書類ヲ添ヘ之ヲ農商務大臣ニ具申スヘシ



第三條 保安林ノ編入解除ニ直接ノ利害ヲ有スル者其ノ編入解除ニ異議アルトキハ府縣知事ヲ經テ意見書ヲ農商務大臣ニ提出スルコトヲ得

第四條 保安林ノ編入解除ハ農商務大臣之ヲ決定ス

第五條 保安林ノ編入解除ハ官報府縣公報其ノ他便宜ノ方法ヲ以テ告示シ且其ノ森林ノ所有者ニ通達スヘシ

○北海道保安林編入解除手續明治三十年十二月勅令第四百五十五號

朕北海道保安林編入解除手續ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

北海道保安林編入解除手續

第一條 北海道ニ於ケル保安林ノ編入解除ニ關スル手續ハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 保安林ノ編入解除ニ關シテ直接ノ利害ヲ有スル者ハ其ノ編入解除ヲ道廳長官ニ申請スルコトヲ得

第三條 前條ノ申請ハ其ノ所管道廳支廳長ヲ經由シテ之ヲ爲スヘシ

道廳支廳長ハ前項ノ申請ニ對シ自己ノ意見ヲ附シテ之ヲ道廳長官ニ具申スヘシ

第四條 保安林ノ編入解除ニ直接ノ利害ヲ有スル者其ノ編入解除ニ異議アルトキハ道廳支廳長ヲ經テ意見書ヲ道廳長官ニ提出スルコトヲ得

第五條 保安林ノ編入解除ハ道廳長官之ヲ決定ス

道廳長官ハ第二條ノ申請ナキトキト雖必要ト認ムルトキハ保安林ノ編入解除ヲ爲スコトヲ得

第六條 保安林ノ編入解除ハ道廳公報ヲ以テ告示シ且其ノ所有者ニ通達スヘシ

第七條 本令ノ施行ニ關スル細則ハ道廳廳令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

第八條 本令ハ明治三十一年一月一日ヨリ施行ス

○國有土地森林原野下戻法明治三十二年四月法律第九十九號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル國有土地森林原野下戻法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

國有土地森林原野下戻法

第一條 地租改正又ハ社寺土地處分ニ依リ官有ニ編入セラレ現ニ國有ニ屬スル土地森林原野若ハ立木竹ハ其ノ處分ノ當時之ニ付キ所有又ハ分收ノ事實アリタル者ハ此ノ法律ニ依リ明治三十三年六月三十日迄ニ主務大臣ニ下戻ノ申請ヲ爲スコトヲ得

前項ノ期限ヲ經過シタルモノ又ハ裁判所ノ判決ヲ受ケタルモノハ下戻ノ申請ヲ爲スコトヲ得ス

府縣設置以後土地處分ヲ受ケタル土地及地租改正處分既濟地方ニ於ケル未定地脫落地ニ付テハ此ノ法律ノ規定ヲ準用ス

第二條 下戻ノ申請ヲ爲ス者ハ第一條ノ事實ヲ證スル爲少クトモ左ノ書面ノ一ヲ添付スルコトヲ要ス

三十二年農務省令第八號ヲ以下戻申請手續ヲ定ム



- 一 公簿若ハ公書ニ依リ所有又ハ分收ノ事實ヲ證スルモノ
  - 二 高受又ハ正租ヲ納メタル證アルモノ
  - 三 拂下下付賣買讓與貸入書入寄附等ニ依ル所有又ハ分收ノ事實ヲ證スベキモノ
  - 四 木竹又ハ其ノ賣却代金ヲ分收シタル證アルモノ
  - 五 私費ヲ以テ木竹ヲ植付ケタル證アルモノ
  - 六 私費ヲ以テ田畑宅地ニ開墾シタル證アルモノ
- 第三條 前條ノ證據書類ニシテ所有又ハ分收ノ事實ヲ證スルニ足ルト認ムルトキハ主務大臣ハ其ノ下戻ヲ爲スヘシ
- 第四條 下戻ヲ受ケタル者ハ其ノ下戻ニ因リテ所有又ハ分收ノ權利ヲ取得ス
- 前項ニ依リ所有又ハ分收ノ權利ヲ取得シタル者ハ其ノ土地森林原野若ハ立木竹ニ關シ第三者ニ對スル國ノ權利義務ヲ承繼ス
- 第五條 第二條ニ依リ下戻ヲ受ケタルモノト雖公用又ハ社寺境内ニ供セラルルモノハ其ノ公用又ハ社寺境内ヲ廢シタル後ニアラサレハ權利ヲ行使スルコトヲ得ス
- 第六條 下戻申請ニ對シ不許可ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
- 第七條 此ノ法律施行以前ニ差出シタル下戻ニ關スル申請書又ハ願書ハ此ノ法律ニ依リタルモノト看做ス

○ 社寺保管林規則 明治三十二年八月 勅令第三百六十一號

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ社寺保管林規則ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

- 社寺保管林規則
- 第一條 社寺上地ノ森林保管ヲ其ノ社寺ノ願出ニ依リ許可スルハ本令ノ定ムル所ニ依ル
  - 第二條 保管林ノ區域ハ農商務大臣之ヲ定ム
  - 第三條 保管林ノ保管期間ハ十五年ヲ超ユルコトヲ得ス
  - 前項ノ期間ハ之ヲ更新スルコトヲ得
  - 第四條 社寺ニシテ保管林地ヲ使用セントスルトキハ大林區署長ノ許可ヲ受クヘシ但シ祭典又ハ法用ノ爲一時之ヲ使用スルトキハ此ノ限ニ在ラス
  - 社寺ハ保管林地ノ使用ニ付林地ノ資質ヲ害シ又ハ風致ヲ損スルコトヲ得ス
  - 第五條 社寺ハ保管林ニ關シ左リ義務ヲ負フ
    - 一 火災ノ豫防及消防
    - 二 盜伐ノ誤伐ノ冒認ノ侵墾其ノ他ノ加害行爲ノ豫防及防止
    - 三 有害動物ノ豫防及驅除
    - 四 境界標其ノ他ノ標識ノ保存
    - 五 稚樹ノ保育
    - 六 大林區署長ノ命ニ依リ看守人ヲ配置スルコトヲ得



七 大林區署長ノ指定シタル方法ニ從ヒ保管林ノ植樹、補植、手入其ノ他造林ニ必要ナル行爲ヲ爲スコト

第六條 社寺ハ伐採量ノ二分ノ一ニ相當スル主産物ヲ採取スルコトヲ得

根株ハ大林區署長ノ許可ヲ得ルニ非サレハ之ヲ採取スルコトヲ得ス

第七條 社寺ハ林地ノ資質ヲ爲ササル副産物ヲ採取スルコトヲ得

第八條 社寺ハ大林區署長ノ指定シタル期間内ニ其ノ採取産物ノ搬出ヲ終ルヘシ

前項ノ期間内ニ搬出ヲ終ラサルトキハ其ノ産物ヲ採取スル權利ヲ失フ

第九條 左ノ場合ニ於テ農商務大臣ハ保管ヲ解除スルコトヲ得

一 社寺ノ管理者第四條ノ規定ニ違背シタルトキ

二 社寺ノ管理者第五條ノ義務ヲ怠リタルトキ

三 社寺ノ管理者其ノ保管林ニ關シ罪ヲ犯シタルトキ

四 保管林ヲ公用又ハ公益事業ニ供スル必要生シタルトキ

前項ノ規定ニ依リテ保管ヲ解除シタル場合ニ於テハ損害ヲ賠償セス

第十條 社寺ノ管理者許可ヲ得シテ保管林地ヲ使用シタルトキハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス社寺ノ

管理者保管林ヲ他人ニ貸付シ又ハ使用セシメタルトキ亦同シ

附則

第十一條 本令施行前ニ社寺ニ委託シタル土地官林ハ従前ノ例ニ依ル

第十二條 本令施行前ニ社寺ニ委託シタル土地官林ハ其ノ社寺ノ出願ニ依リ本令ニ定ムル保管林ト爲スコトヲ得

○第七類 土木

○河川法 明治二十九年四月  
法律第七十一號

湖帝國議會ノ協贊ヲ經タル河川法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

河川法

第一章 總則

第二章 河川ノ管理

第三章 河川ノ使用ニ關スル制限並警察

第四章 河川ニ關スル費用ノ負擔、土地所有者ノ權利義務並河川ノ管理ヨリ生スル收入等

第五章 監督及強制手續

第六章 訴願及訴訟

第七章 附則

河川法

第一章 總則

第一條 此ノ法律ニ於テ河川ト稱スルハ主務大臣ニ於テ公共ノ利害ニ重大ノ關係アリト認定シタル

河川ヲ謂フ

第二條 河川ノ區域ハ地方行政廳ノ認定スル所ニ依ル



流水河川ノ區域外ニ出ズテ永期ニ渉ルヘキモノト認ムルトキハ地方行政廳ハ其ノ河川ノ區域ヲ變更スヘシ

第三條 河川並其ノ敷地若ハ流水ハ私權ノ目的トナルコトヲ得ス

第四條 地方行政廳ニ於テ河川ノ支川若ハ派川ト認定シタルモノハ命令ヲ以テ特別ノ規程ヲ設ケタル場合ヲ除クノ外總テ河川ニ關スル規程ニ從フ

堤防、護岸、水制、河津、曳船道其ノ他流水ニ因リテ生スル公利ヲ増進シ又ハ公害ヲ除却若ハ輕減スル爲ニ設ケタルモノニシテ地方行政廳ニ於テ河川ノ附屬物ト認定シタルモノハ命令ヲ以テ特別ノ規程ヲ設ケタル場合ヲ除クノ外總テ河川ニ關スル規程ニ從フ

第五條 此ノ法律ニ規定シタル事項ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ河川ニ流入シ若ハ河川ヨリ分岐スル水流若ハ水面又ハ第一條ノ認定ヲ受ケサル河川ニ準用スルコトヲ得

### 第二章 河川ノ管理

第六條 河川ハ地方行政廳ニ於テ其ノ管内ニ係ル部分ヲ管理スヘシ但シ他府縣ノ利益ヲ保全スル爲ニ必要ト認ムルトキハ主務大臣ニ於テ代之ヲ管理シ又ハ其ノ維持修繕ヲナスコトヲ得

第七條 地方行政廳ハ河川ニ關スル工事ヲ施行シ其ノ維持ヲナスノ義務アルモノトス但シ第四十三條ニ依リ通航料徵收ノ許可ヲ得タル者ヲシテ其ノ義務ノ一部ヲ負擔セシムルコトヲ妨ケス

第八條 河川ニ關スル工事ニシテ利害ノ關係スル所一府縣ノ區域ニ止マラサルトキ又ハ其ノ工事至難ナルトキ若ハ其ノ工費至大ナルトキ又ハ河川ノ全部若ハ一部ニ付キ大體ニ渉ル一定ノ計畫ニ基

キテ施行スル改良工事ナルトキハ主務大臣ハ自ら其ノ工事ヲ施行シ又ハ其ノ工事ニ因リ特ニ利益ヲ受クル公共團體ノ行政廳ニ命シテ之ヲ施行セシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ主務大臣ハ此ノ法律ニ依リテ地方行政廳ノ有スル職權ヲ直接施行スルコトヲ得

第九條 地方行政廳ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ其ノ管内ノ下級行政廳ヲシテ河川ニ關スル工事ノ一部ヲ施行セシメ又ハ其ノ維持ヲナサシムルコトヲ得

第十條 河川ノ附屬物ニシテ兼テ他ノ工作物ノ効用ヲナスモノアルトキハ地方行政廳ハ其ノ工作物ノ管理者ヲシテ其ノ附屬物ニ關スル工事ヲ施行シ又ハ其ノ維持ヲナサシムルコトヲ得

他ノ工作物ニシテ兼テ河川ノ附屬物ノ効用ヲナスモノアルトキハ地方行政廳ニ於テ其ノ工作物ニ關スル工事ヲ施行シ又ハ其ノ維持ヲナスコトヲ得

第十一條 他ノ工事ニ因リ河川ニ關スル工事ノ必要ヲ生シタルトキハ地方行政廳ハ其ノ工事ノ施行者ヲシテ河川ニ關スル工事ヲ施行セシムルコトヲ得

河川ニ關スル工事ニ因リ必要ヲ生シタル他ノ工事又ハ河川ニ關スル工事ヲ施行スル爲ニ必要ナル他ノ工事ハ地方行政廳ニ於テ併セテ之ヲ施行スルコトヲ得

第十二條 行政廳ハ河川ニ關スル工事ノ請負ヲナスコトヲ得ス

第十三條 河川ニ關スル工事ノ請負ノ制限ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十四條 地方行政廳ハ其ノ管理ニ屬スル河川ノ臺帳ヲ調製シ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ



幕帳ノ調製、保管、記載事項等ニ關スル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム  
主務大臣ノ認可ヲ經タル幕帳ニ記載セル事項ニ關シテハ反對ノ立證ヲ許サス但シ幕帳調製後其ノ事實ノ變更シタルコトヲ證スルヲ妨ケス

第十五條 地方行政廳ニ於テ河川管理ノ爲特ニ吏員ヲ置クコトヲ要スルトキハ其ノ定員、給料、手當、職務權限並其ノ費用ノ負擔者等ハ命令ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得

第三章 河川ノ使用ニ關スル制限並警察

第十六條 舟筏ノ通航及流水ニ關スル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十七條 左ニ記載スル工作物ヲ新築、改築若ハ除却セムトスル者ハ地方行政廳ノ許可ヲ受クヘシ

一 流水ヲ停滯セシメ若ハ引用シ又ハ流水ノ害ヲ豫防スル爲ニ施設スル工作物

二 河川ニ注水スル爲ニ施設スル工作物

三 河川ノ區域内ニ於テ敷地ニ固着シテ施設スル工作物又ハ河川ニ沿ヒ若ハ河川ヲ横過シ若ハ其ノ床下ニ於テ施設スル工作物

第十八條 河川ノ敷地若ハ流水ヲ占用セムトスル者ハ地方行政廳ノ許可ヲ受クヘシ

第十九條 流水ノ方向、清潔、分量、幅員若ハ深淺又ハ敷地ノ現狀等ニ影響ヲ及ボスノ虞アル工事、營業其ノ他ノ行爲ハ命令ヲ以テ之ヲ禁止若ハ制限シ又ハ地方行政廳ノ許可ヲ受ケシムルコトヲ得

第二十條 左ノ場合ニ於テ地方行政廳ハ許可ヲ取消シ若ハ其ノ効力ヲ停止シ若ハ其ノ條件ヲ變更シ又ハ既ニ施設シタル工作物ヲ改築若ハ除却セシメ又ハ原形ノ回復ヲ命シ又ハ許可セシラレタル事項

ニ因リテ生スル危害ヲ豫防スル爲ニ必要ナル設備ヲナサシムルコトヲ得

一 工事施行ノ方法若ハ施行後ニ於ケル管理ノ方法公安ヲ害スルノ虞アルトキ

二 河川ノ狀況ノ變更其ノ他許可ノ後ニ起リタル事實ニ因リ必要ヲ生スルトキ

三 河川ニ關スル工事ヲ施行シ又ハ許可ヲ與ヘタルモノノ外ニ工事、使用若ハ占用ヲ許可スル爲ニ必要ナルトキ

四 此ノ法律ニ基キテ發スル命令ノ規程ニ依リ必要ヲ生スルトキ

五 法律、命令ニ違背シタルトキ

六 公益ノ爲必要アルトキ

第二十一條 本章ノ規程ニ依リ與ヘタル許可ニ依リテ生スル權利義務ハ地方行政廳ノ許可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ他人ニ移スコトヲ得ス

第二十二條 法律命令若ハ許可ノ條件ニ違背シタル者ハ行政廳ノ命スル所ニ從ヒ其ノ違背ニ因リテ生シタル事實ヲ更正シ且其ノ因リテ生スル損害ヲ豫防スル爲ニ必要ナル設備ヲナスヘシ

第二十三條 洪水ノ危險切迫ナルトキハ地方行政廳又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏ハ其ノ現場ニ於テ直ニ防禦ノ爲ニ必要ナル土地ヲ使用シ土砂、竹木其ノ他ノ材料、車馬其ノ他ノ運搬具及器具等ヲ使用若ハ徵收シ又ハ其ノ現場ニ在ル者ヲ使役シ又ハ家屋其ノ他ノ障害物ヲ破毀スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ地方行政廳又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏ハ其ノ管内ニ於テ使役ヲ命シ又ハ下級公共團體ニ命シテ土地、材料、運搬具、器具及夫役ヲ供セシメ又ハ市町村長其ノ他ノ市町村吏員等